

青森市埋蔵文化財調査報告書 第108集-1

石江遺跡群

発掘調査報告書Ⅳ

-石江土地区画整理事業に伴う発掘調査-

(第1分冊：新田(1)・(2)遺跡縄文時代遺物編)

平成22年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第108集-1

石江遺跡群

発掘調査報告書Ⅳ

-石江土地区画整理事業に伴う発掘調査-

(第1分冊：新田(1)・(2)遺跡縄文時代遺物編)

平成22年度

青森市教育委員会

序

先人の遺してくれた貴重な文化遺産は、大切に保護し活用を図りながら次代へ継承していくことが現代に生きる私たちの責務であります。

現在、青森市内には400か所を超す遺跡が確認されており、特に学術上貴重な遺跡は、国史跡に指定し、保存・整備・活用に取り組んできております。

しかし、一方で多くの遺跡は、各種開発事業の進展に伴ない破壊や消滅などの危機に晒されております。

本市では、遺跡地内において開発事業が計画された場合、埋蔵文化財保護と開発事業の調整を図り、開発計画変更が困難な場合、協議のうえ事前に記録保存を前提とした発掘調査を実施することとしてきております。

青森市教育委員会では、昨年(2019)の12月4日に東北新幹線全線開業となった新幹線新青森駅舎など新幹線関連施設区域を含む市内西部の約46haの石江土地区画整理事業地内に所在する七つもの広大な範囲に及ぶ遺跡の発掘調査を平成15年度から実施してきております。

発掘調査の結果、当該地域は縄文時代から古代・中世・近世と長期にわたって人々が生活を営んでいたことが判明し、特に古代の大規模な集落跡や中世の屋敷跡、さらには県内初例となる木簡をはじめとする貴重な遺物などの発見は学術上、大いに注目されております。

本書はこれら膨大な調査成果のうち、新田(1)遺跡と新田(2)遺跡の縄文時代の出土遺物、並びに自然科学分析についてまとめたものであり、当該事業に係る本報告書としては4冊目となります。

本書が地域の歴史を解き明かしていくうえでの資料として多くの方々にご利用いただければ幸いに存じます。

最後となりましたが、発掘調査ならびに本書を刊行するにあたり、ご理解とご指導を賜りました関係機関、関係各位に深く感謝申し上げます。

平成23年3月31日

青森市教育委員会
教育長 月永 良彦

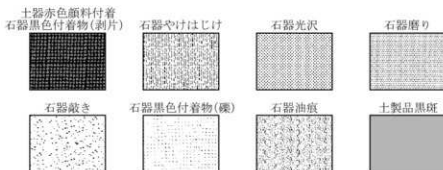
例 言

1. 本書は、青森市（担当：都市整備部石江区画整理事務所）より委託を受け、青森市教育委員会が平成15～19年度に発掘調査を実施した石江遺跡群に関する発掘調査報告書である。
2. 本書に掲載される内容は、石江土地区画整理事業に係る石江遺跡群発掘調査の平成15～19年度にかけての調査のうち、新田（1）遺跡（青森県遺跡台帳番号01078）、新田（2）遺跡（青森県遺跡台帳番号01080）の縄文時代の遺物についてまとめたものである。
3. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行い、小野貴之・木村淳一が担当した。執筆については小野が担当し、図版・表作成の一部を木村が補助した。
4. 本書に掲載される石器の鑑定については、青森県立郷土館島口天氏に依頼した。

凡 例

1. 本報告書内で使用する、スクリーントーン・表現方法・略称は以下のとおりである。

(1) 図中で使用したスクリーントーン



(2) 土器片利用土製品研磨範囲



(3) 石器実測図の剥片石器原礫面については、ドットを用いた。

(4) 表中の図版番号の略称

〔第〇図△〕 → 「〇-△」

2 出土遺物の分類

本遺跡出土遺物は、以下のように分類した。

(1) 土器

第Ⅰ群土器 縄文時代前期の土器

第Ⅱ群土器 縄文時代中期の土器

第Ⅲ群土器 縄文時代後期の土器

第Ⅳ群土器 縄文時代晩期の土器

(2) 石器

- ・石鏃
- ・石槍
- ・尖頭器
- ・石錐
- ・石匙
- ・石籠
- ・異形石器
- ・不定形石器
- ・磨製石斧
- ・石錘
- ・敲磨器
- ・半円状扁平打製石器
- ・石皿
- ・台石

(3) 土製品

- ・土偶
- ・耳栓
- ・鐙形土製品
- ・足形付土製品
- ・土版
- ・土器片利用土製品
- ・ミニチュア土器
- ・土錘

(4) 石製品

- ・軽石石製品
- ・有孔石製品
- ・採集石製品
- ・三角形岩版
- ・その他の岩版
- ・石刀
- ・石棒
- ・不明石製品

目 次

序
例言
凡例
目次

第1章 出土遺物	1
第1節 土器	1
第2節 石器	34
第3節 土製品	113
第4節 石製品	121
觀察表・計測表	127
写真図版	146
報告書抄録	
既刊埋藏文化財関係報告書一覧	

第I章 出土遺物

第1節 土器

○新田(1)遺跡出土土器(第1～10図)

第I群土器 縄文時代前期の土器

(第2図16～34, 第3図35～59, 第4図60～82, 第5図83～101, 第6図102～107)

横位の連続刺突やループ文とコンパス文が施されるもの(第2図16～33), 半裁竹管状工具による押引文が施されるもの(第3図35～43, 48), 連続刺突が施されるもの(第2図34, 第3図44～47, 49～59, 第5図94～101), 縄回転によるループ文, 縄端回転文が施されるもの(第4図60～82, 第5図83～93), などが見られる。いずれもおおむね前期初頭の土器と思われる。横位の連続刺突やループ文とコンパス文が施されるものは, 表館式土器, 半裁竹管状工具による押引文が施されるものは, 早稲田6類土器と思われる。

また, 口縁部に縄圧痕が横位に施されるもの(第6図102～104), 胴部に木目状撫糸文が縦位に施されるもの(第6図105), 口縁部に縦位の隆帯と斜位の縄圧痕が施されるもの(第6図106, 107)なども見られる。いずれも前期末葉の土器と思われる。縄圧痕が横位に施されるものは, 円筒下層d₁式土器, 縦位の隆帯と斜位の縄圧痕が施されるものは, 円筒下層d₂式土器と思われる。

第II群土器 縄文時代中期の土器

(第1図1, 第6図108～120, 第7図121～127)

口縁部の隆帯間に縄圧痕が施されるもの(第6図108, 109), 隆帯と刺突が施されるもの(第6図112, 114, 115), 口縁部に波状の隆帯が施されるもの(第6図113), 隆帯が施されるもの(第6図116～118), 胴部に横位の結束第一種が施されるもの(第6図119, 120)が見られる。おおむね中期前半の土器と思われる。口縁部の隆帯間に縄圧痕が施されるものは, 円筒上層a式土器, 隆帯と刺突が施されるものと口縁部に波状の隆帯が施されるものは, 円筒上層c式土器, 隆帯が施されるものは, 円筒上層d式土器と思われる。

また, 口縁部が無文で縄文地の胴部下半が膨らむ器形を有するもの(第1図1), 無文と縄文地に弧状の沈線が施されるもの(第7図121～124)が見られる。おおむね中期末葉の大木10式併行土器と思われる。

その他, 縄文地に波状の沈線が施されるもの(第7図125), 口縁部の貫通孔の周囲に刺突が施されるもの(第7図126), 口縁部に横位の隆帯が施されるもの(第7図127)などが見られる。本群に含めることとした。

第III群土器 縄文時代後期の土器

(第2図2, 3, 5, 8～14, 第7図128～144, 第8図145～164, 第9図165～168)

沈線が施されるもの, 縄文が施されるもの(第9図165, 166), 撫糸圧痕による格子目文が施されるもの(第8図158～161), 縦位に撫糸圧痕が施されるもの(第8図162～164), 無文のもの(第2図9～14)などが見られる。そのうち沈線を主体に文様を施すものが多く見られる。後期前半の十腰内I式土器が主体と思われる。

また, 注口土器の注口部分(第1図8)が見られる。おおむね後期のものと思われる。

第IV群土器 縄文時代晩期の土器

(第1図4, 6, 7, 15, 第9図169～186, 第10図187～191)

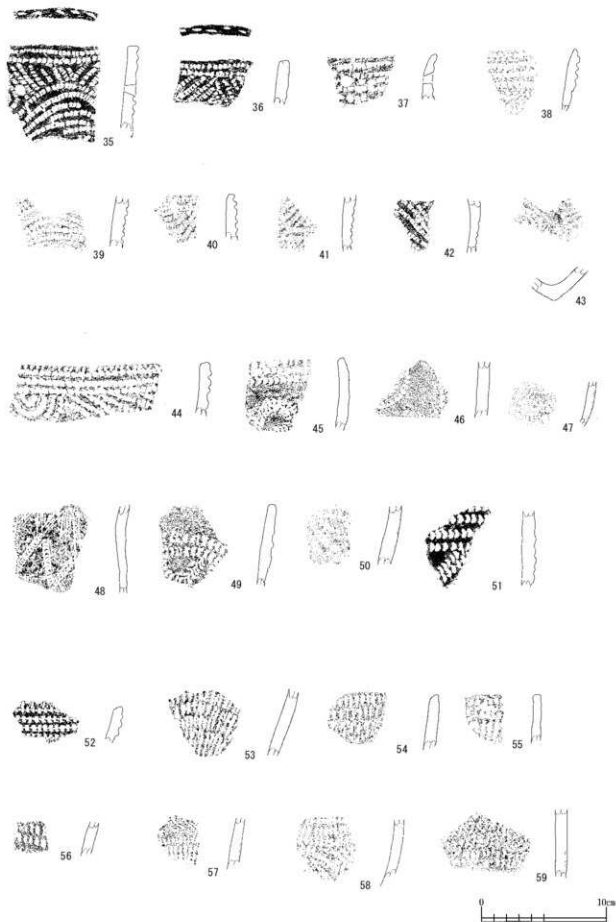
口縁部に横位の沈線を施すものが多く見られる。晩期後半のものが多数と思われる。胴部には縄文の見られるものと条痕文の見られるもの(第1図7, 第9図175, 176, 185)がある。皿型を呈する土器(第1図6)や, 内面の大半と外面口縁部に多量の赤色顔料が付着するもの(第1図7)などが見られる。



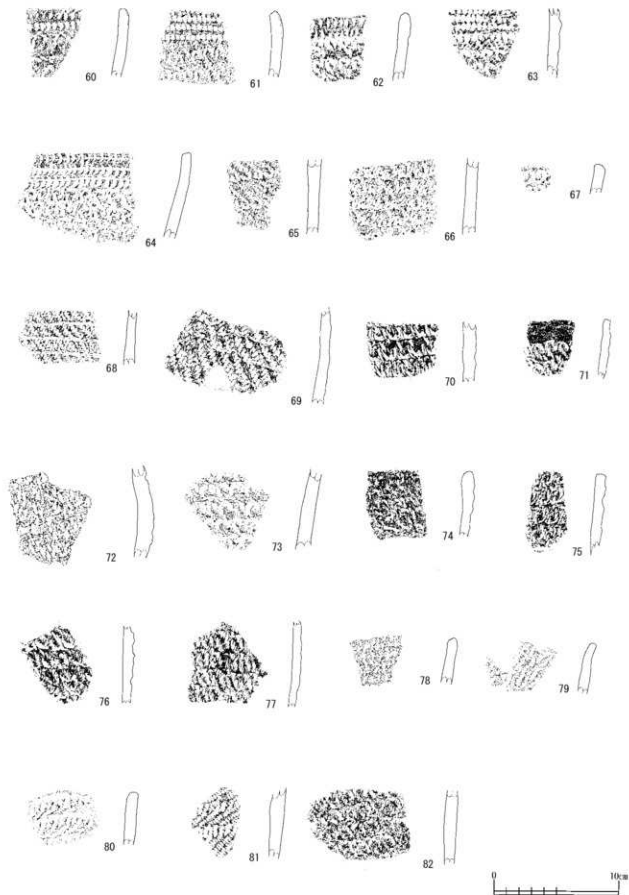
第1図 新田(1)遺跡出土土器(1)



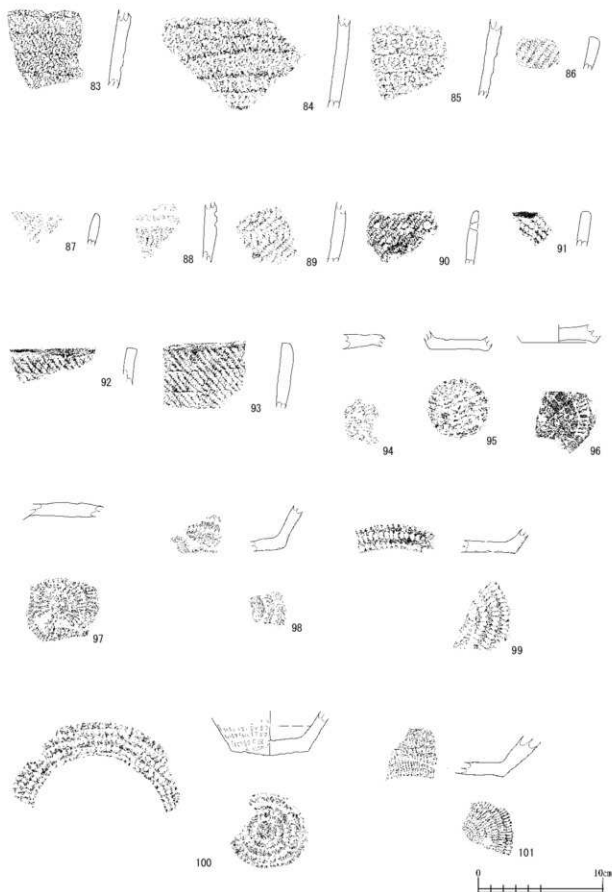
第2図 新田(1)遺跡出土土器(2)



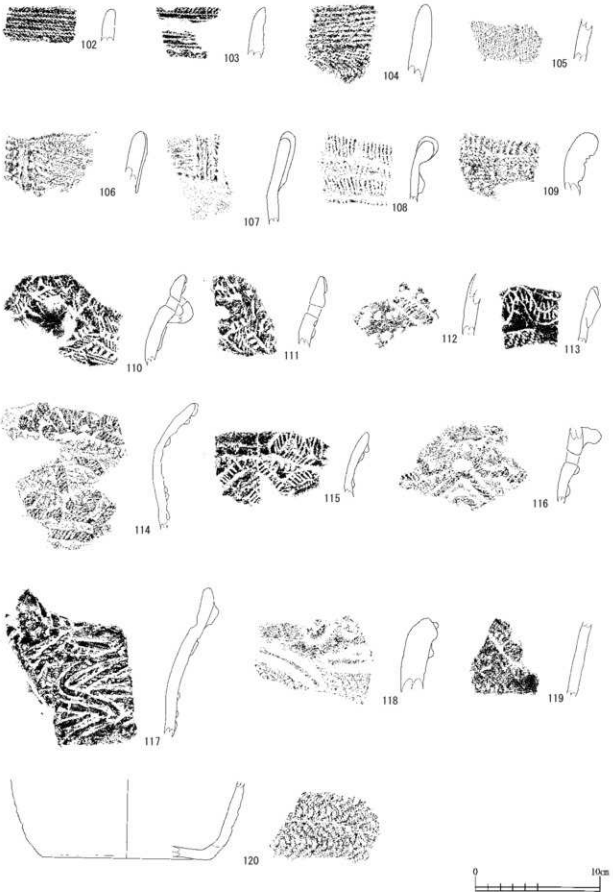
第3図 新田(1)遺跡出土土器(3)



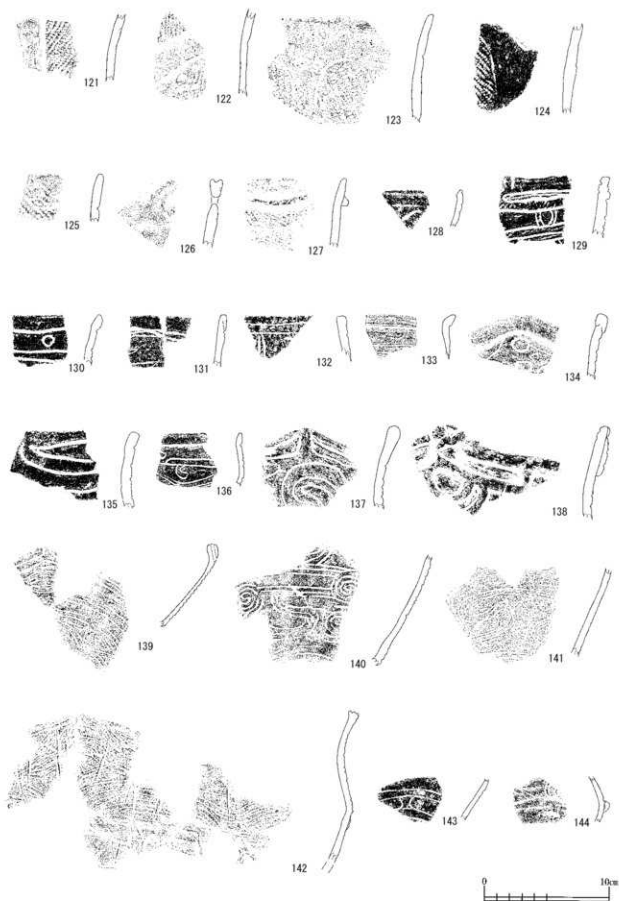
第4図 新田(1)遺跡出土土器(4)



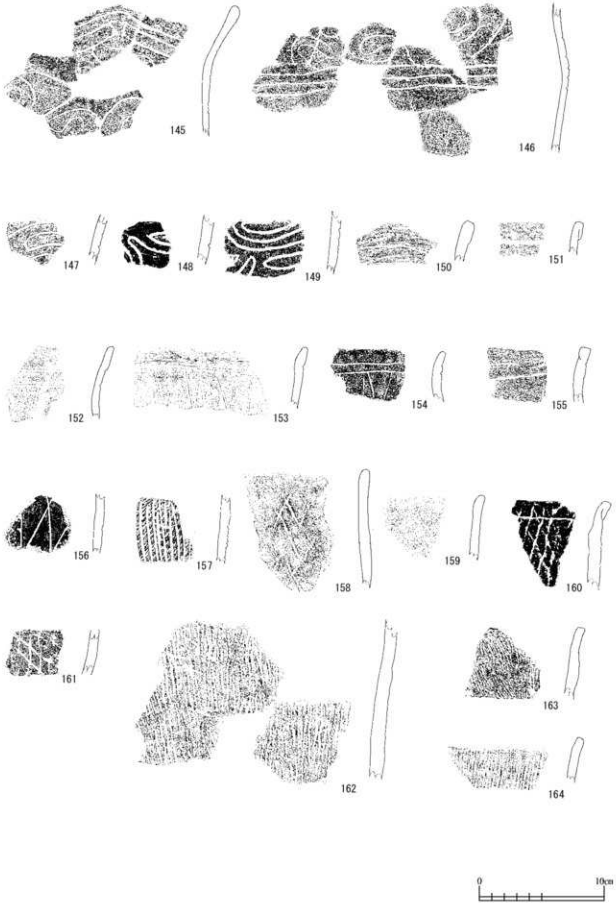
第5図 新田(1)遺跡出土土器(5)



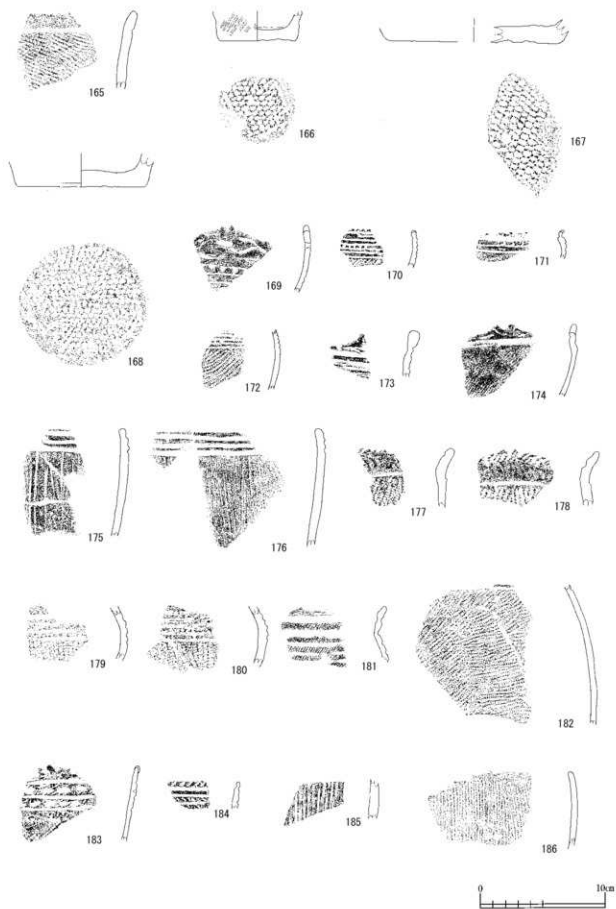
第6図 新田(1)遺跡出土土器(6)



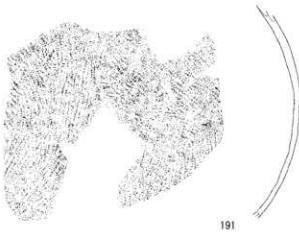
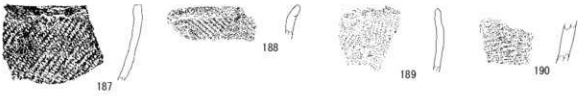
第7図 新田(1)遺跡出土土器(7)



第8図 新田(1)遺跡出土土器(8)



第9図 新田(1)遺跡出土土器(9)



第10図 新田(1)遺跡出土土器(10)

○新田(2) 遺跡出土土器(第11～31図)

第Ⅰ群土器 縄文時代前期の土器

(第1図1～3, 第20図20～47, 第16図48～75, 第17図76～93, 第18図94～119, 第19図120～132)

横位の連続刺突とコンパス文が施されるもの(第11図1, 第15図20～41), 縄回転によるループ文とコンパス文が施されるもの(第15図42～47), コンパス文が施されるもの(第16図48, 49), 半裁竹管状工具による押引文が施されるもの(第16図50～52, 57～61), 連続刺突が施されるもの(第1図2, 第16図53～56, 62, 63, 第17図84～91), 縄回転によるループ文が施されるもの(第16図64～71, 74, 75, 第17図76～83)などが見られる。いずれもおおむね前期初頭の土器と思われる。そのうち横位の連続刺突とコンパス文が施されるもの, 縄回転によるループ文とコンパス文が施されるもの, コンパス文が施されるものは表筒式土器, 半裁竹管状工具による押引文が施されるものは, 早稲田6類土器と思われる。

また, 口縁部に縄圧痕が横位, 斜位に施されるもの(第18図105～109)も見られる。前期末葉の円筒下層d₁式土器と思われる。

その他, 絡糸体が横位, 斜位に施されるもの(第18図95～102), 縄文が施されるもの(第118図110～119, 第19図120～128), 横位に結節回転文が施されるもの(第19図129)などが見られる。本群に含めることとした。

第Ⅱ群土器 縄文時代中期の土器

(第19図133～139, 第20図140～158, 第21図159～173)

隆帯と刺突が施されるもの(第19図133～139, 第20図140～154), 隆帯が施されるもの(第20図155～157), 縄文が施されるもの(第20図158)が見られる。おおむね中期前半の土器と思われる。そのうち隆帯と刺突が施されるものは, 円筒上層c式土器と思われる。

また, 無文と縄文地間に弧状の沈線が施されるもの(第21図159～164)が見られる。おおむね中期末葉の大木10式併行土器と思われる。

第Ⅲ群土器 縄文時代後期の土器

(第12図4～11, 第13図12～17, 第14図18, 19, 第22図174～186, 第23図187～209, 第24図210～242, 第25図243～258, 第26図259～284, 第27図285～305, 第28図306～329, 第29図330～346, 第30図347～375, 第31図376～379)

沈線が施されるものが多数で, その他燃糸圧痕による格子目文が施されるもの(第13図12, 第29図340～346, 第30図347～359), 無文のもの(第13図15～17, 第14図18)などが見られる。後期前半の十腰内1式土器が主体と思われる。

器種には, 深鉢, 鉢, 浅鉢, 壺が見られる。同一個体と思われる脚部(第12図8, 9)も見られる。

また, 注口土器(第14図19)が見られる。後期末葉の十腰内V式土器と思われる。

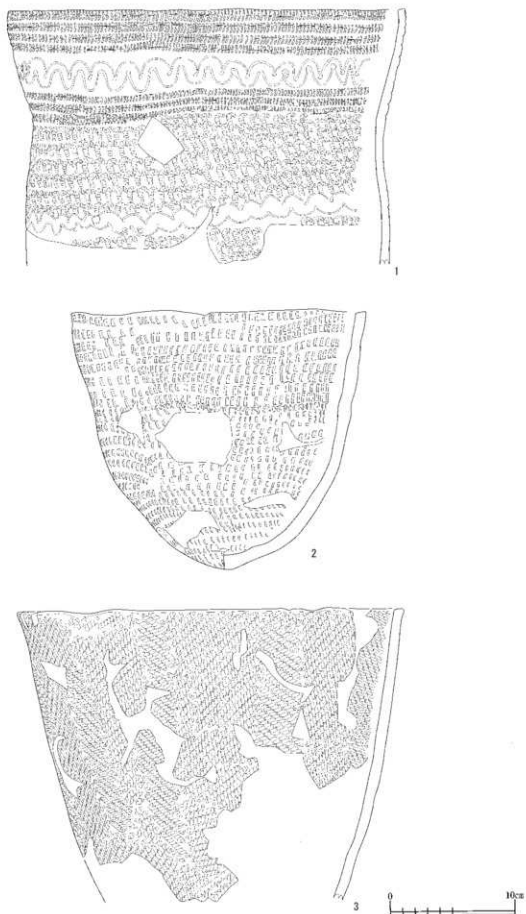
第Ⅳ群土器 縄文時代晩期の土器

(第31図380～395)

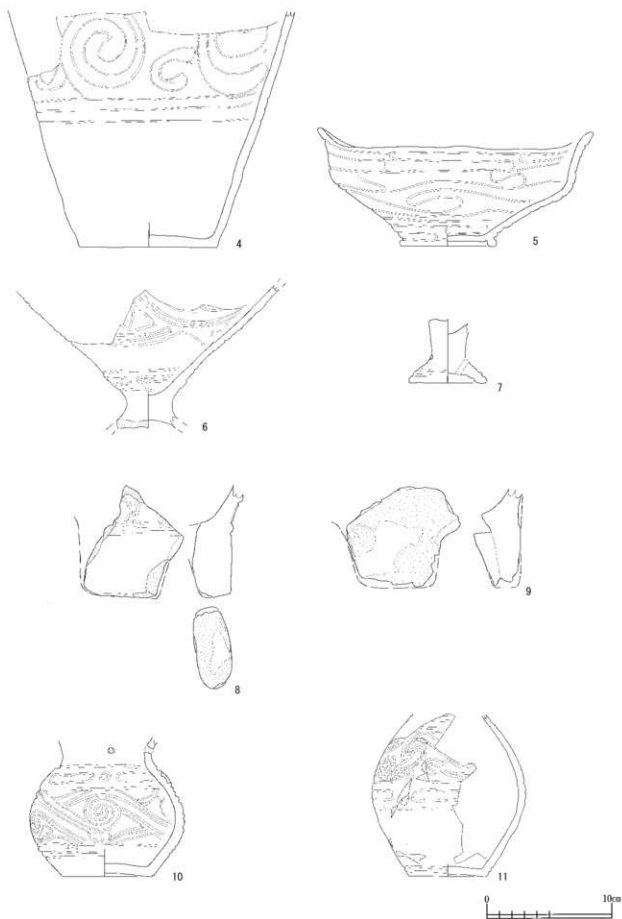
口縁部に横位の沈線を施すもの(第31図381～383, 388～391)が見られる。

胴部には縄文が施されるもの(第31図380, 389～395)と条痕文が施されるもの(第31図381～388)が見られる。

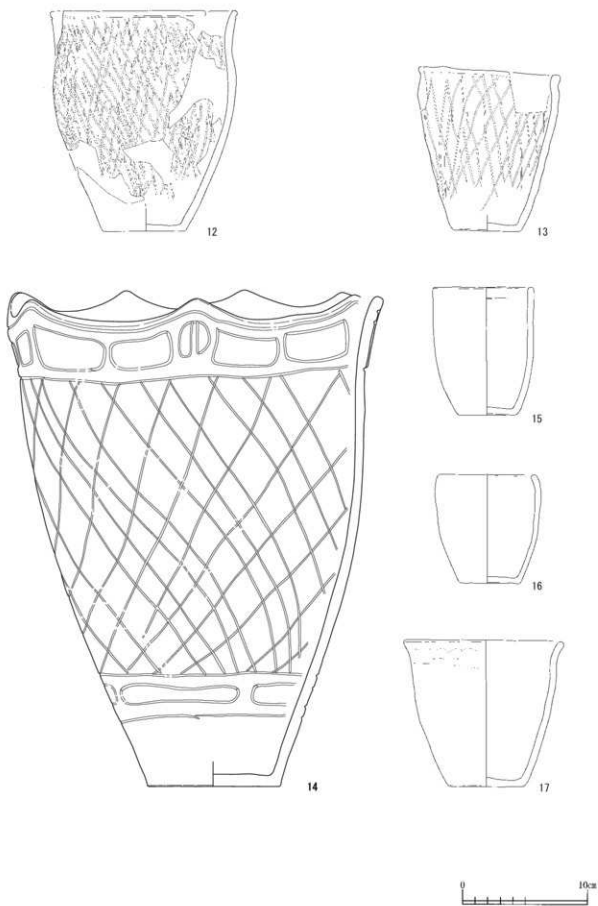
把手の付いた土器(第31図393)も見られる。



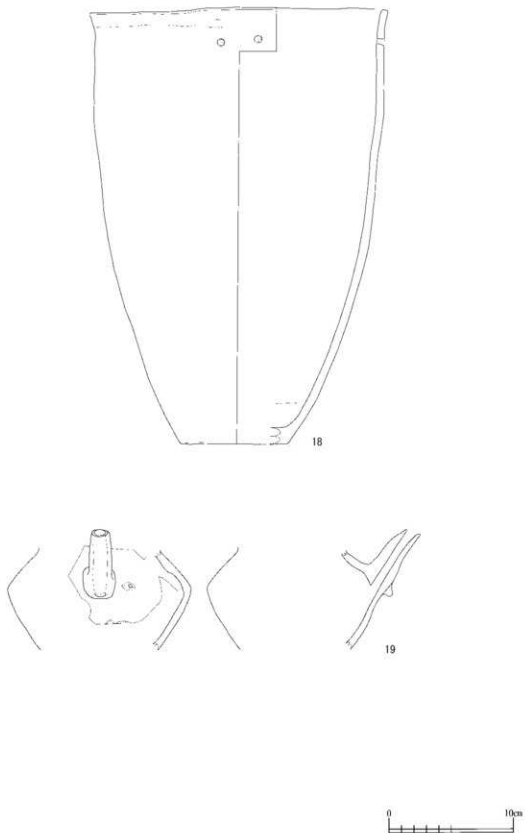
第11圖 新田(2)遺跡出土土器(1)



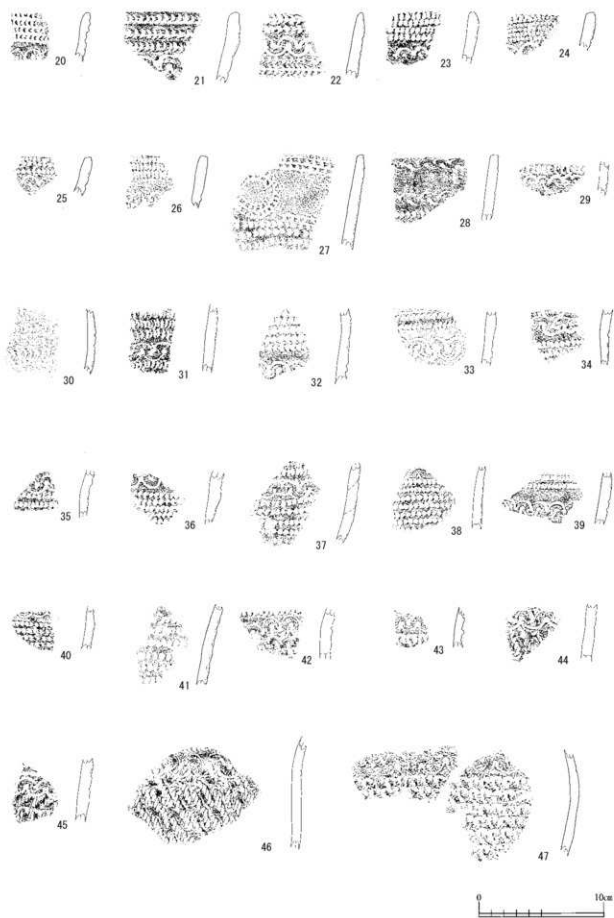
第12図 新田(2)遺跡出土土器(2)



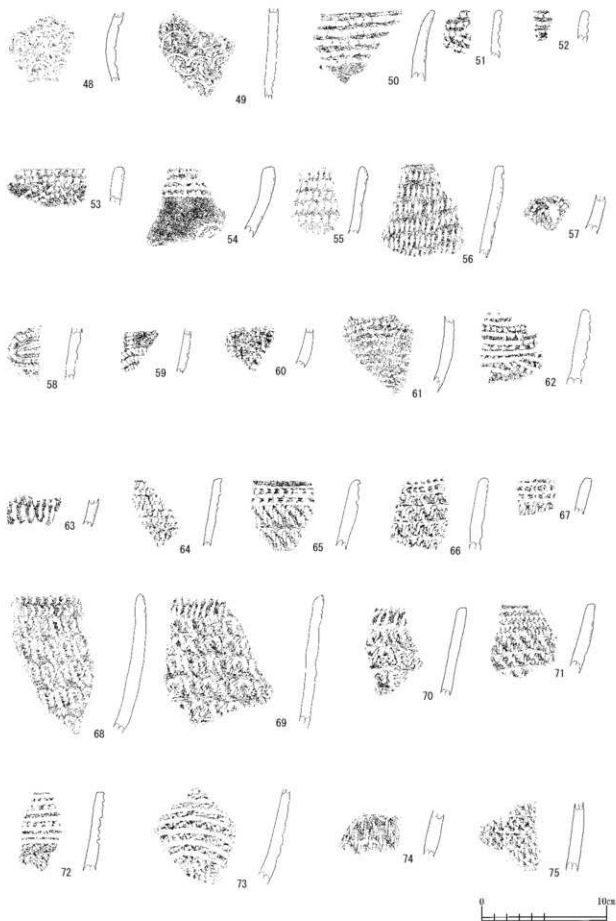
第13図 新田(2)遺跡出土土器(3)



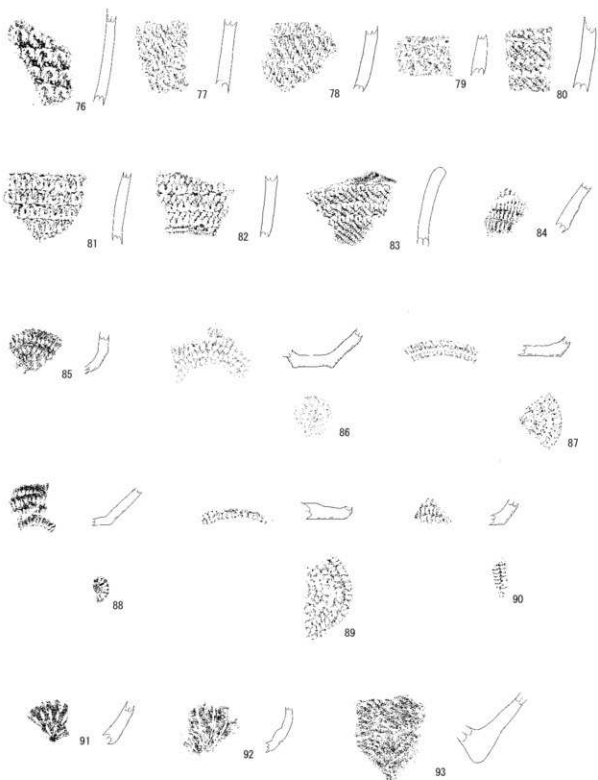
第14図 新田(2)遺跡出土土器(4)



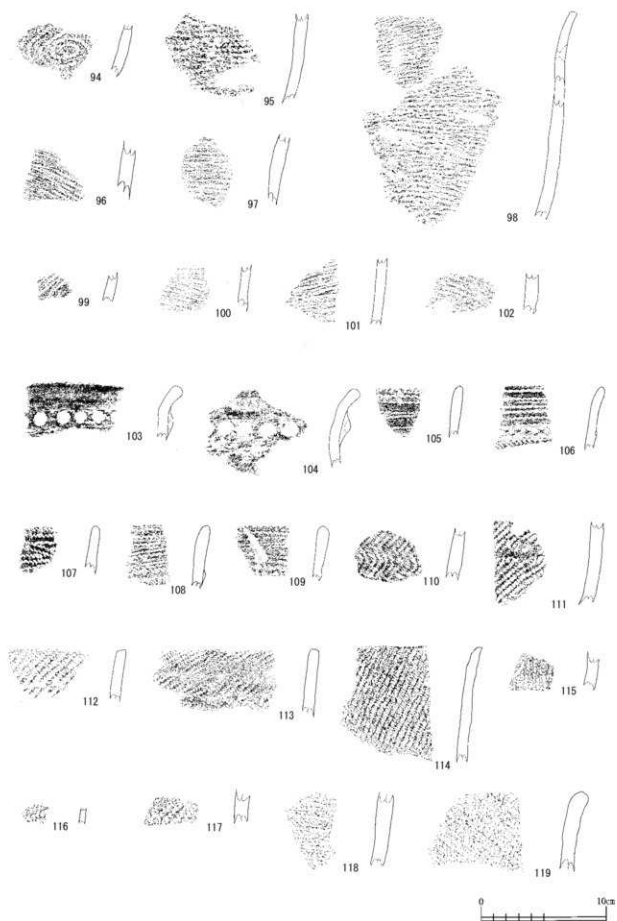
第15図 新田(2)遺跡出土土器(5)



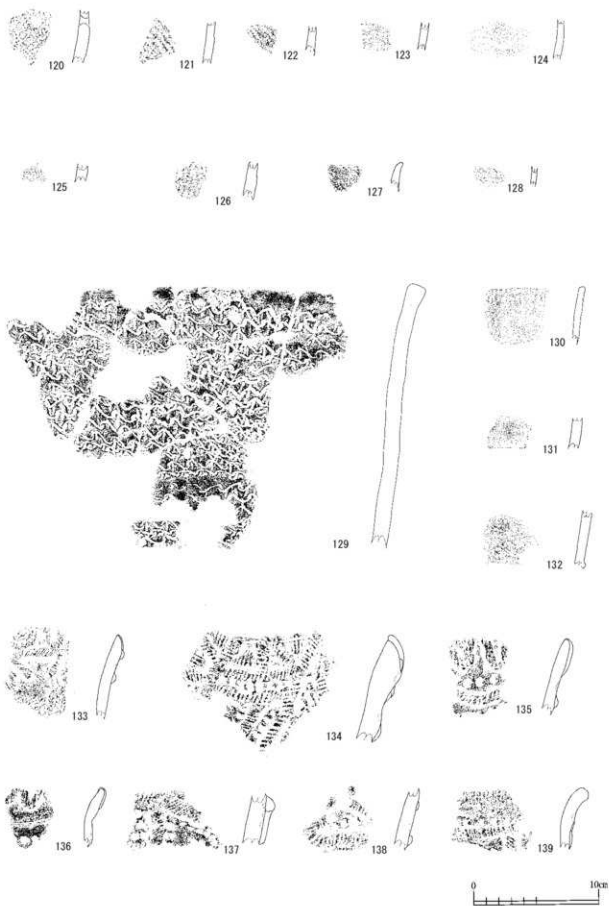
第16図 新田(2) 遺跡出土土器(6)



第17図 新田(2)遺跡出土土器(7)



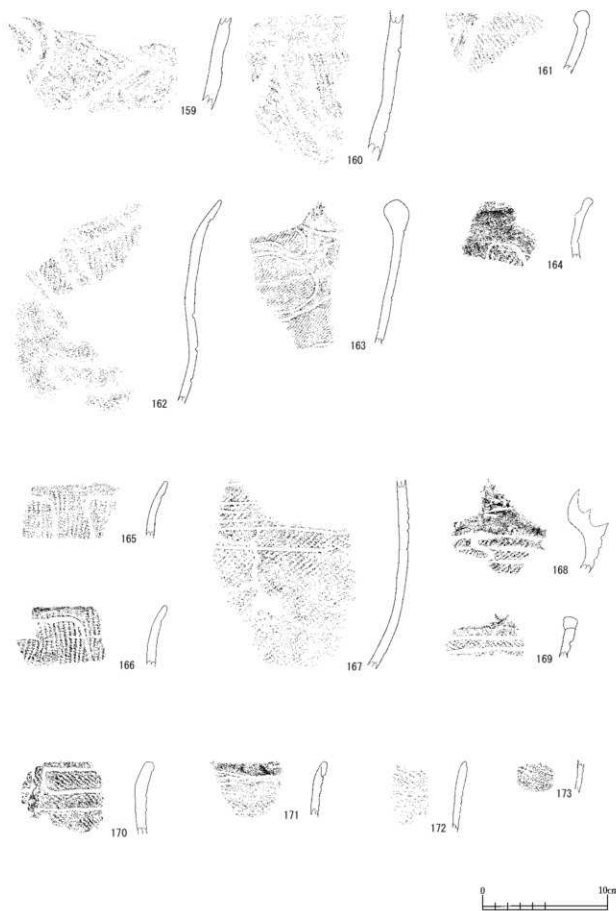
第18図 新田(2)遺跡出土土器(8)



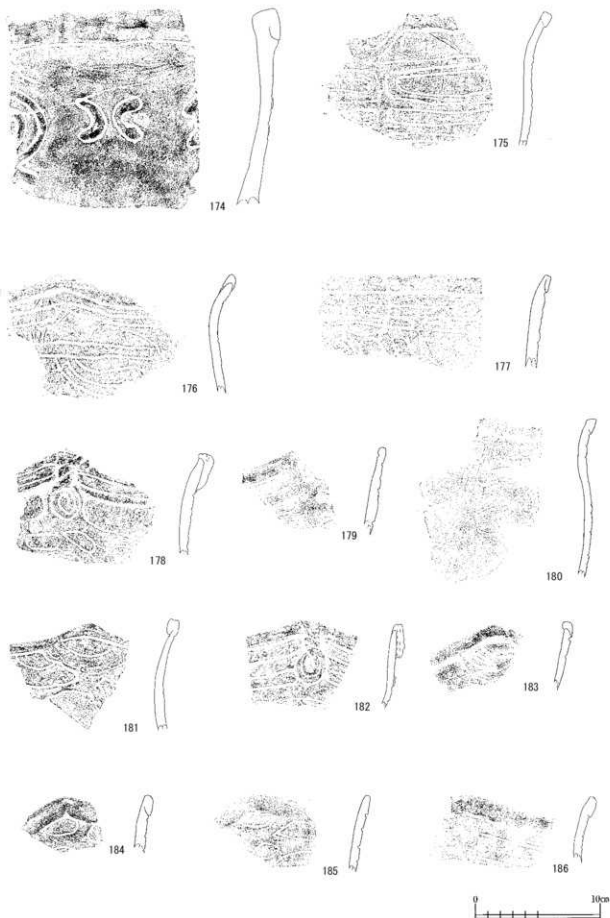
第19図 新田(2)遺跡出土土器(9)



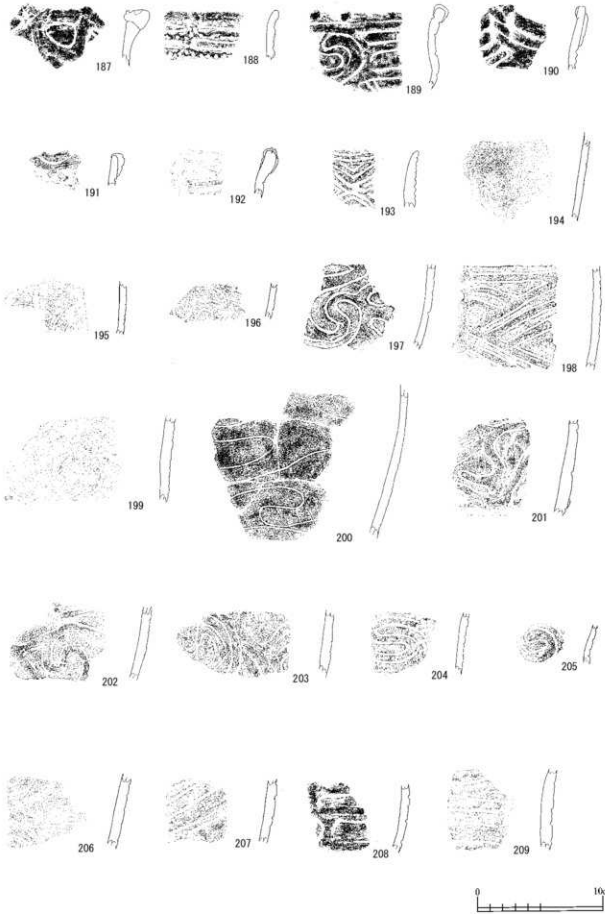
第20図 新田(2)遺跡出土土器(10)



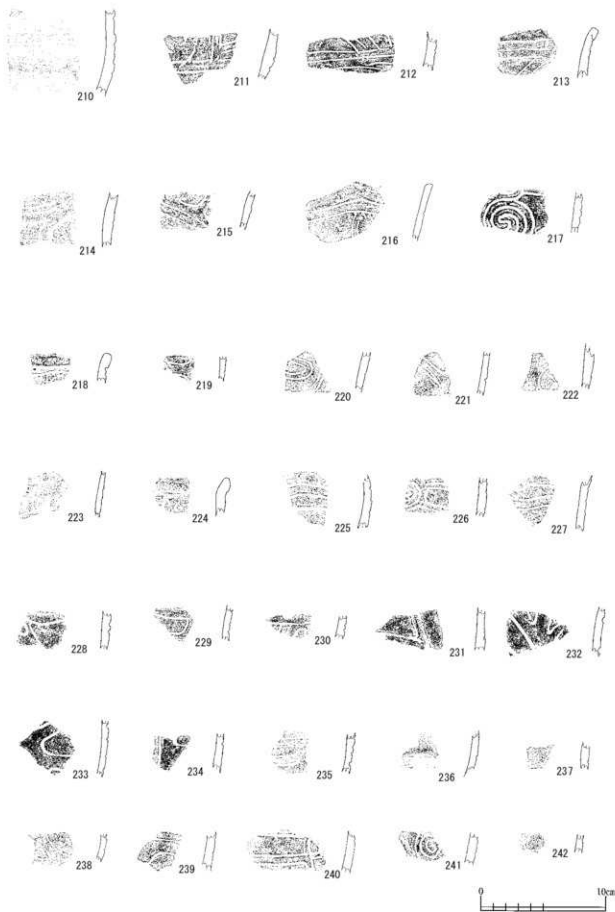
第21図 新田(2)遺跡出土土器(11)



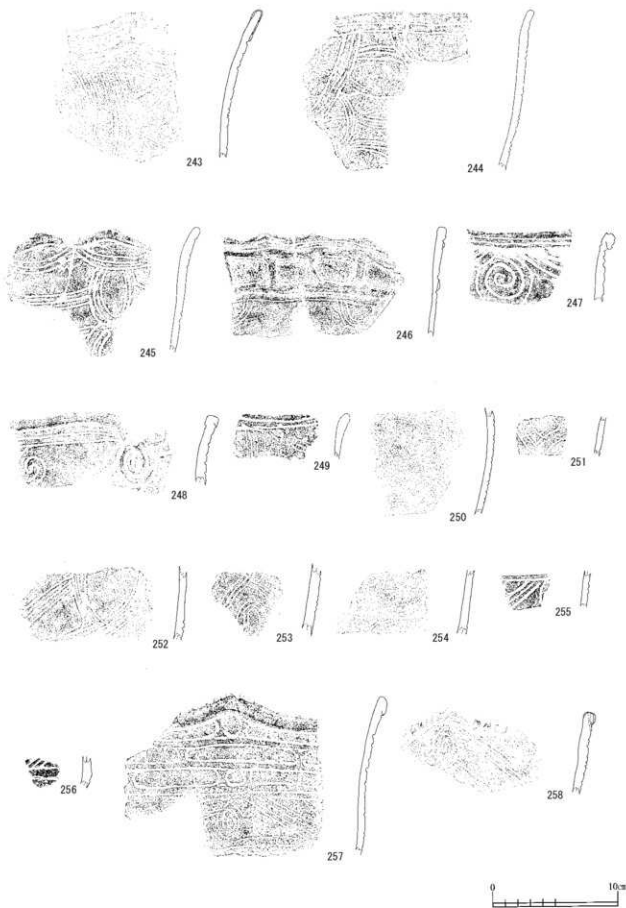
第22図 新田(2)遺跡出土土器(12)



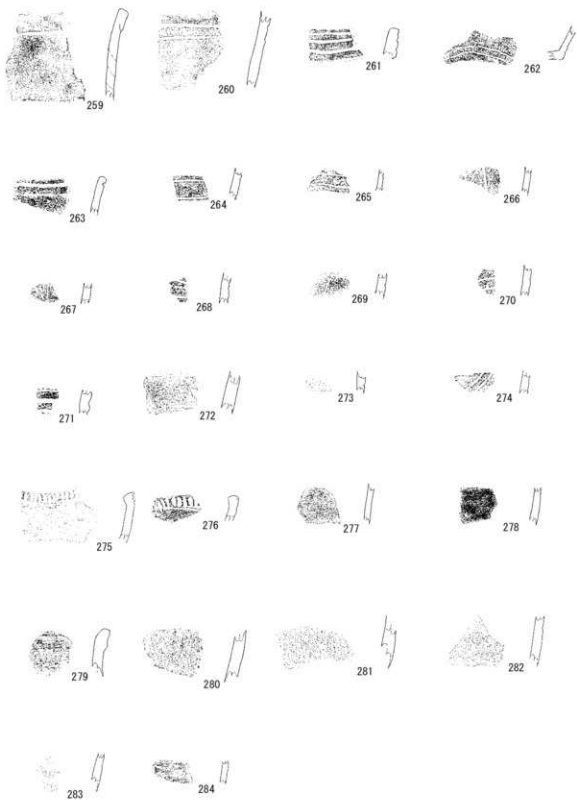
第23図 新田(2)遺跡出土土器(13)



第24図 新田(2)遺跡出土土器(14)



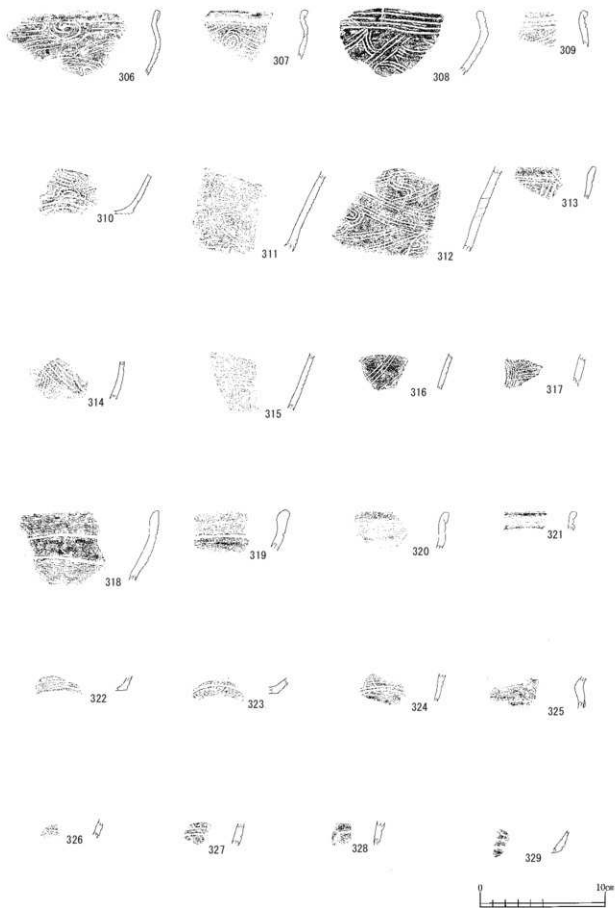
第25図 新田(2)遺跡出土土器(15)



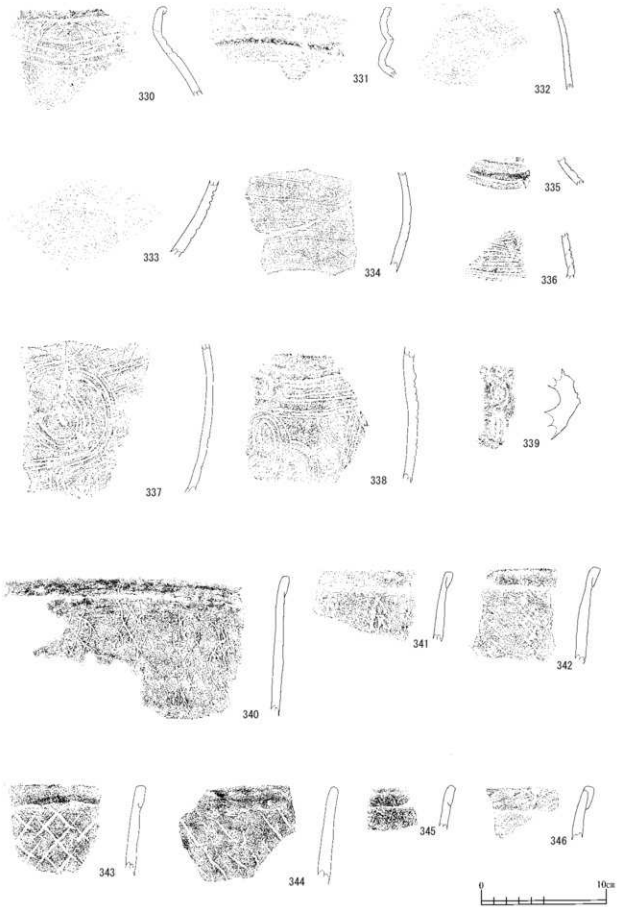
第 26 図 新田(2) 遺跡出土土器(16)



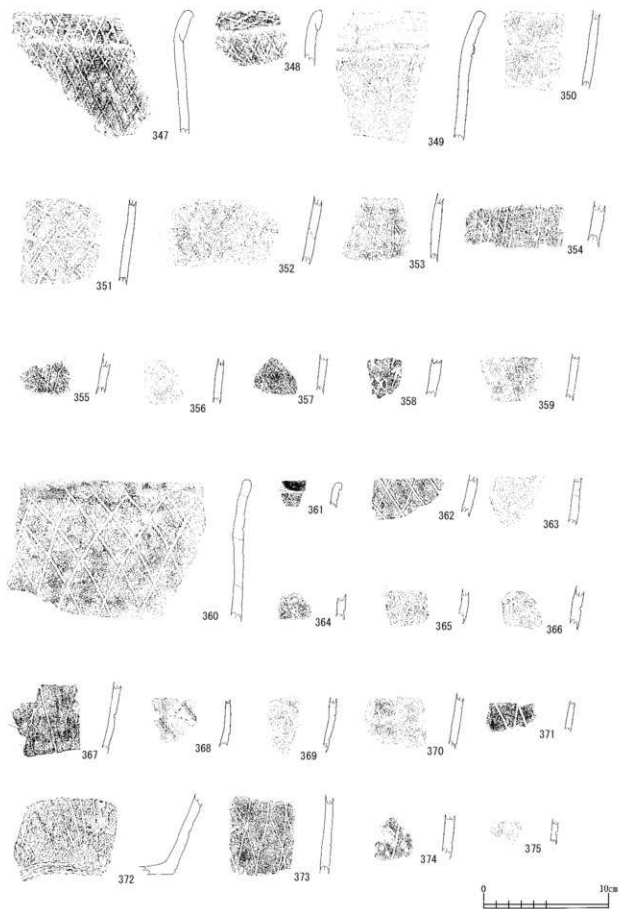
第27図 新田(2)遺跡出土土器(17)



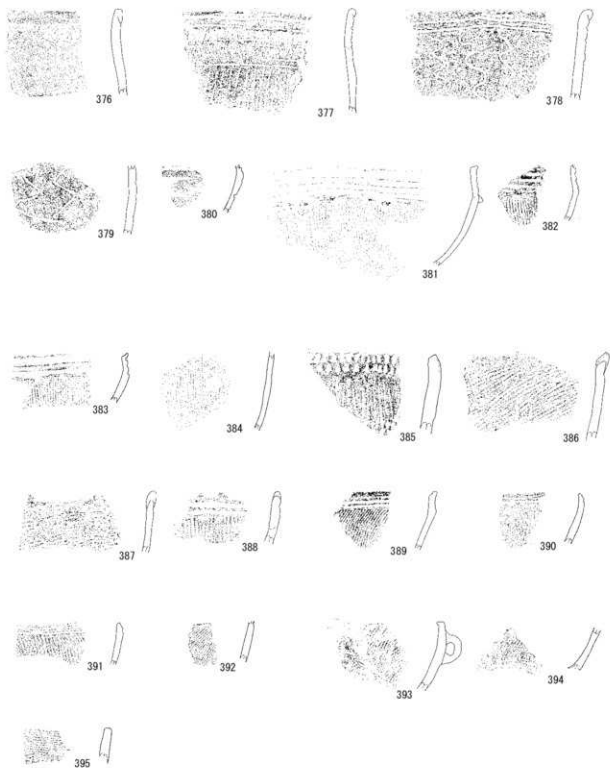
第28図 新田(2)遺跡出土土器(18)



第29図 新田(2)遺跡出土土器(19)



第30図 新田(2)遺跡出土土器(20)



第31図 新田(2)遺跡出土土器(21)

第2節 石器

○新田(1)遺跡出土石器(第32～56図)

- ・石鏃(第32図1～15, 第33図16～23)
24点出土している。うち23点を図示した。
石質は、珪質頁岩が16点、カルセドニーが4点、黒曜石が2点、頁岩が1点、凝灰岩が1点である。
凹基のもの(第32図1～6, 9～11)と有茎凹基のもの(第32図15, 第33図16～21)とが多く見られる。その他、平基のもの(第32図7, 8, 12, 13)や有茎凹基のもの(第32図14)が見られる。
- ・石槍(第33図24, 第34図25～27)
5点出土している。うち4点を図示した。
石質は、珪質頁岩が4点、頁岩が1点である。
器体が幅広のもの(第33図24, 第34図25, 26)が多く見られる。また、基部にアスファルトと思われる黒色の付着物が見られるもの(第34図27)が1点見られる。
- ・尖頭器(第34図28)
1点出土している。1点を図示した。
石質は、珪質頁岩である。
- ・石錐(第34図29～33, 第35図34, 35)
7点出土している。7点を図示した。
石質は、全て珪質頁岩である。
全体に二次調整を行うものでは、棒状のもの(第34図30)や、小さい剥片を素材としているもの(第34図31～33, 第35図34, 35)が見られる。錐部のみ二次調整を行うものでは、剥片端部に細長い錐部を作出するもの(第34図29)が見られる。
- ・石匙(第35図36～39, 第36図40～47, 第37図48～55, 第38図56～63, 第39図64～68)
39点出土している。うち33点を図示した。
石質は、全て珪質頁岩である。
縦型のものと同型のものが見られる。縦型のものには、幅の狭い三角形のもの(第35図36～39, 第36図40～42)、幅が広い三角形のもの(第37図48, 49)、一側縁が直線的、他側縁が弧状を呈するもの(第37図52, 54, 55, 第38図56～58)などが見られる。
- ・石鏡(第40図69～71, 73, 74, 第41図75～77, 第42図78)
17点出土している。うち9点を図示した。
石質は、珪質頁岩が16点、カルセドニーが1点

である。

刃部が器体の最大幅となり全体の形状が撥形を呈するもの(第40図69～71, 73, 74, 第41図75, 76)が多く見られる。また、刃部と器体の幅がほぼ同じで、側縁が直線的なもの(第41図77)も見られる。

- ・不定形石器(第40図72)
38点出土している。うち1点を図示した。
石質は、珪質頁岩が34点、頁岩が1点、黒曜石が1点、方解石が1点、カルセドニーが1点である。
- ・磨製石斧(第43図79～88, 第44図89～91)
13点出土している。13点を図示した。
石質は、緑色片岩が6点、花崗岩が5点、片磨岩が1点、砂岩が1点である。
欠損品が多く見られる。
- ・石錘(第44図92)
1点出土している。1点を図示した。
石質は、凝灰岩である。
側縁に抉りと磨痕が見られる。
- ・敲磨器(第44図93～96, 第45図97～102, 第46図103～108, 第47図109～114, 第48図115～120, 第49図121～126, 第50図127～132, 第51図133～137, 第52図138, 139)
47点出土している。47点を図示した。
石質は、凝灰岩が16点、デイサイトが14点、流紋岩が7点、花崗閃緑岩が3点、緑色凝灰岩が2点、花崗岩が1点、角礫凝灰岩が1点、泥岩が1点、溶結凝灰岩が1点、閃緑岩が1点である。
磨痕のみが認められるもの(第44図93～96, 第45図97, 98)、敲打痕のみが認められるもの(第45図99～102, 第46図103～108, 第47図109～114, 第48図115～120, 第49図121～126)、磨痕と敲打痕が共に認められるもの(第50図127～132, 第51図133～137, 第52図138, 139)が見られる。
磨痕、敲打痕が単一で認められるか、複合して認められるかにかかわらず、磨痕、敲打痕は、器面表裏や側縁、端部等に認められるが、磨痕については、器面表裏や側縁に認められるものが多数である。敲打痕については、器面表裏に認められるものが多く、次いで端部、側縁の順に認められる。
- ・石皿(第52図140, 141, 第53図142～146, 第54図147～149, 第55図151～154, 第56図155)
16点出土している。うち15点を図示した。

石質は、凝灰岩が6点、流紋岩が5点、安山岩が2点、玄武岩が2点、デイサイトが1点である。

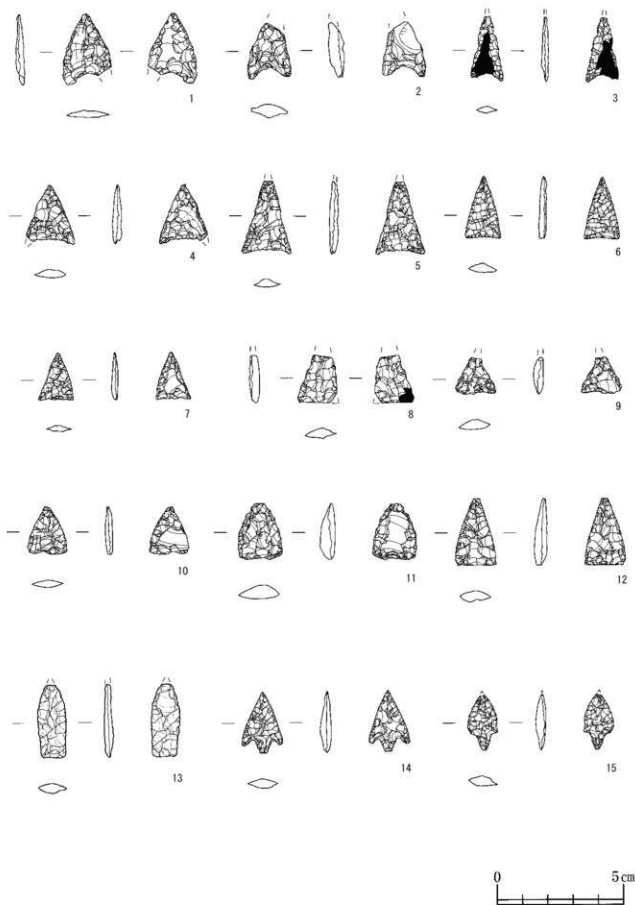
扁平な礫の平坦面に磨りによる機能面を持つもの(第52図140, 141, 第53図143～146, 第54図147～149, 第56図155)が多く見られる。縁が形作られているもの(第53図146)も見られる。また、磨痕のほかには敲打痕を有するもの(第53図142, 第55図153, 第56図155)も見られる。

・台石(第54図150, 第56図156, 157)

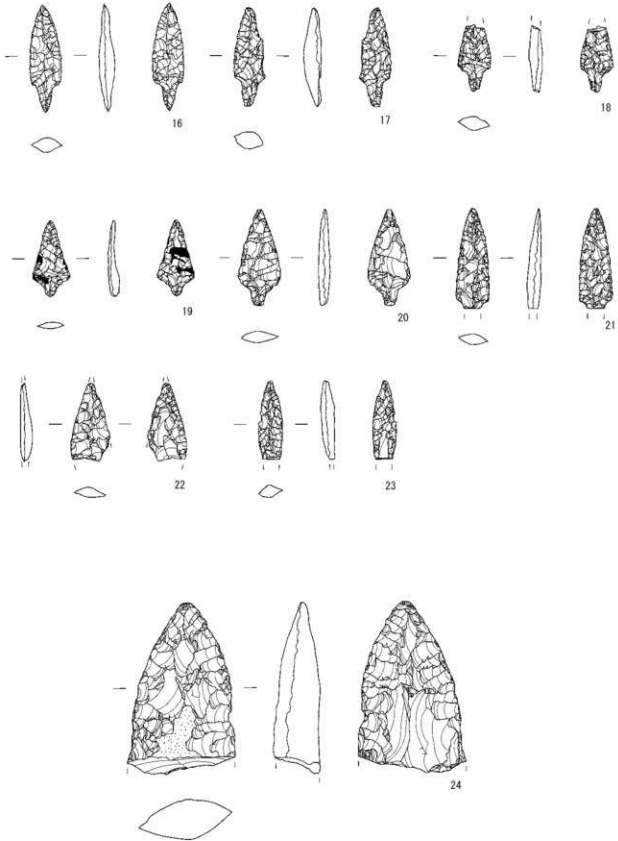
3点出土している。3点を図示した。

石質は、凝灰岩が1点、デイサイトが1点、流紋岩が1点である。

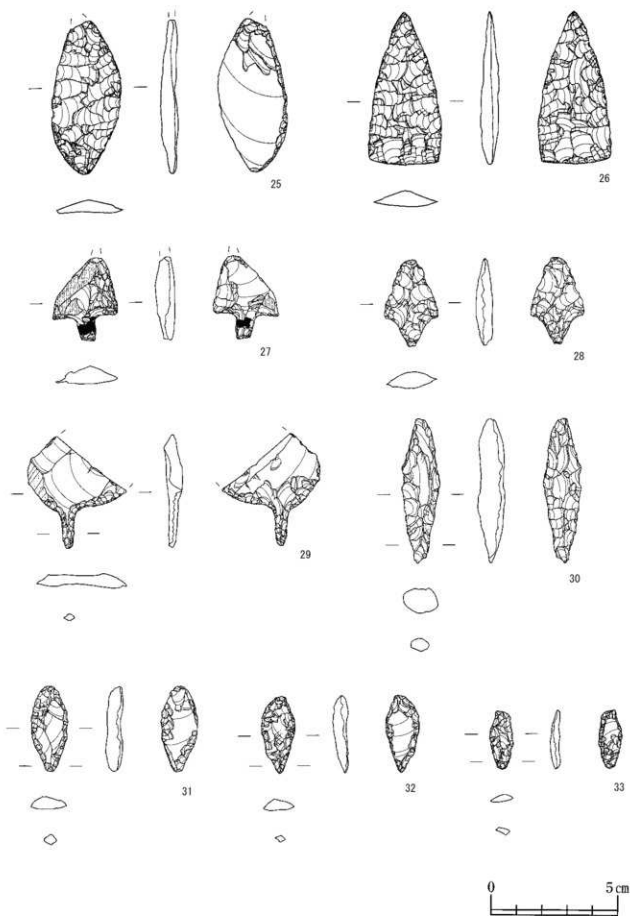
扁平な礫の平坦面に敲打による機能面を持つもの(第54図150, 第56図156)と棒状の礫に敲打による機能面を持つもの(第56図157)とが見られる。



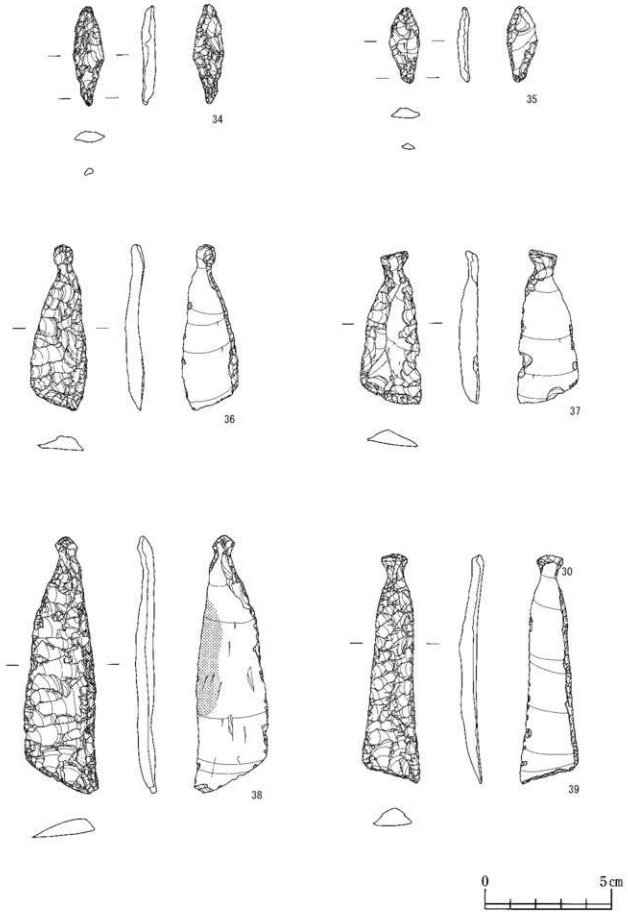
第 32 図 新田(1)遺跡出土石器(1)



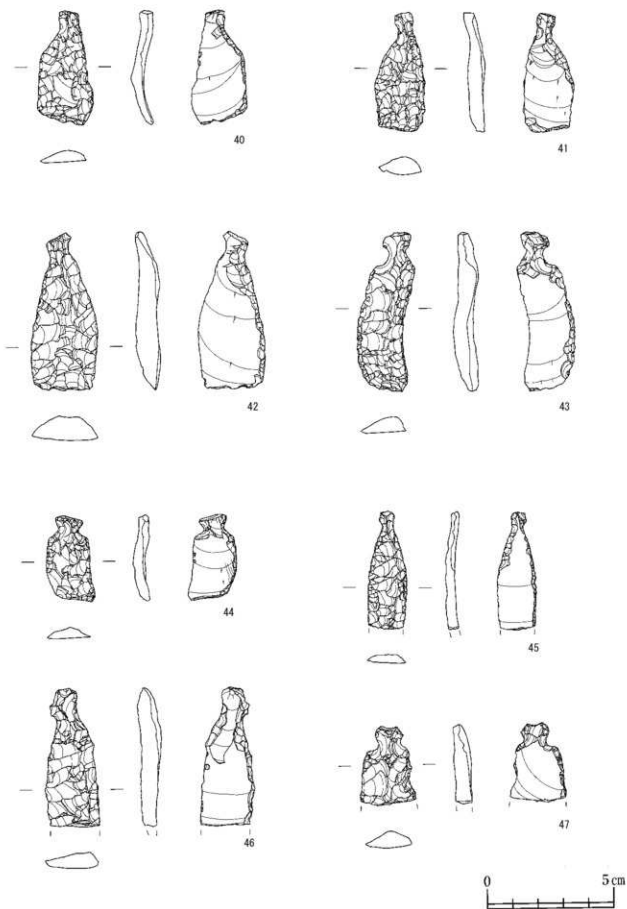
第33圖 新田(1)遺跡出土石器(2)



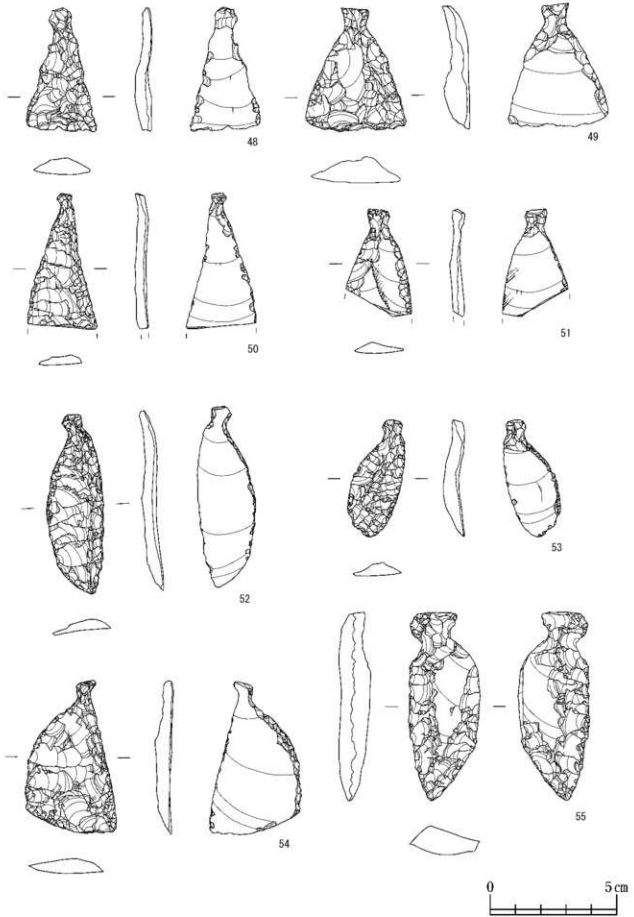
第34図 新田(1)遺跡出土石器(3)



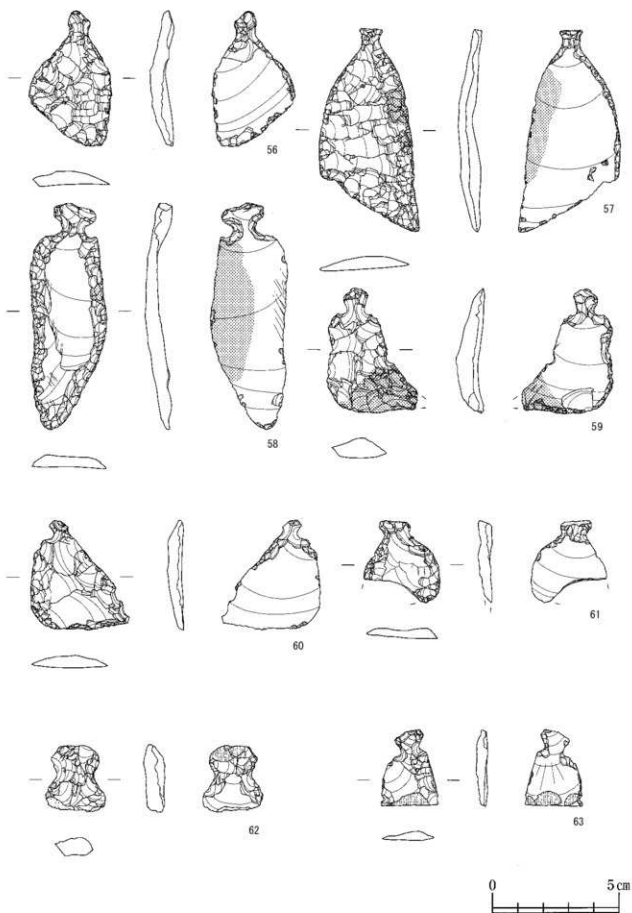
第35圖 新田(1)遺跡出土石器(4)



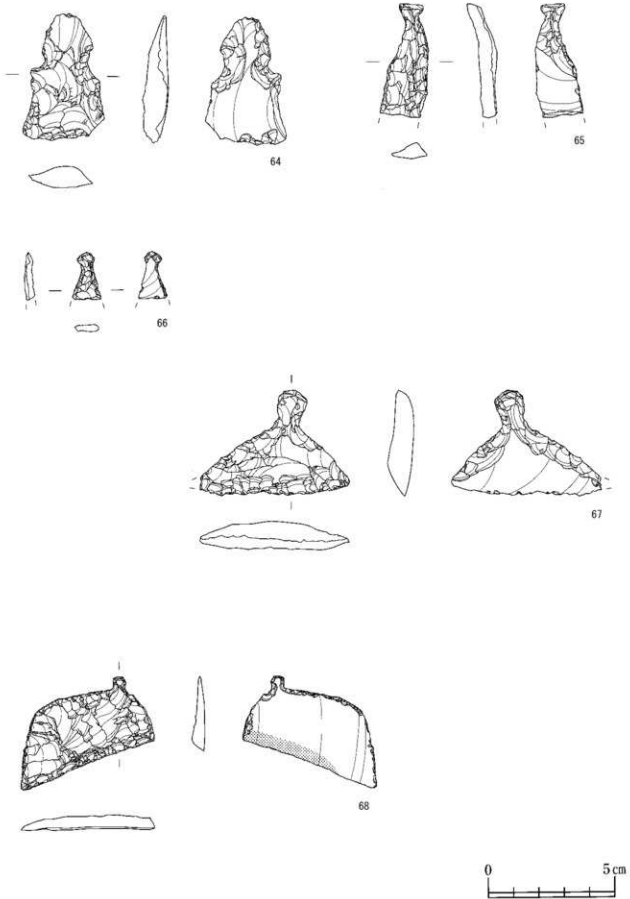
第36図 新田(1)遺跡出土石器(5)



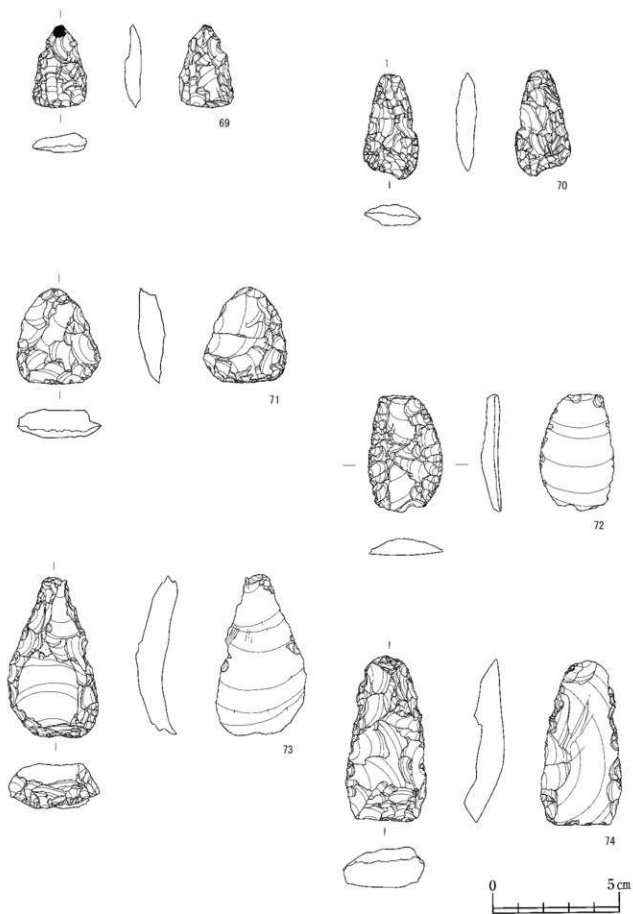
第37圖 新田(1)遺跡出土石器(6)



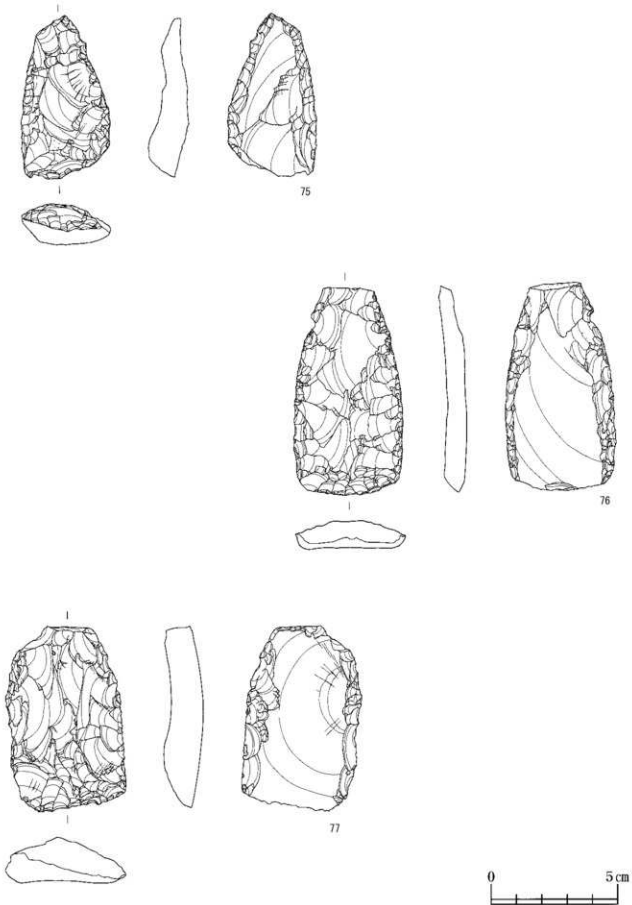
第38図 新田(1)遺跡出土石器(7)



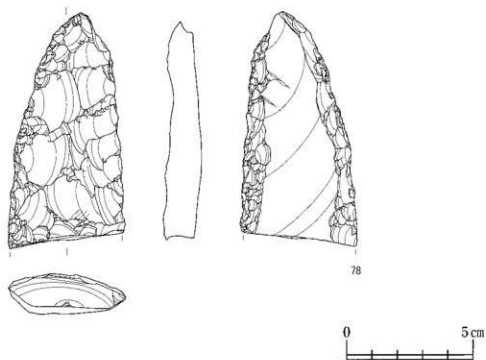
第39圖 新田(1)遺跡出土石器(8)



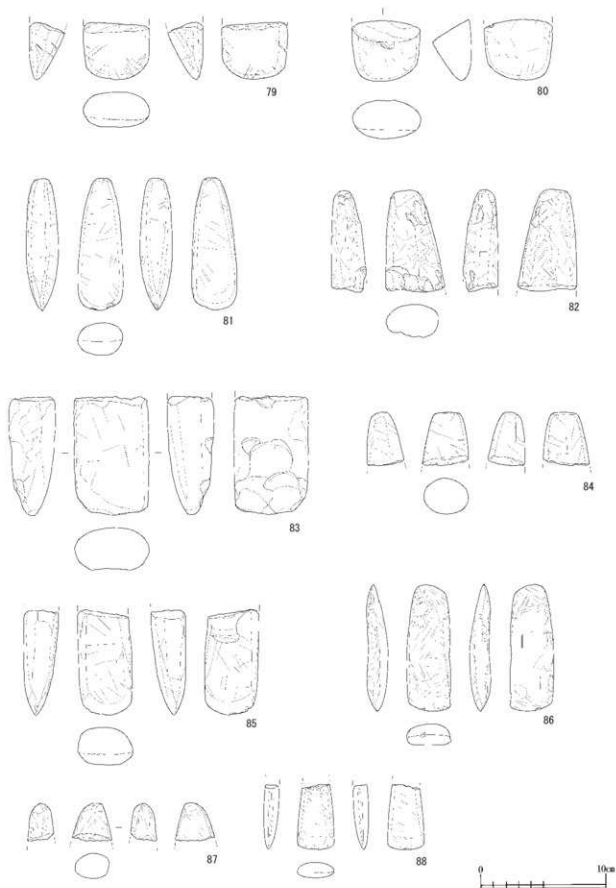
第40図 新田(1)遺跡出土石器(9)



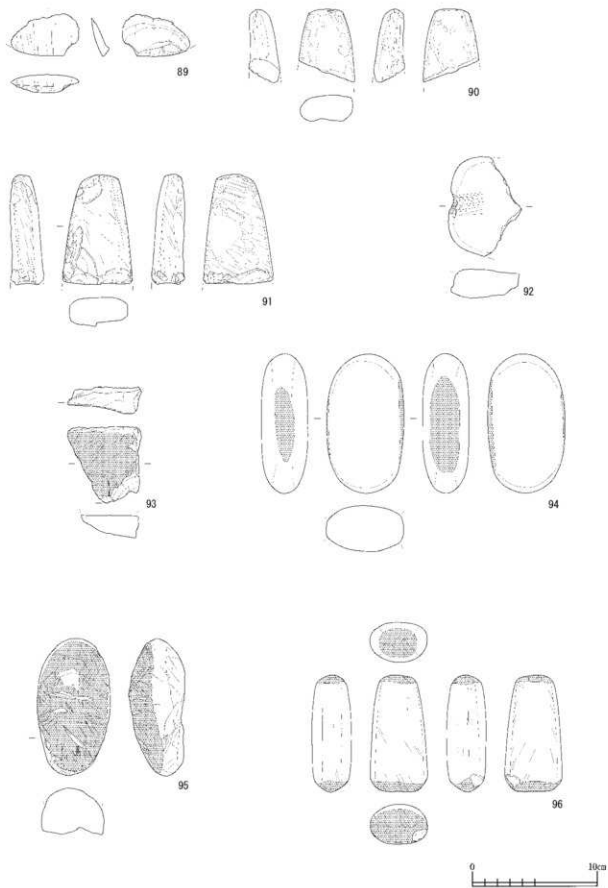
第41図 新田(1)遺跡出土石器(10)



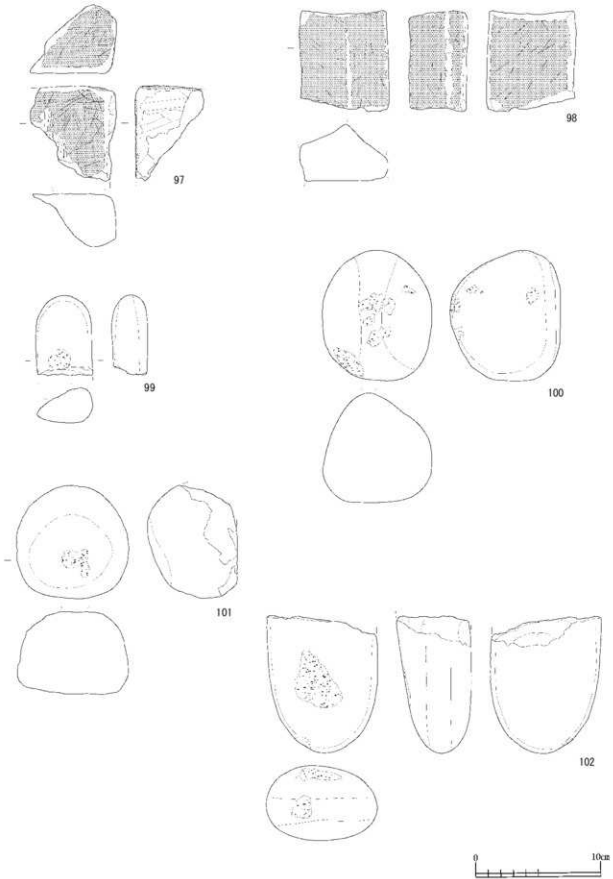
第 42 図 新田(1)遺跡出土石器(11)



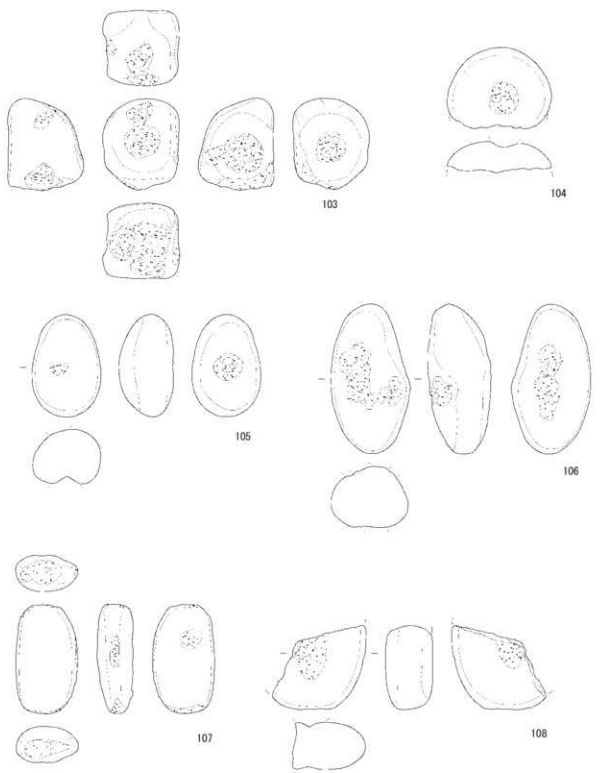
第43図 新田(1)遺跡出土石器(12)



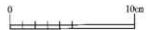
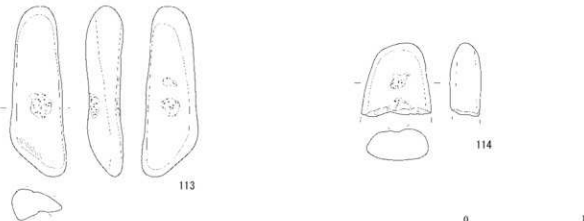
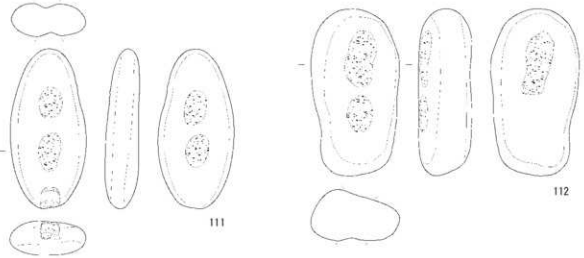
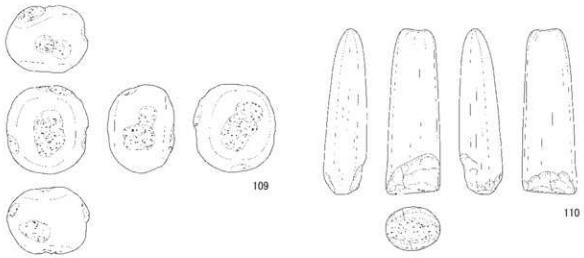
第44図 新田(1)遺跡出土石器(13)



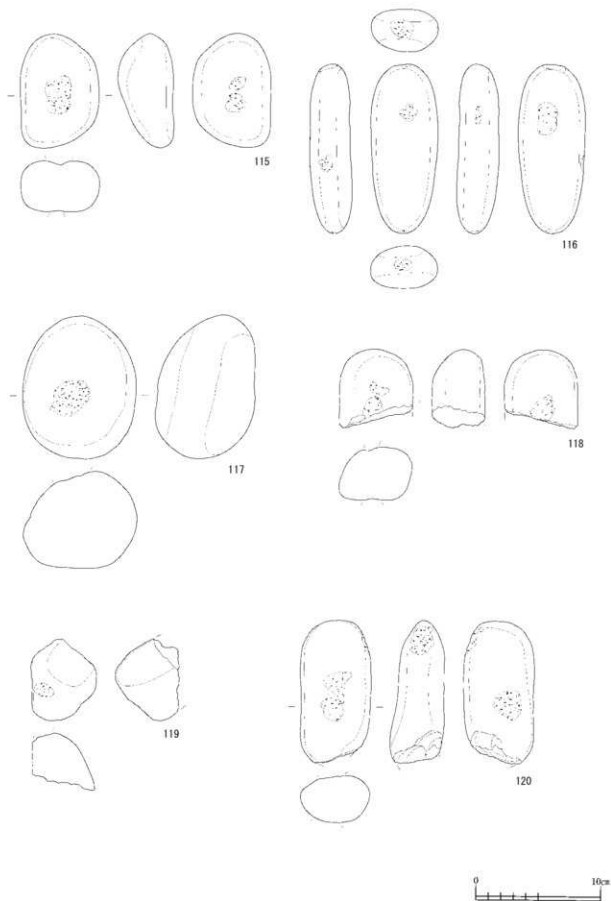
第45図 新田(1)遺跡出土石器(14)



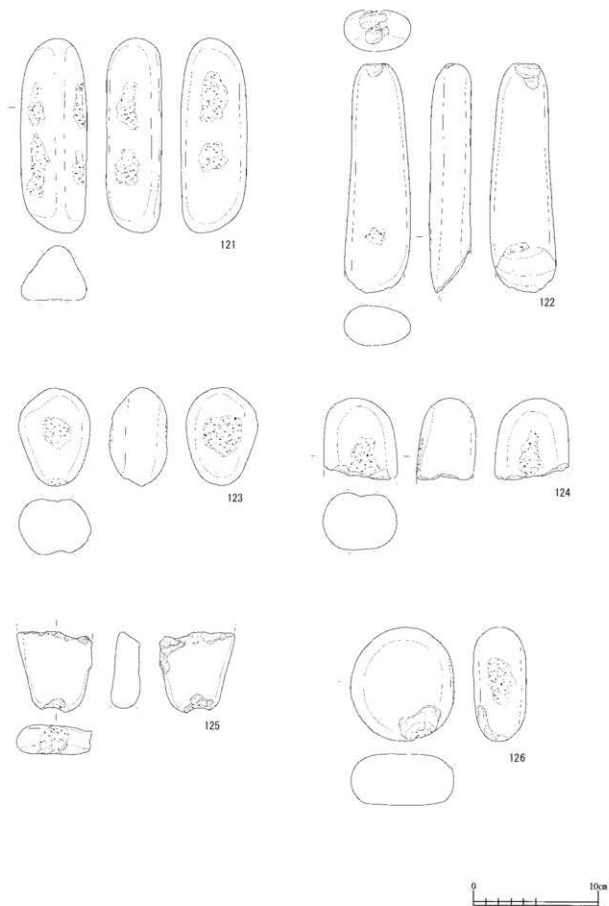
第46図 新田(1)遺跡出土石器(15)



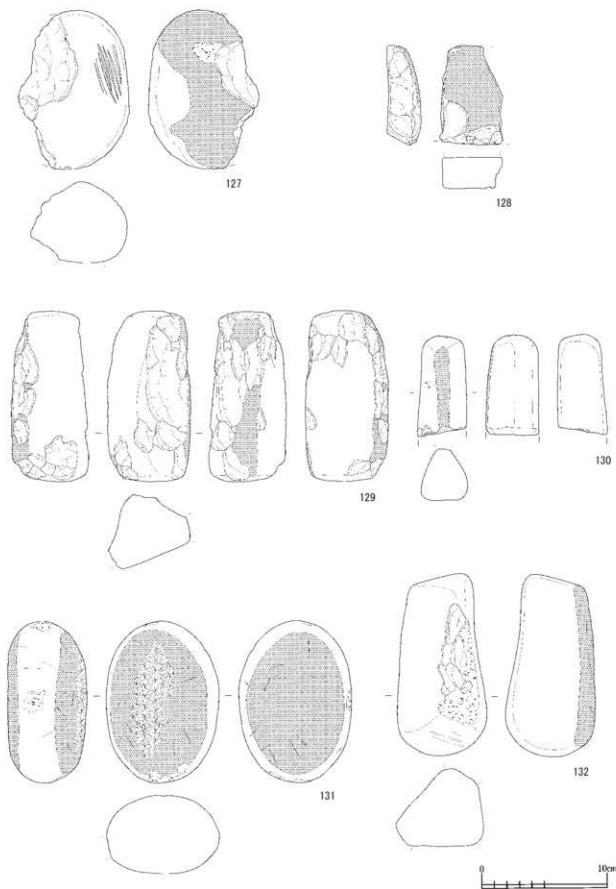
第47図 新田(1)遺跡出土石器(16)



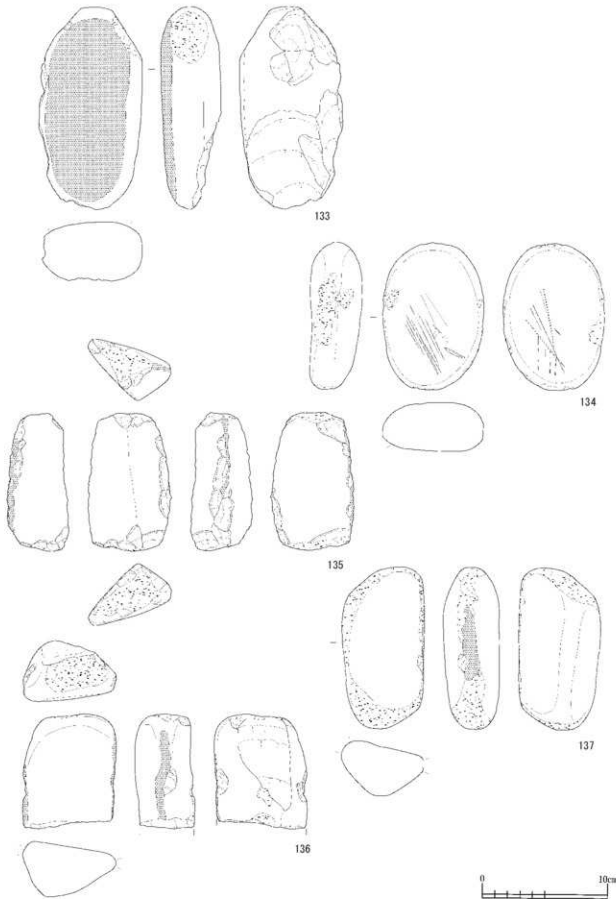
第48図 新田(1)遺跡出土石器(17)



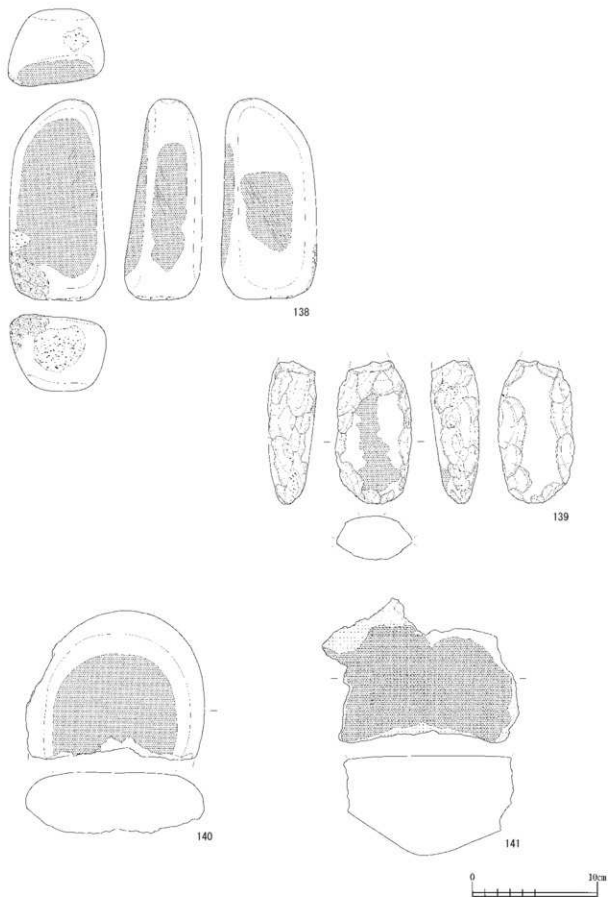
第49図 新田(1)遺跡出土石器(18)



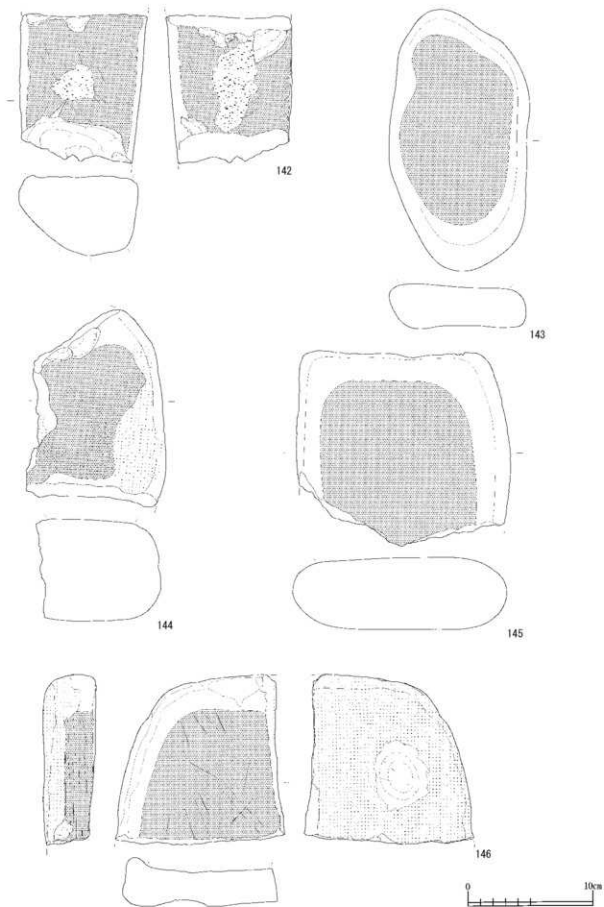
第50図 新田(1)遺跡出土石器(19)



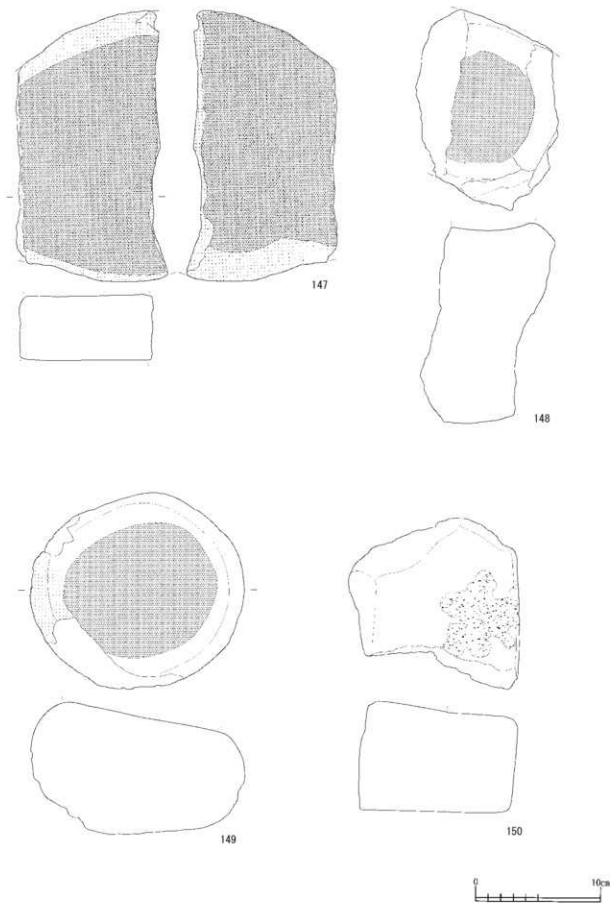
第 51 図 新田 (1) 遺跡出土石器 (20)



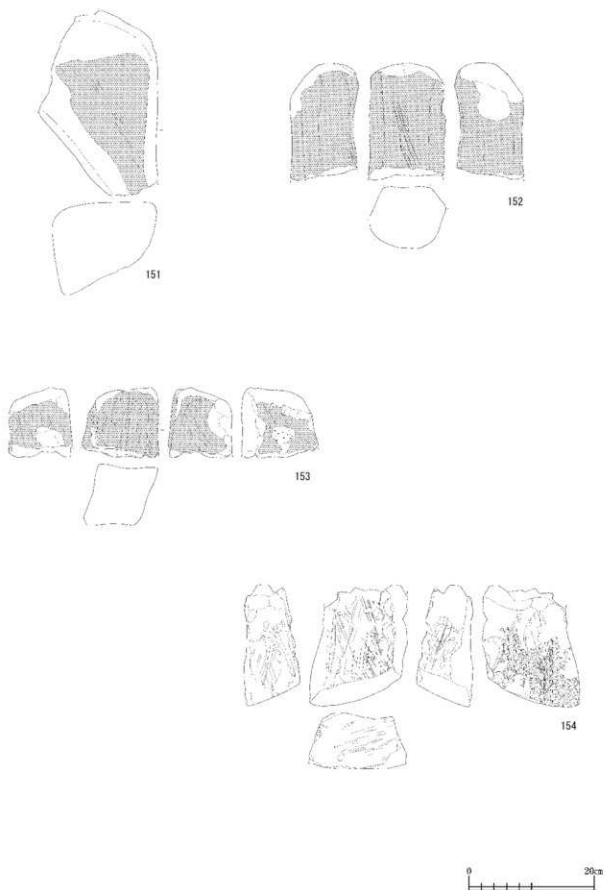
第52図 新田(1)遺跡出土石器(21)



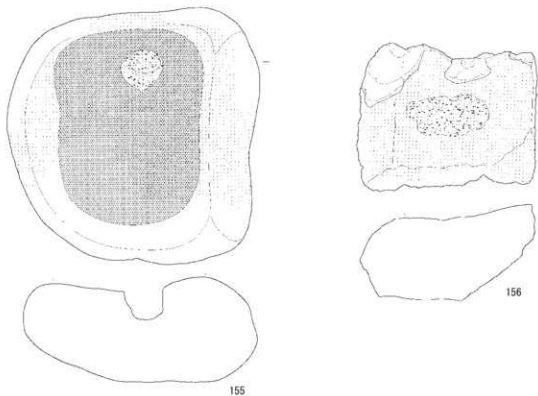
第53図 新田(1)遺跡出土石器(22)



第54図 新田(1)遺跡出土石器(23)



第55図 新田(1)遺跡出土石器(24)



第56図 新田(1)遺跡出土石器(25)

○新田(2) 遺跡出土石器(第57～106図)

・石鏃(第57図1～15, 第58図16～30, 第59図31～44, 第60図45～59, 第61図60～71) 71点出土している。71点を図示した。

石質は、珪質頁岩が51点、カルセドニーが13点、黒曜石が5点、鉄石英が1点、凝灰岩が1点である。凹基のもの(第57図1～15, 第58図16～24)と有茎凹基のもの(第60図51～59, 第61図60～67, 69)とが多く見られる。その他、平基のもの(第58図25～30, 第59図31～35)や尖基のもの(第59図38～41)、有茎平基のもの(第60図45～50)などが見られる。

・石槍(第62図72～77, 第63図78～82) 11点出土している。11点を図示した。

石質は、珪質頁岩が10点、頁岩が1点である。基部付近に抉りの見られるもの(第62図72～74)が3点見られる。

・石錐(第64図83～90, 第65図91～98, 第66図99～104, 第67図105) 26点出土している。うち23点を図示した。

石質は、珪質頁岩が21点、カルセドニーが2点、凝灰岩が1点、頁岩が1点である。

全体に二次調整を行うものでは、棒状のもの(第64図90, 第65図91～98, 第66図99～104)が多く見られる。

・石匙(第67図106～110, 第68図111～117, 第69図118～123, 第70図124～131, 第71図132～138, 第72図139～146, 第73図147～152, 第74図153～158, 第75図159～162, 第76図163, 164) 70点出土している。うち59点を図示した。

石質は、珪質頁岩が61点、頁岩が3点、鉄石英が3点、黒曜石が1点、カルセドニーが1点、凝灰岩が1点である。

縦型のものと同型のものが見られる。縦型のものには、幅狭の形状のもの(第67図106～108)、一側縁が直線的、他側縁が弧状を呈するもの(第68図116, 第69図119, 120, 第70図130)などが見られる。

・石鏡(第76図165～168, 第77図169～174, 第78図175～182, 第79図183～188, 第80図189～194, 第81図195～200, 第82図201～206, 第83図207～212, 第84図213) 51点出土している。うち49点を図示した。

石質は、珪質頁岩が42点、頁岩が7点、カルセ

ドニーが2点である。

刃部が器体の最大幅となり全体の形状が撥形を呈するものが大半であるが、刃部の幅がやや狭く、器体の最大幅が器体中位にあり、結果、側縁が弧状となるもの(第81図198～200)も見られる。

・異形石器(第84図214)

1点出土している。1点を図示した。

石質は、珪質頁岩である。

・不定形石器(第84図215～217, 第85図218～223, 第86図224～227, 第87図228～230, 第88図231～235, 第89図236～240)

129点出土している。うち26点を図示した。

石質は、珪質頁岩が117点、カルセドニーが7点、凝灰岩が4点、流紋岩が1点である。

・磨製石斧(第90図241～248, 第91図249～256, 第92図257～264)

25点出土している。うち24点を図示した。

石質は、花崗岩が12点、緑色片岩が6点、片岩が4点、緑色凝灰岩が2点、片磨岩が1点である。欠損品が多く見られる。また、小型のもの(第92図261)も見られる。

・石錘(第92図265, 第93図266)

2点出土している。2点を図示した。

石質は、凝灰岩が2点である。

側縁4ヶ所に抉りと磨痕がそれぞれ見られる。

・敲磨器(第93図267～272, 第94図273～278, 第95図279～284, 第96図285～290, 第97図291～295, 第98図296～302, 第99図303～308, 第100図309～313, 第101図314～317, 第102図318～322)

56点出土している。56点を図示した。

石質は、凝灰岩が25点、流紋岩が14点、デイサイトが4点、閃緑岩が3点、花崗閃緑岩が2点、溶岩が2点、凝灰質砂岩が1点、凝灰質泥岩が1点、花崗岩が1点、珪質頁岩が1点、緑色凝灰岩が1点、安山岩が1点である。

磨痕のみが認められるもの(第93図267～272, 第94図273～277)、敲打痕のみが認められるもの(第94図278, 第95図279～284, 第96図285～290, 第97図291～295, 第98図296～302, 第99図303, 304)、磨痕と敲打痕が共に認められるもの(第99図305～308, 第100図309～313, 第101図314～317, 第102図318～322)が見られる。

磨痕、敲打痕が単一で認められるか、複合して認

められるかにかかわらず、磨痕、敲打痕は、器面表裏や側縁、端部等に認められるが、磨痕については、側縁や器面表裏に認められるものが多数である。敲打痕については、器面表裏に認められるものが多く、次いで端部、側縁の順に認められる。

また、磨製石斧を転用したもの(第94図275、278、第96図289、第97図291、293、第101図315)も見られる。

・半円状扁平打製石器(第103図323)

1点出土している。1点を図示した。

石質は、凝灰岩である。

弧状の縁辺部にも磨痕が見られる。

・石皿(第103図324～327、第104図328～332、第105図333～336)

13点出土している。13点を図示した。

石質は、凝灰岩が7点、流紋岩が3点、砂質凝灰岩が1点、安山岩が1点、玄武岩が1点である。

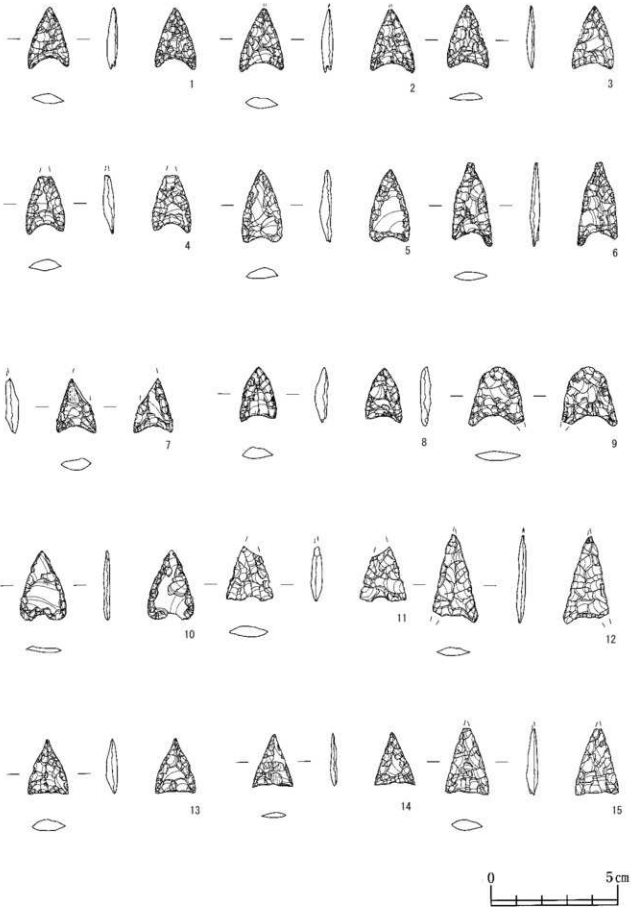
扁平な楕の平坦面に磨りによる機能面を持つものが見られる。縁が形作られているもの(第103図326、第104図330、第105図333、335)や縁と脚部が形作られているもの(第104図329、331)が見られる。また、磨痕のほかに敲打痕を有するもの(第105図335、336)も見られる。

・台石(第106図337)

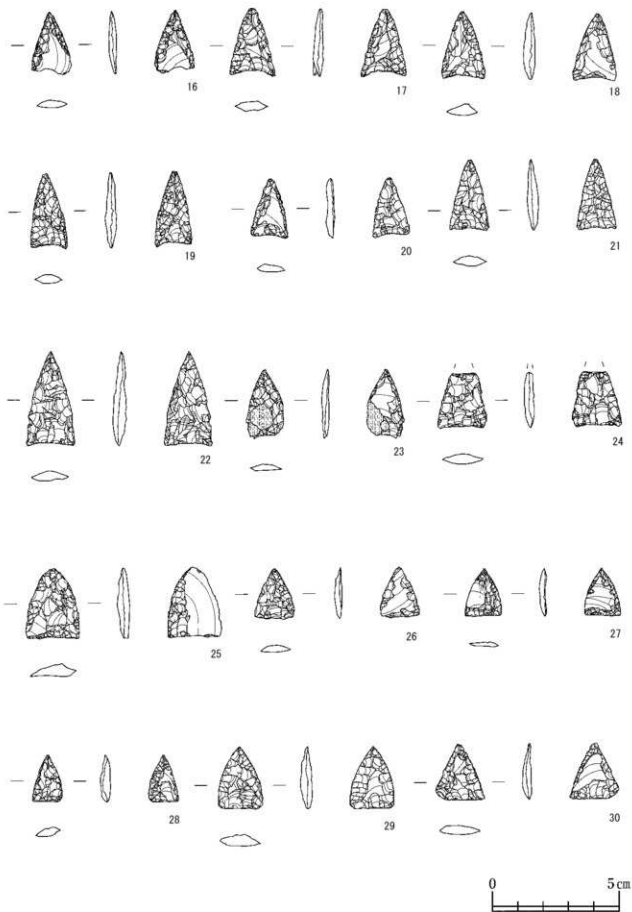
1点出土している。1点を図示した。

石質は、凝灰岩である。

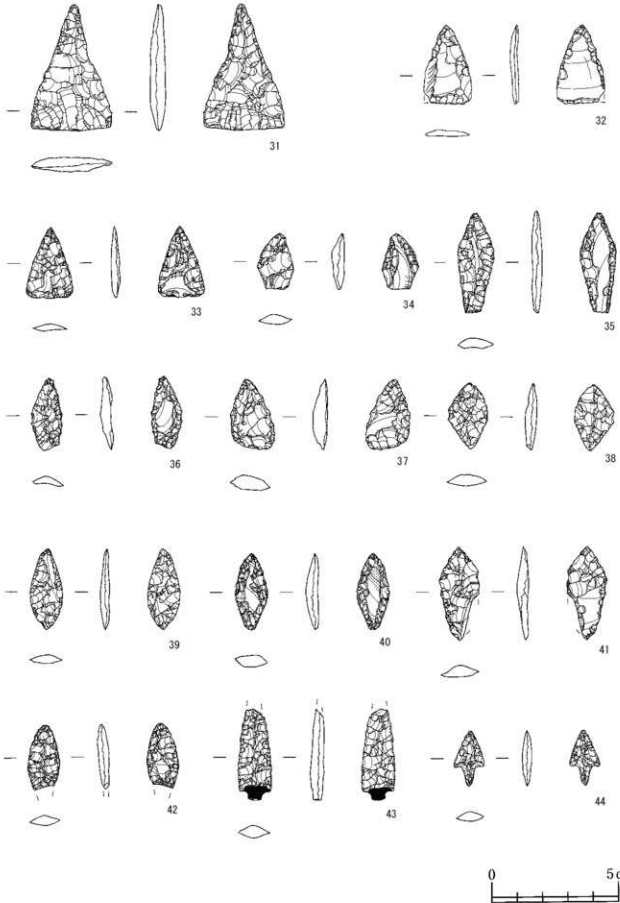
扁平な楕の平坦面に敲打による機能面が見られる。



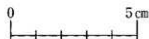
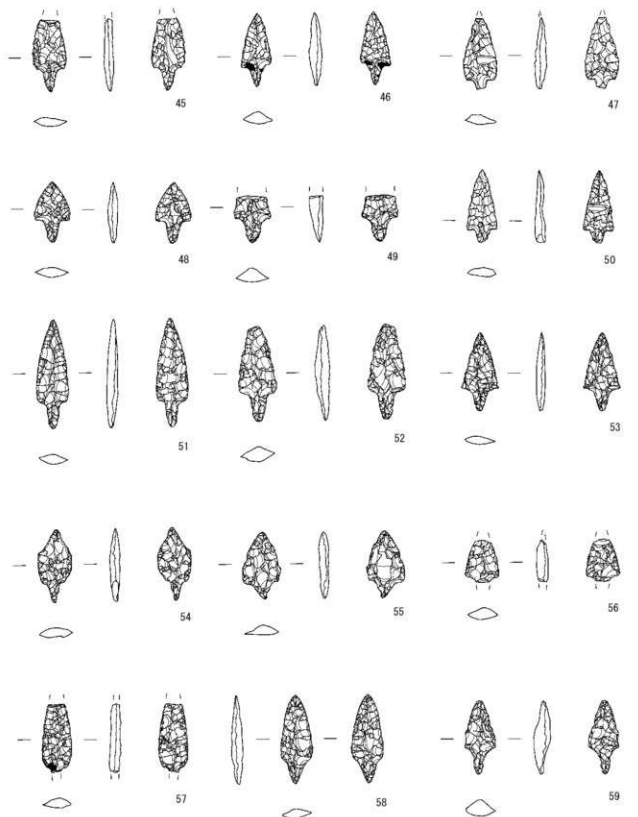
第57図 新田(2)遺跡出土石器(1)



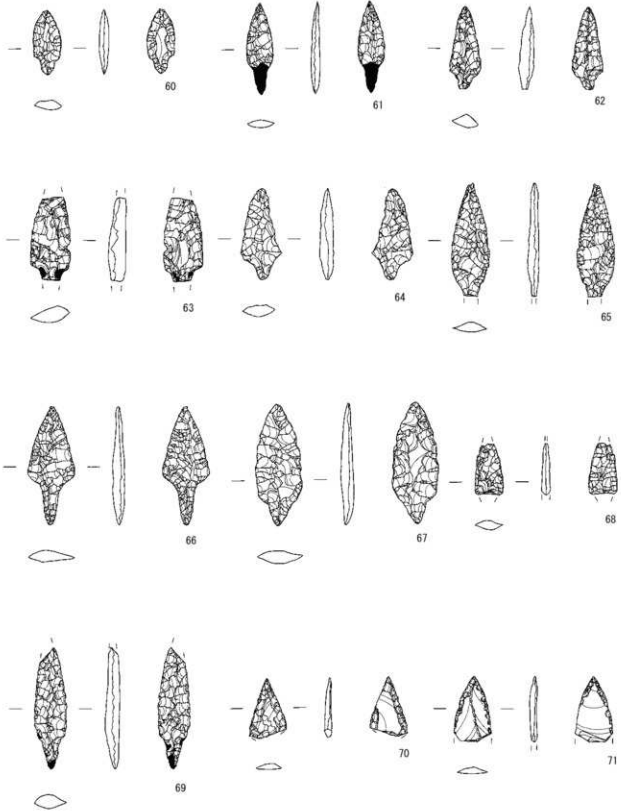
第58図 新田(2)遺跡出土石器(2)



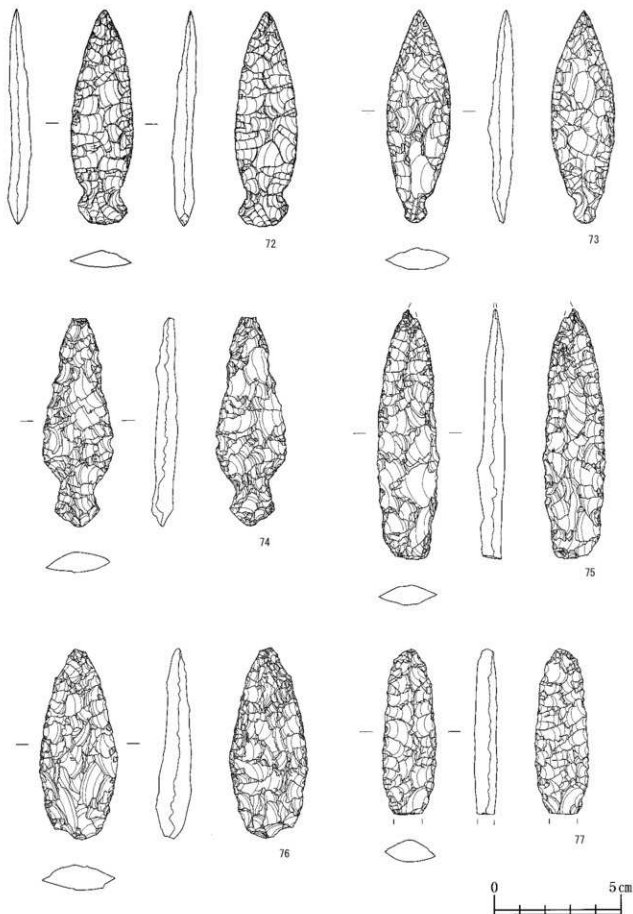
第59図 新田(2)遺跡出土石器(3)



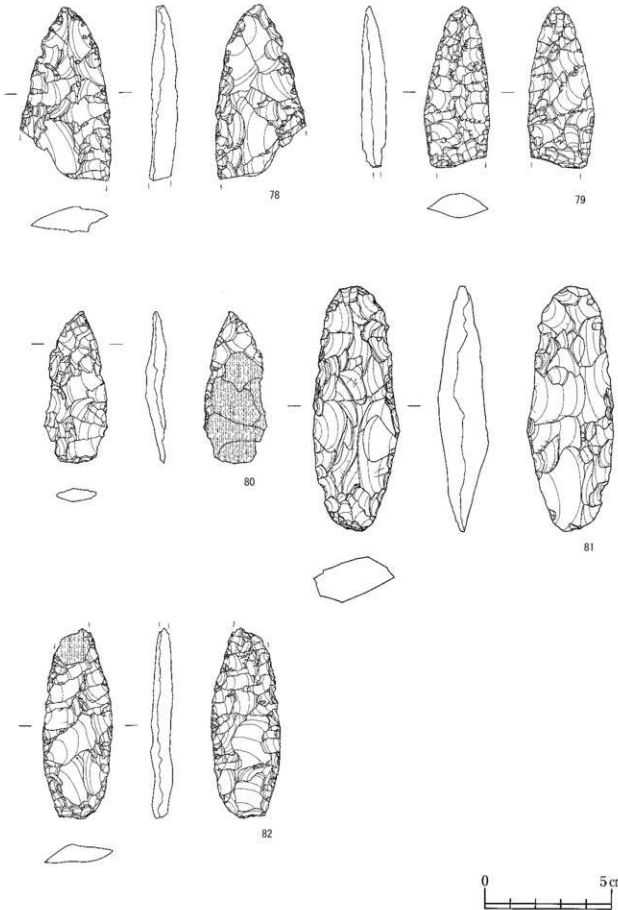
第60図 新田(2)遺跡出土石器(4)



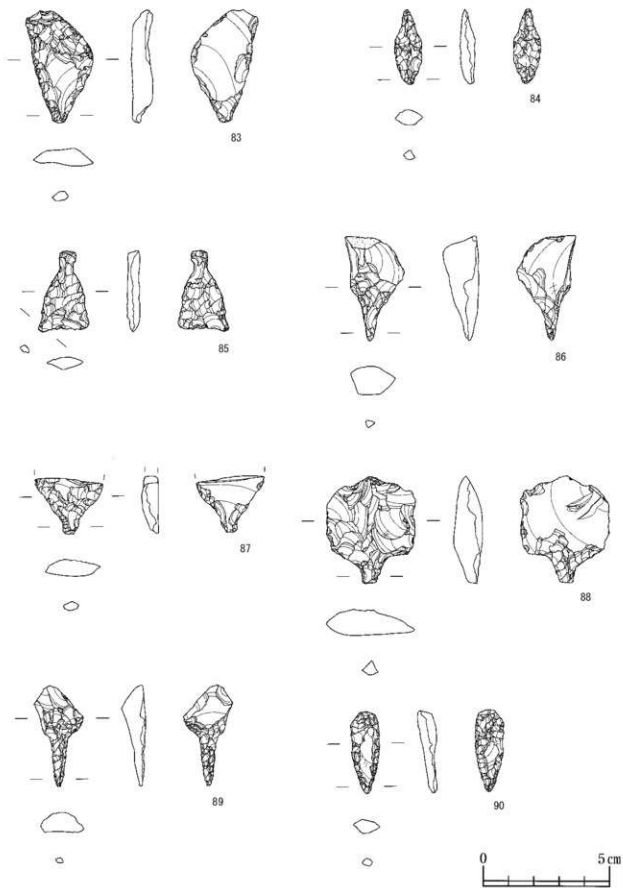
第 61 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (5)



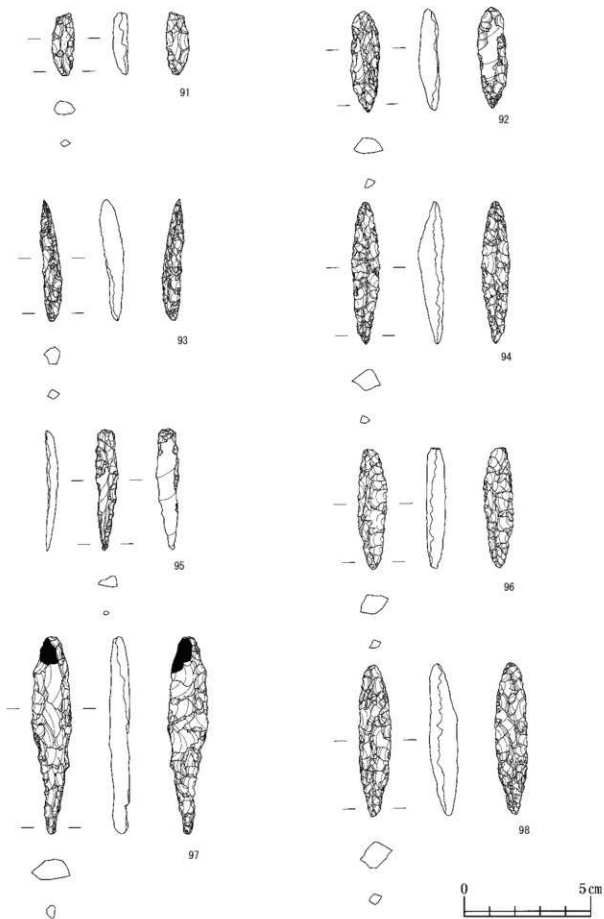
第62図 新田(2)遺跡出土石器(6)



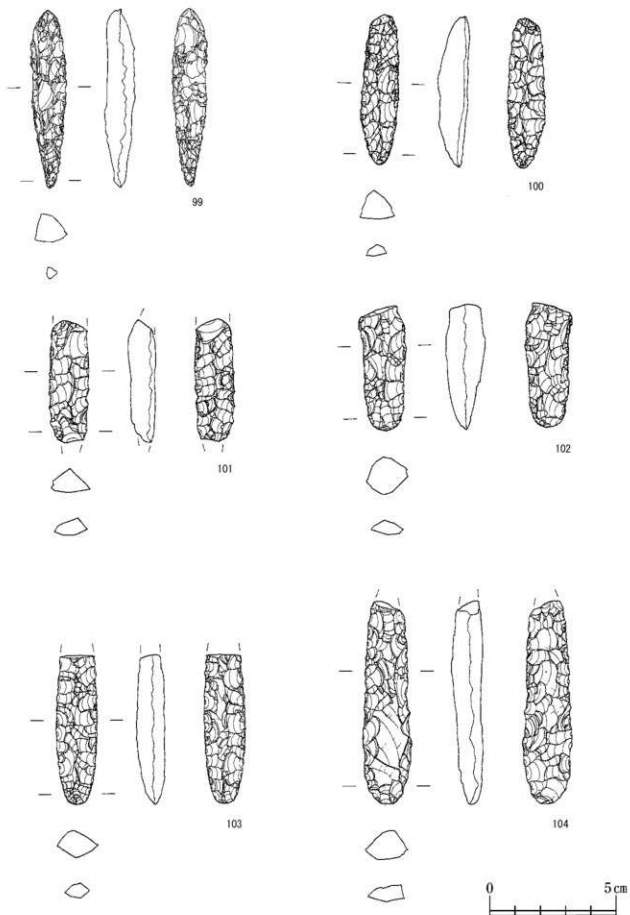
第63図 新田(2)遺跡出土石器(7)



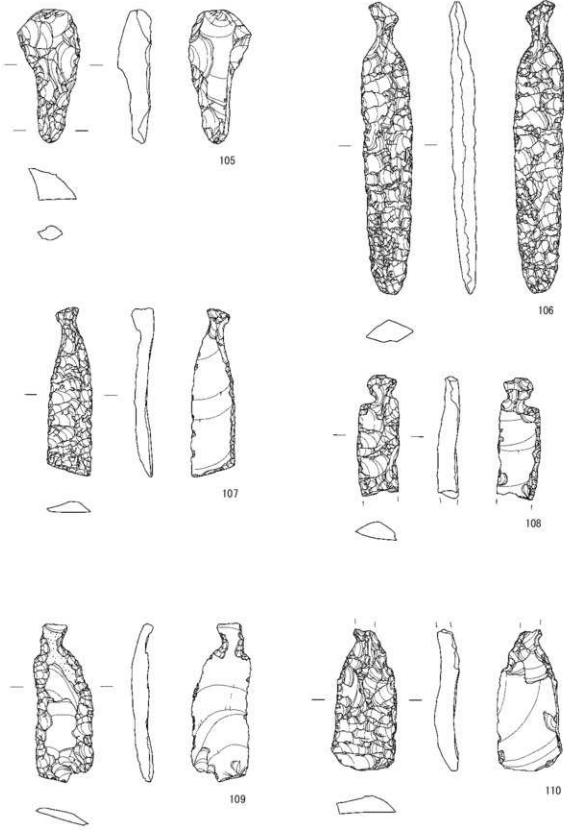
第64図 新田(2)遺跡出土石器(8)



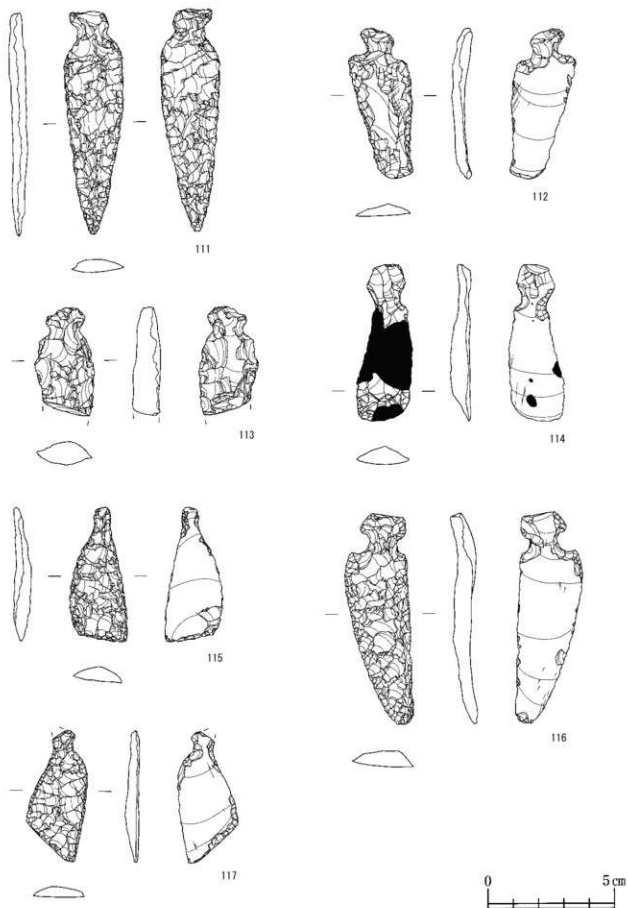
第65圖 新田(2)遺跡出土石器(9)



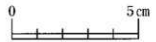
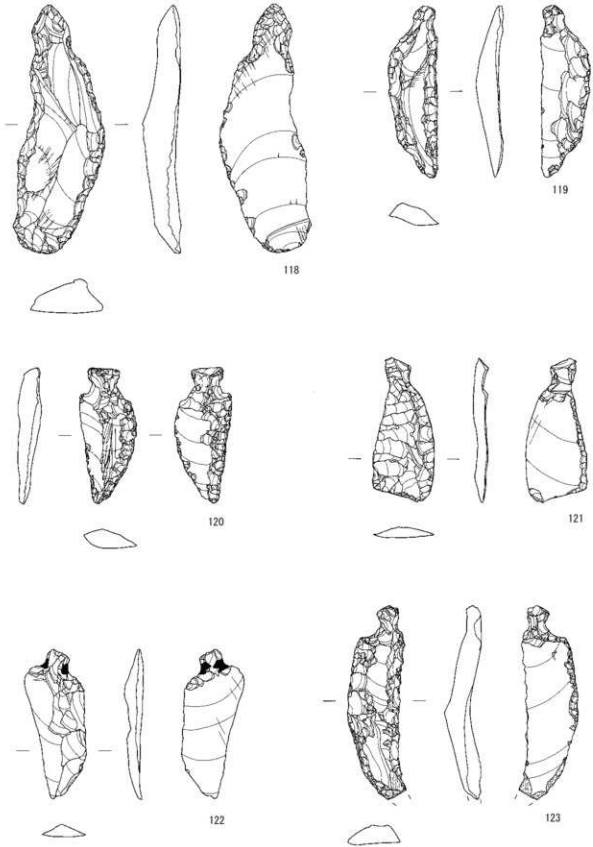
第66図 新田(2)遺跡出土石器(10)



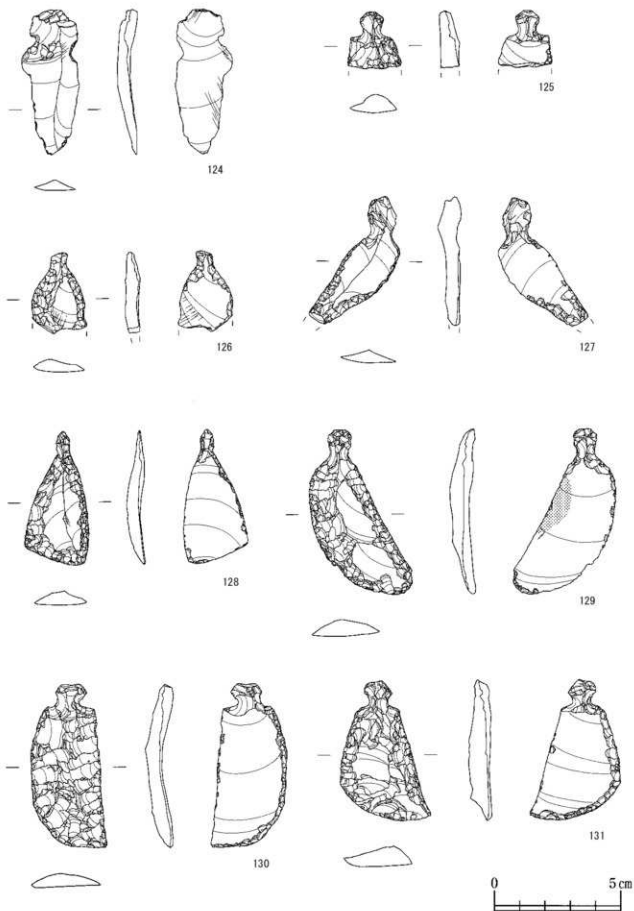
第 67 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (11)



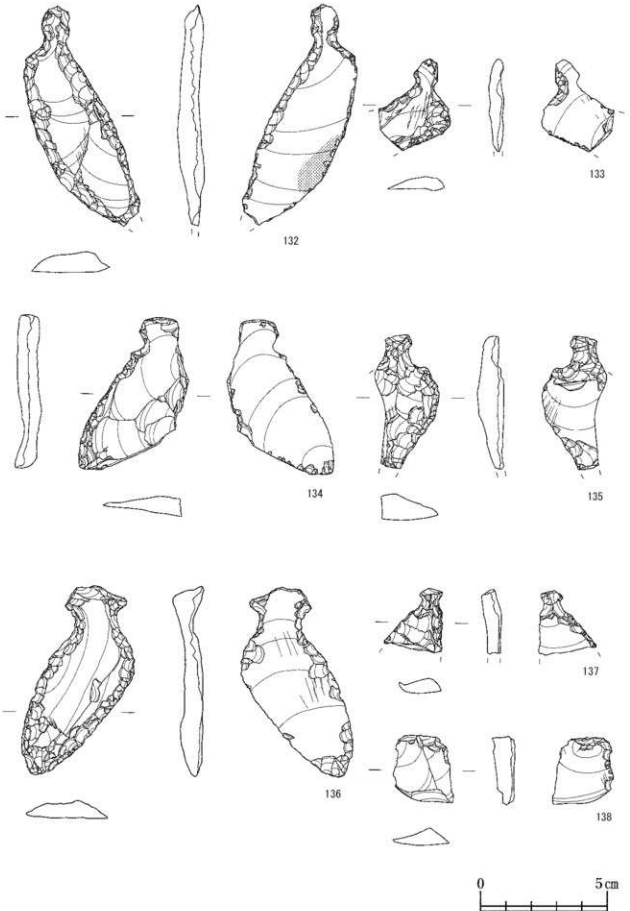
第 68 図 新田(2) 遺跡出土石器(12)



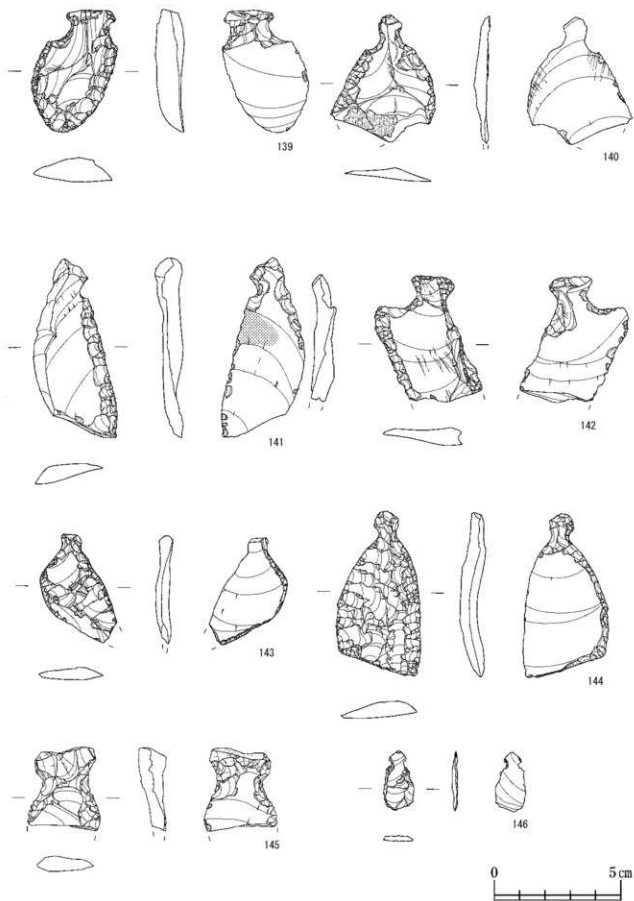
第 69 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (13)



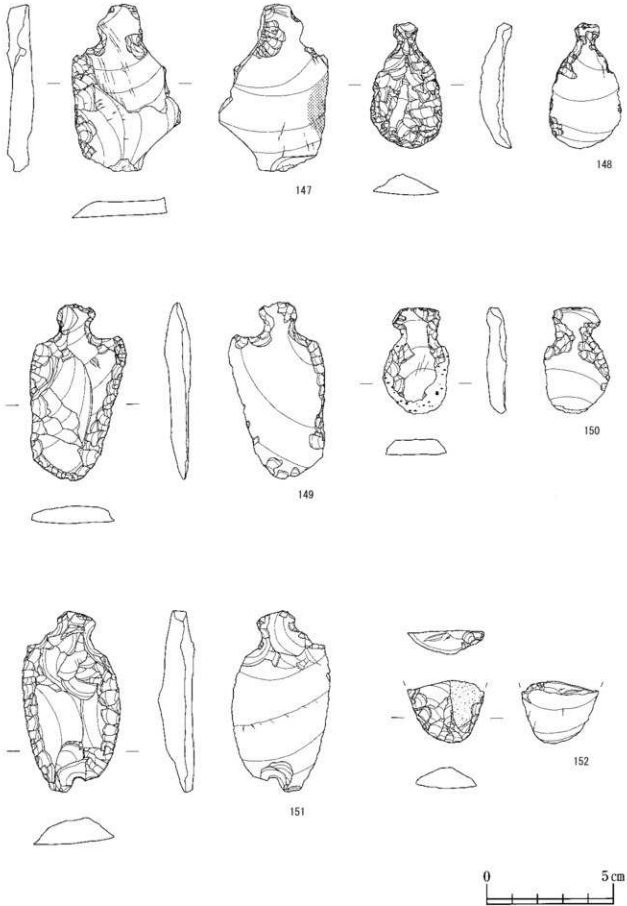
第70図 新田(2)遺跡出土石器(14)



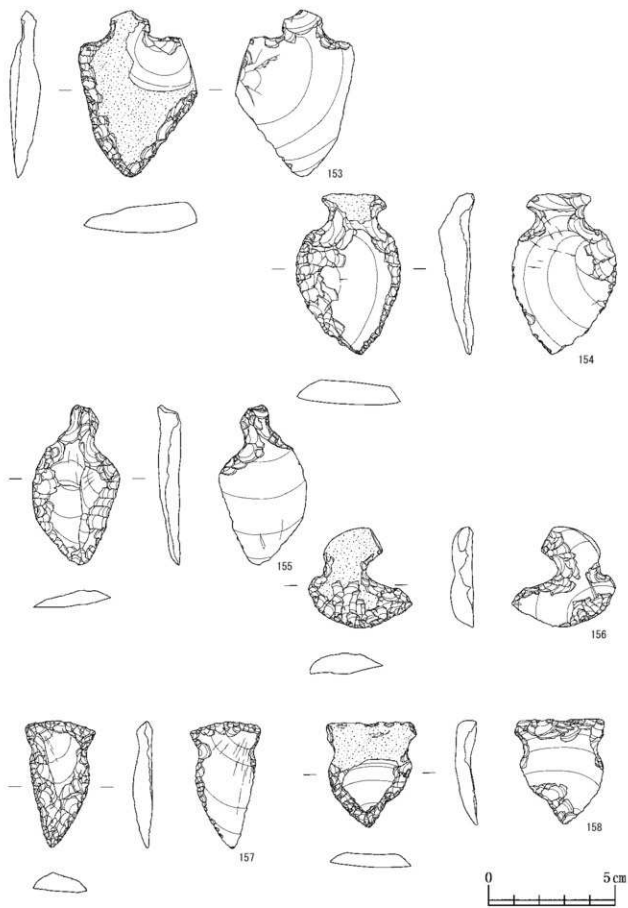
第71圖 新田(2)遺跡出土石器(15)



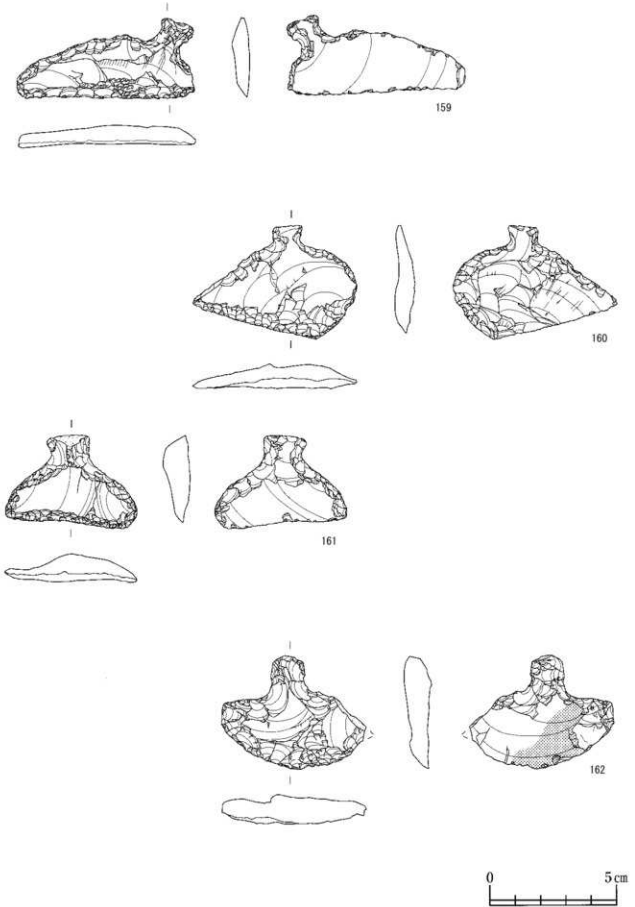
第72図 新田(2)遺跡出土石器(16)



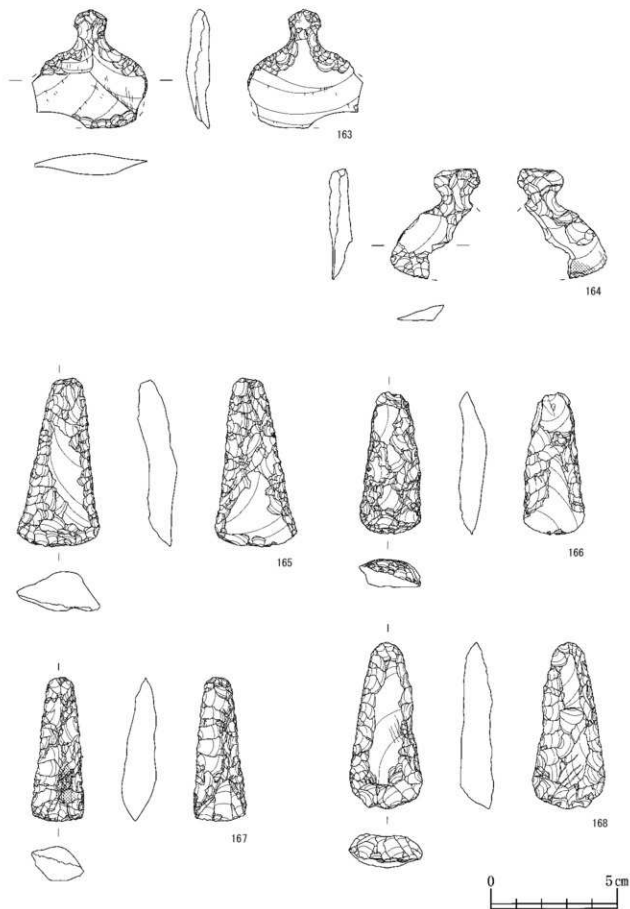
第73図 新田(2)遺跡出土石器(17)



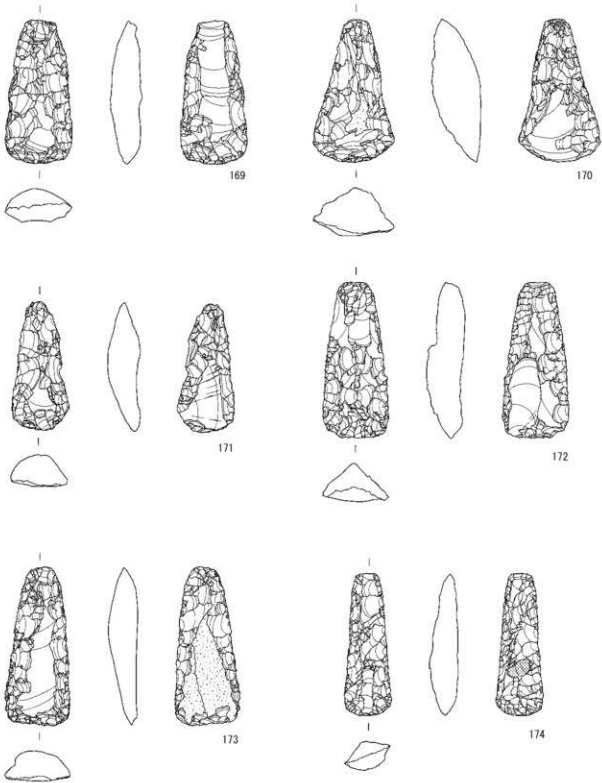
第74図 新田(2)遺跡出土石器(18)



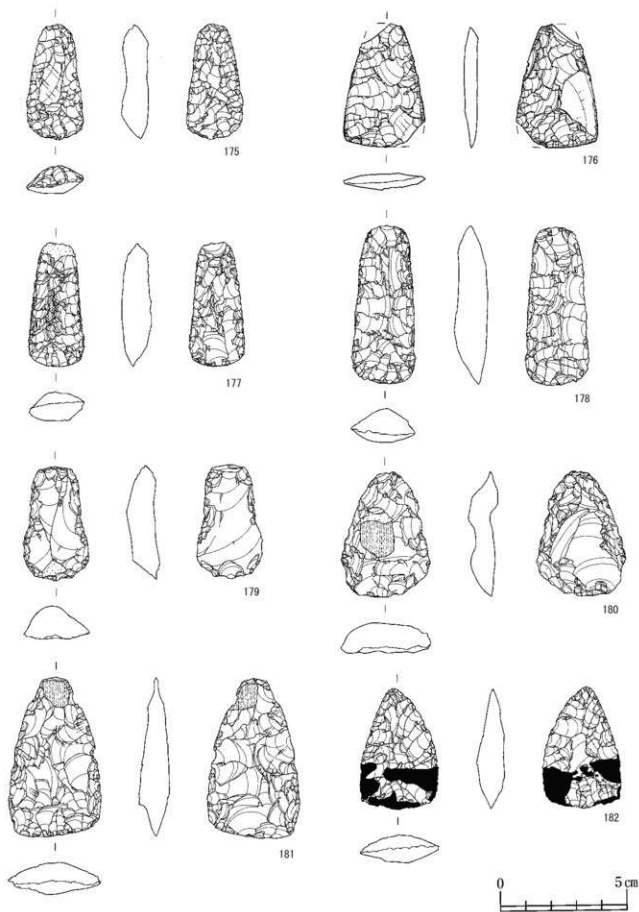
第75図 新田(2)遺跡出土石器(19)



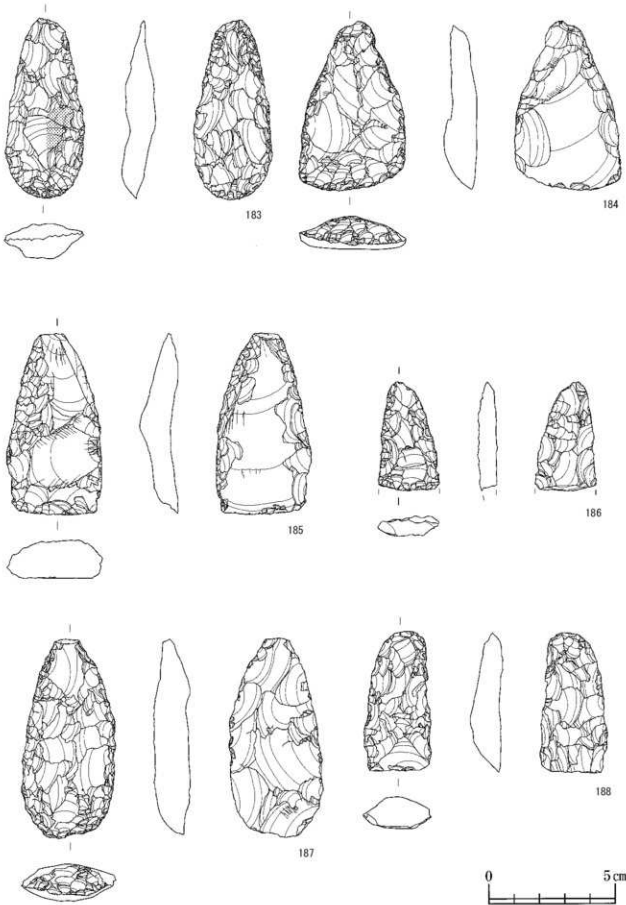
第76図 新田(2)遺跡出土石器(20)



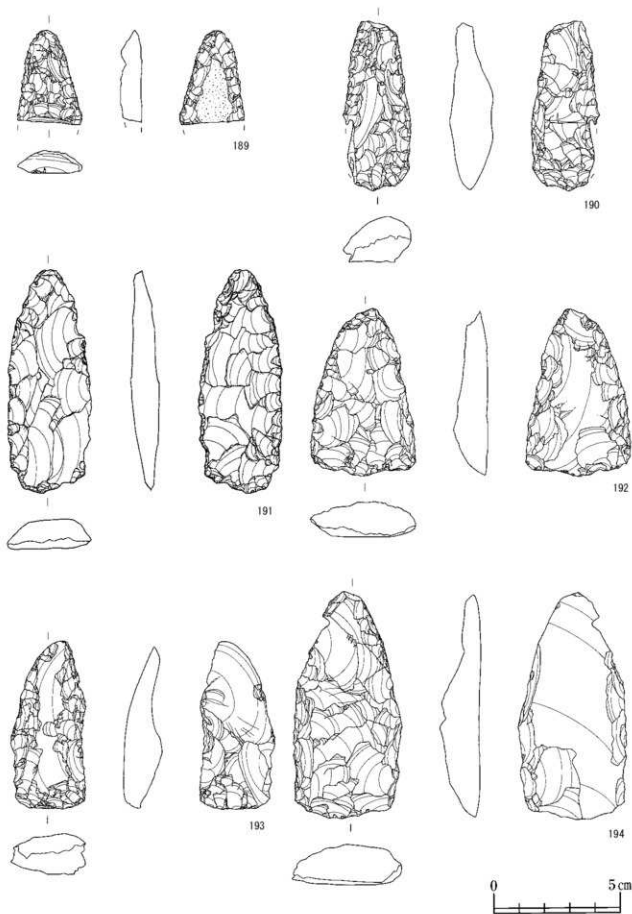
第 77 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (21)



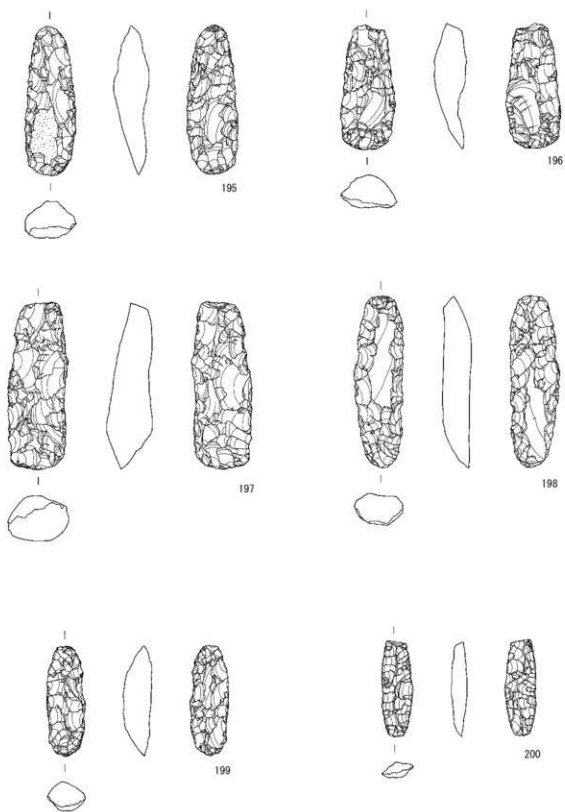
第 78 図 新田(2)遺跡出土石器(22)



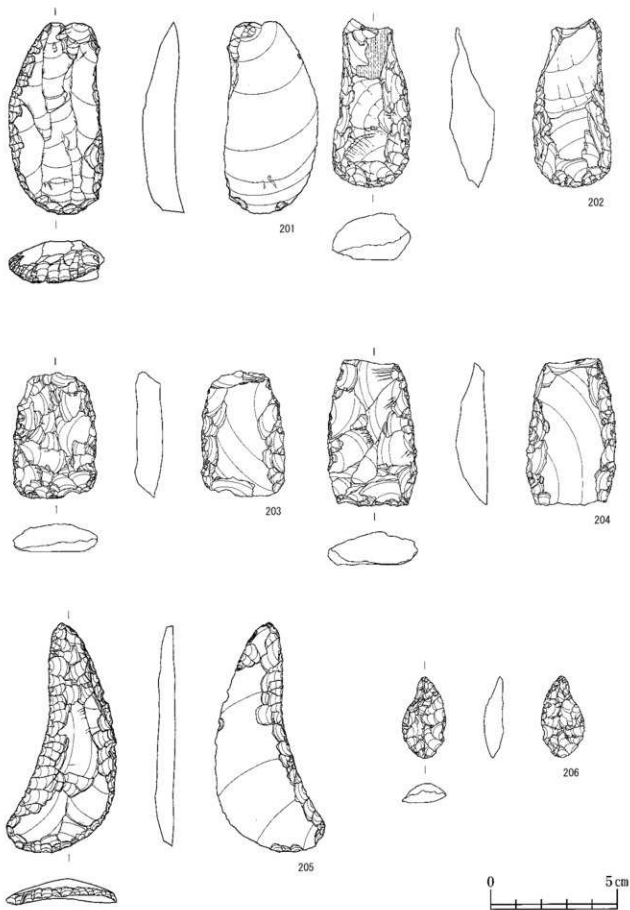
第 79 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (23)



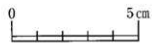
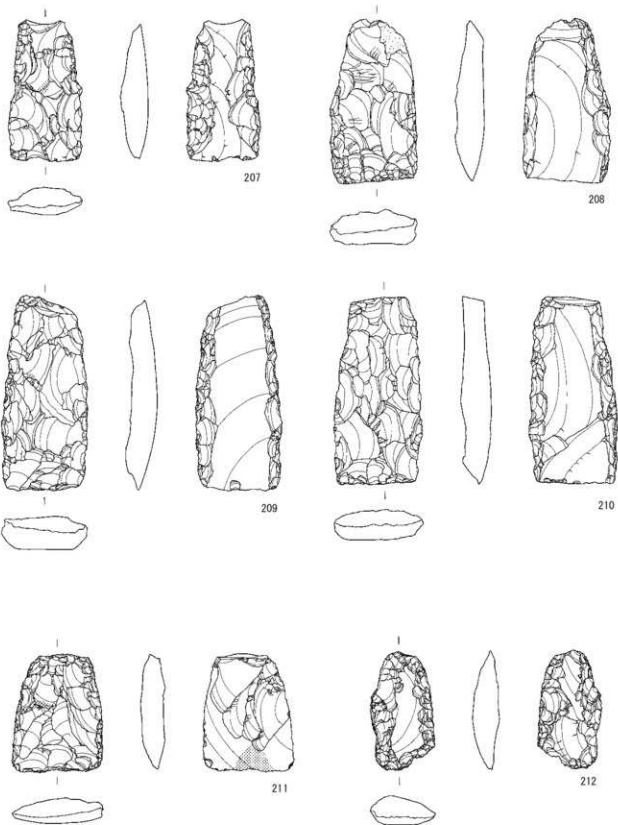
第80図 新田(2)遺跡出土石器(24)



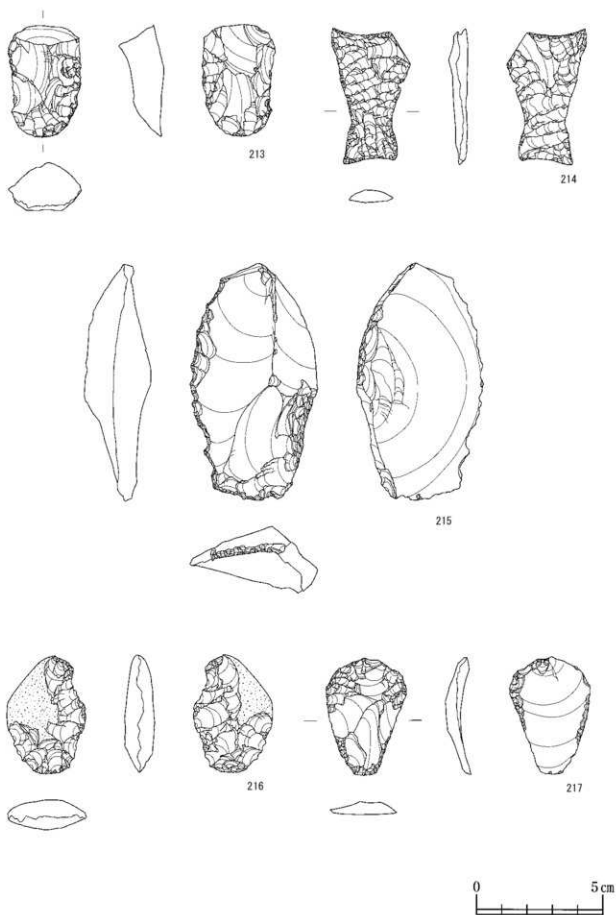
第 81 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (25)



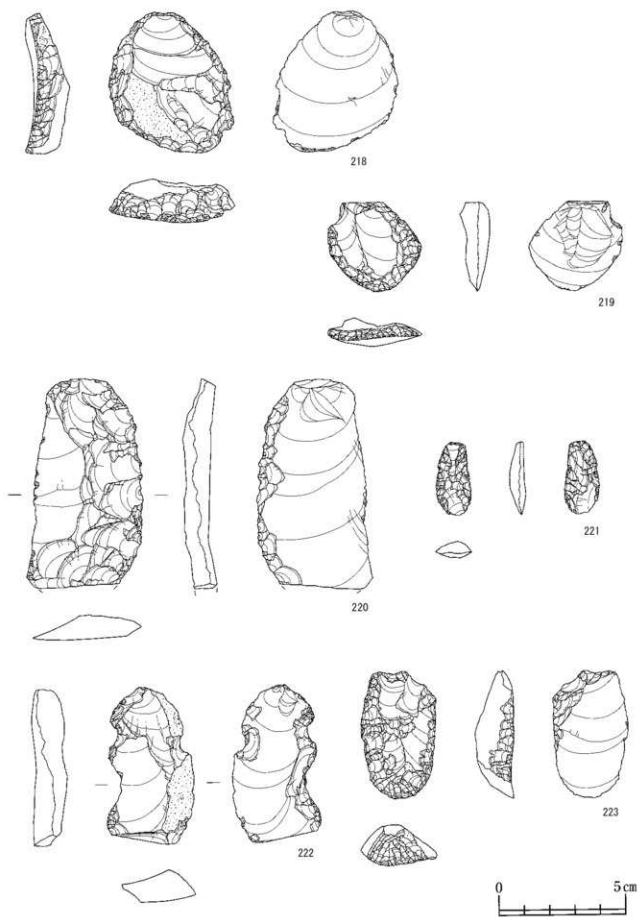
第 82 図 新田(2)遺跡出土石器(26)



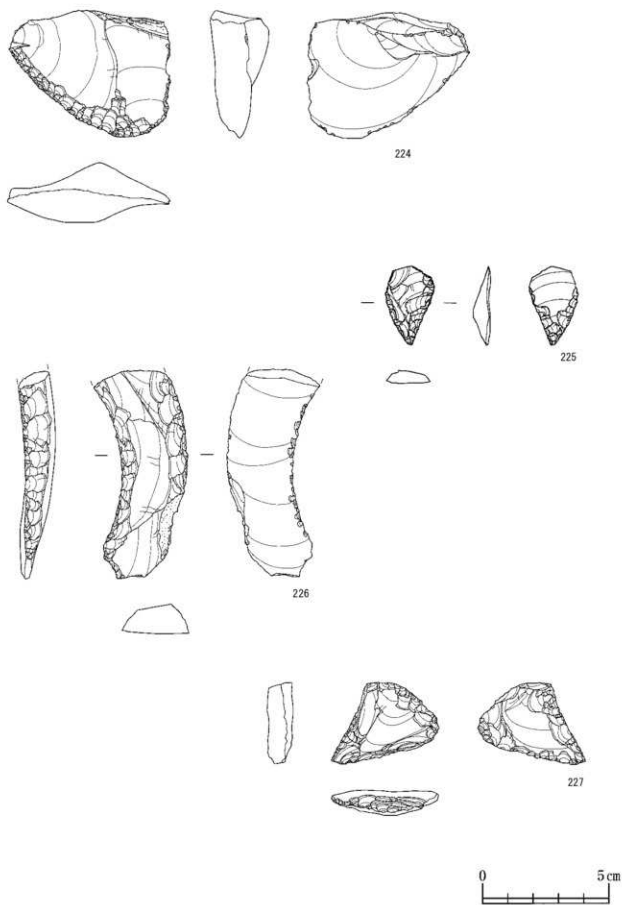
第83図 新田(2)遺跡出土石器(27)



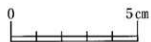
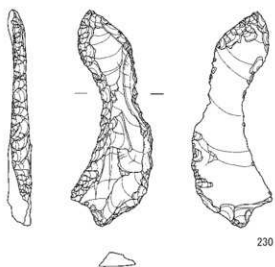
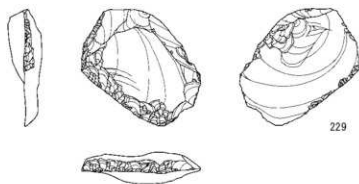
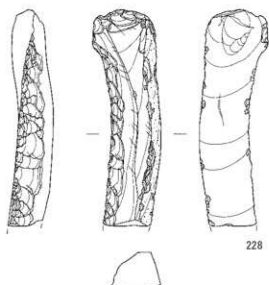
第 84 図 新田(2)遺跡出土石器(28)



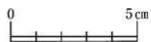
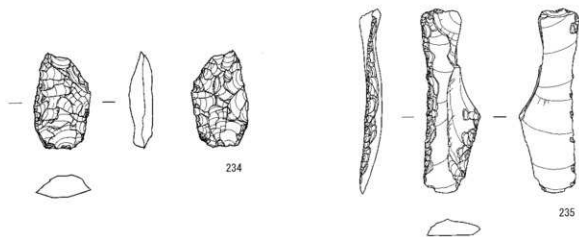
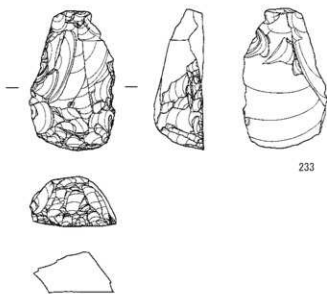
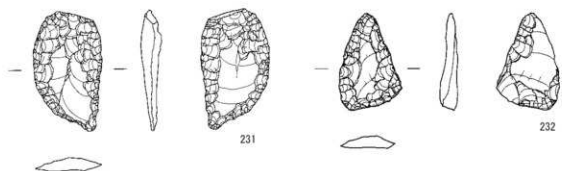
第 85 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (29)



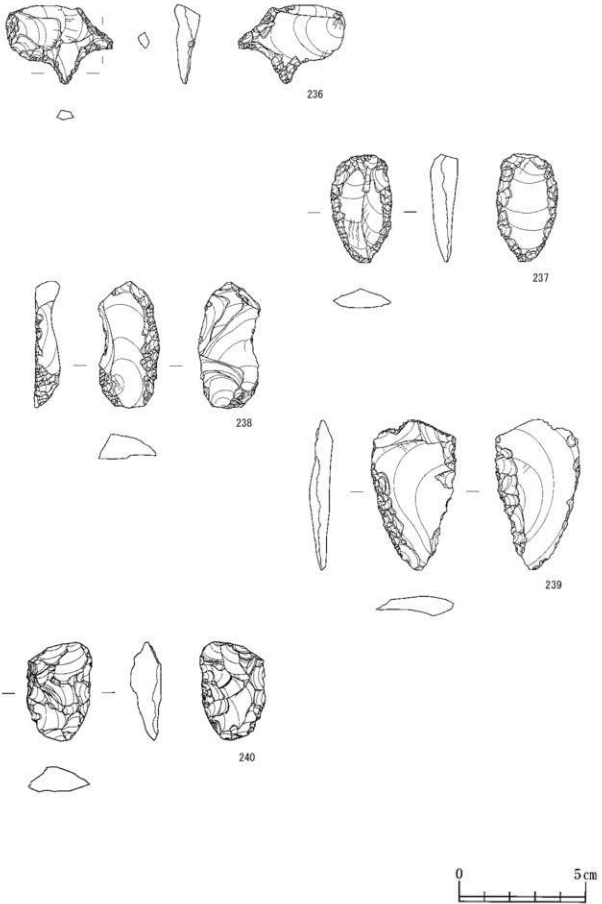
第 86 図 新田(2)遺跡出土石器(30)



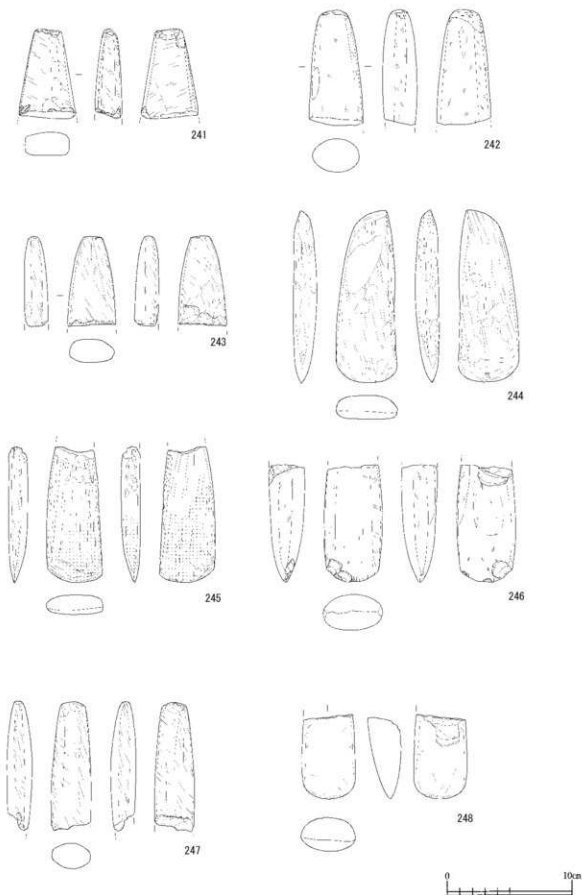
第 87 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (31)



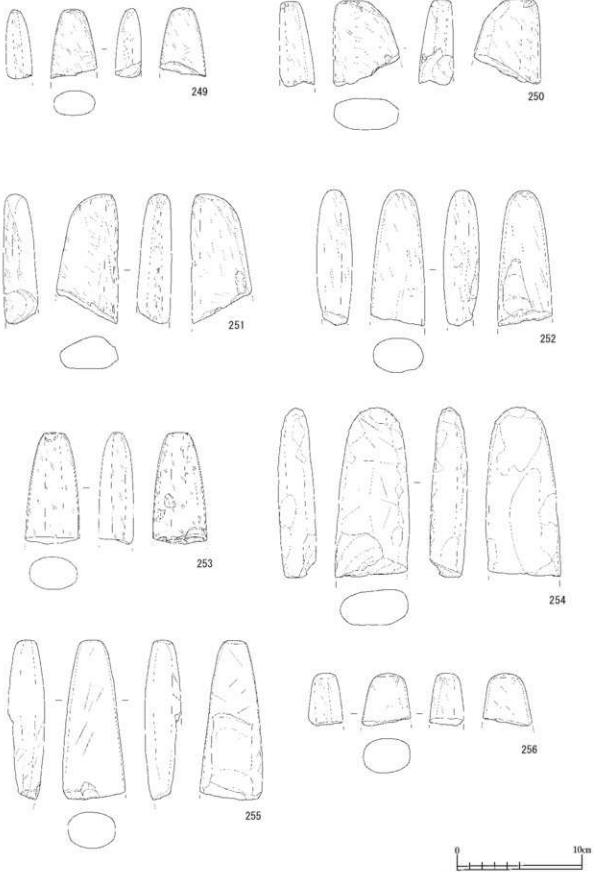
第 88 図 新田(2) 遺跡出土石器(32)



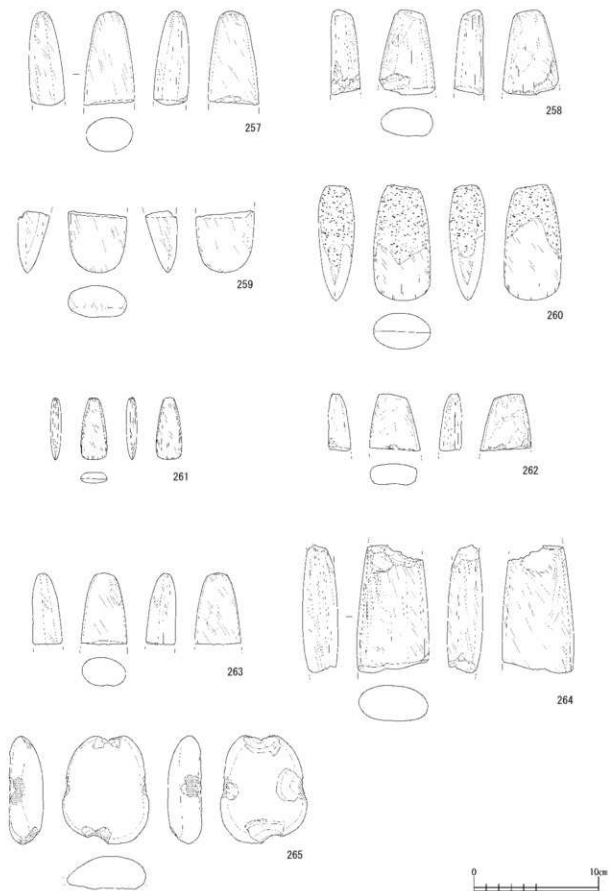
第 89 図 新田 (2) 遺跡出土石器 (33)



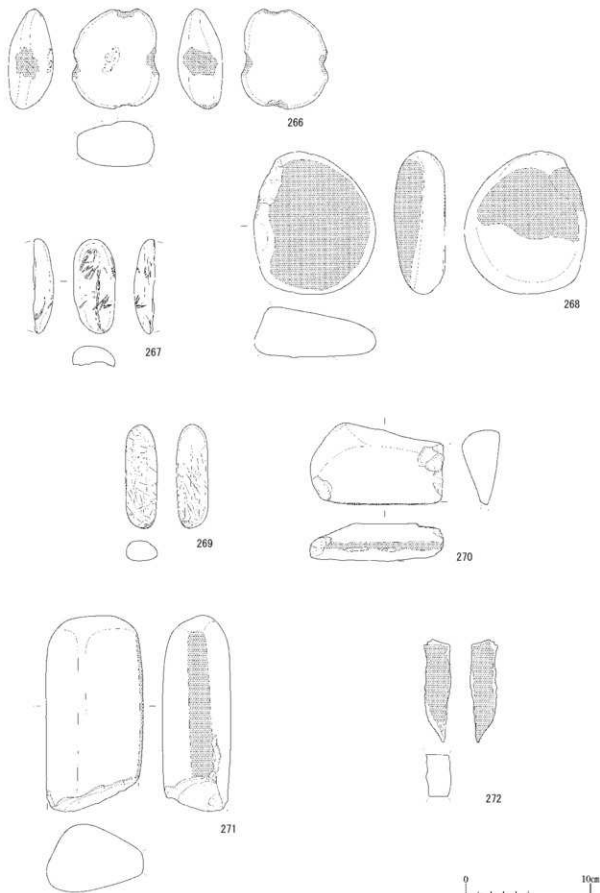
第90図 新田(2)遺跡出土石器(34)



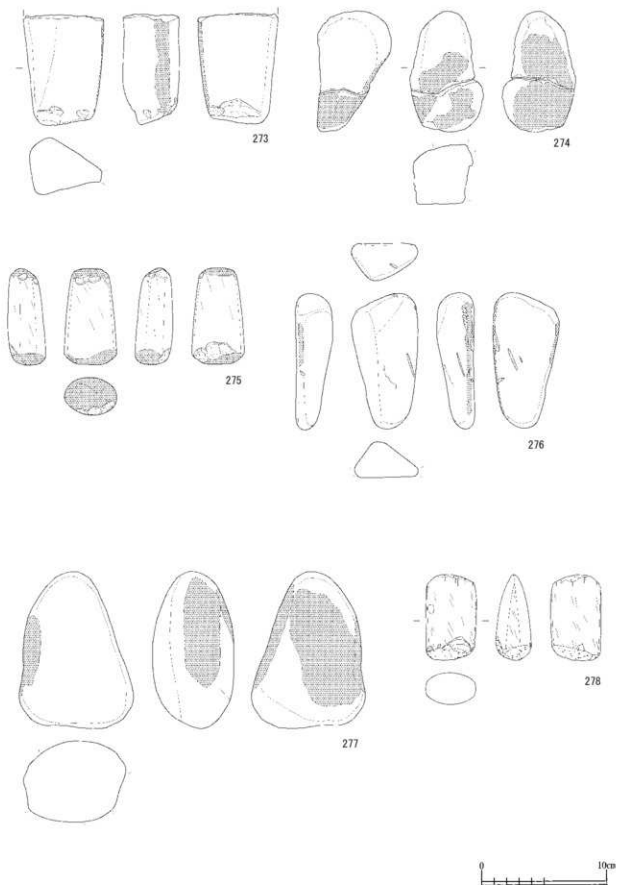
第91図 新田(2)遺跡出土石器(35)



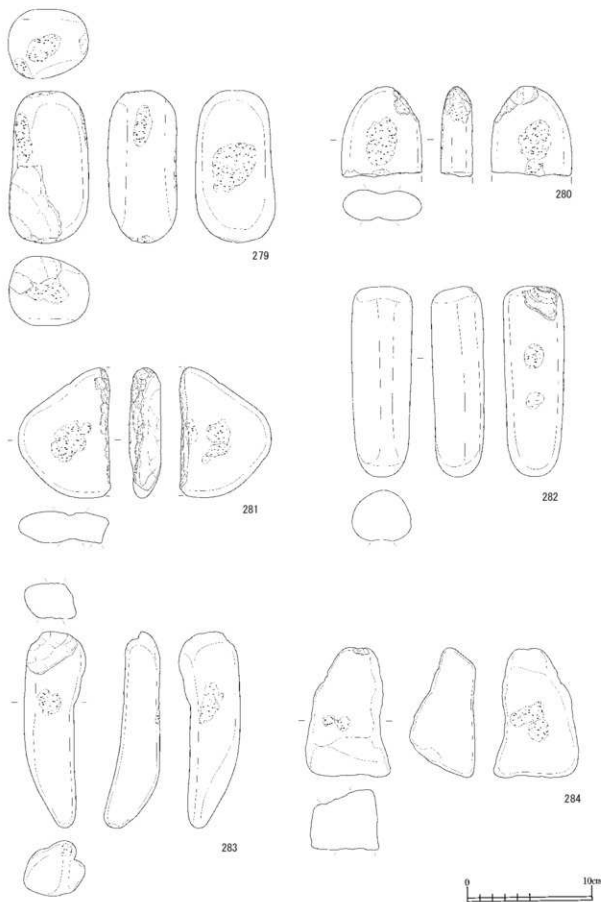
第92図 新田(2)遺跡出土石器(36)



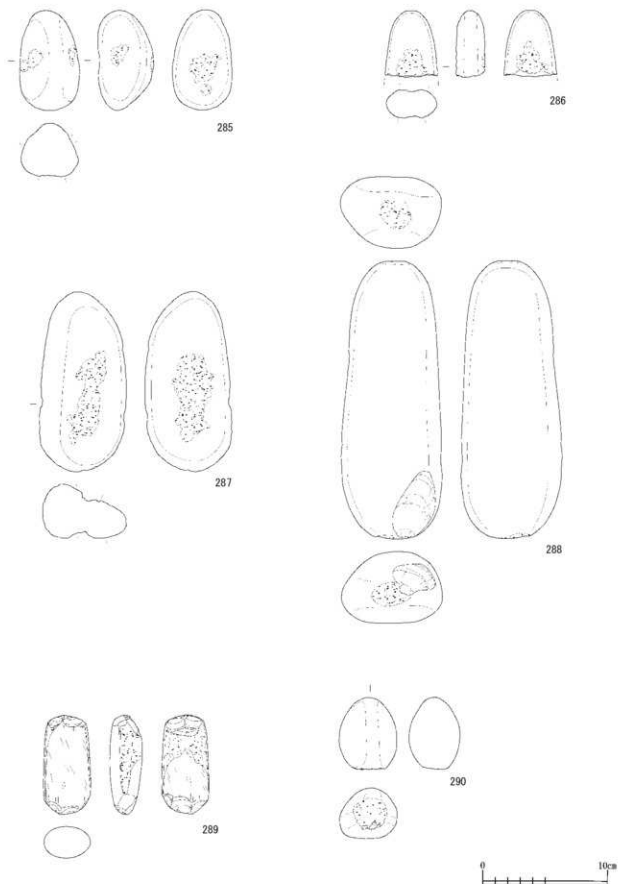
第93図 新田(2)遺跡出土石器(37)



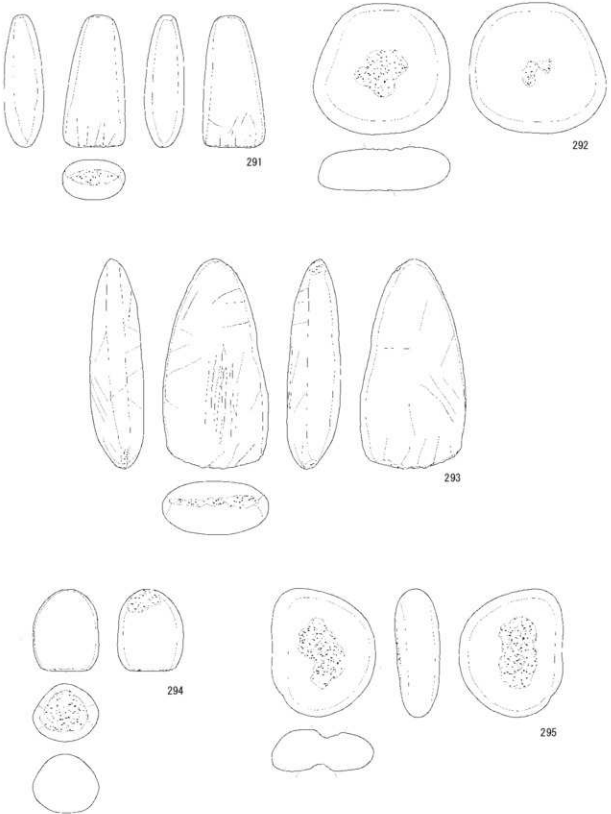
第94図 新田(2)遺跡出土石器(38)



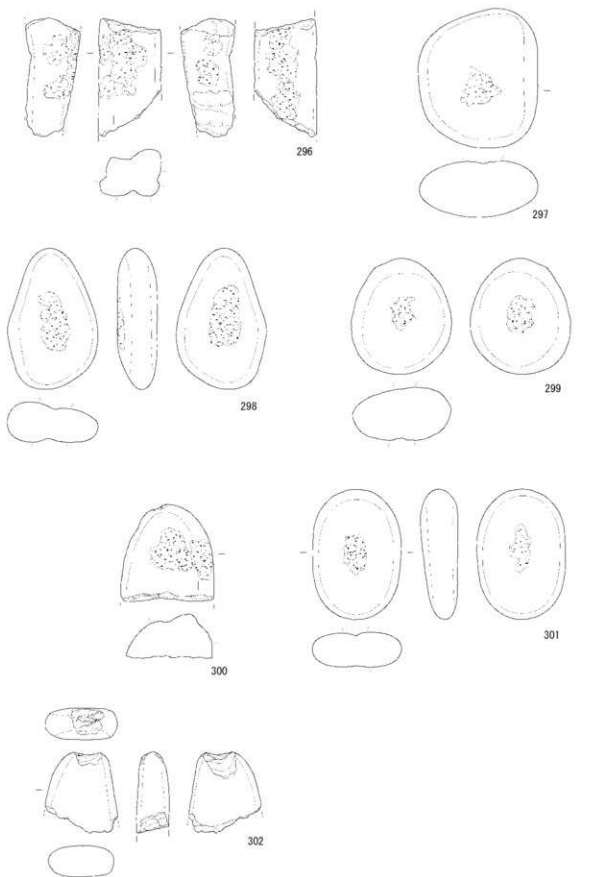
第95図 新田(2)遺跡出土石器(39)



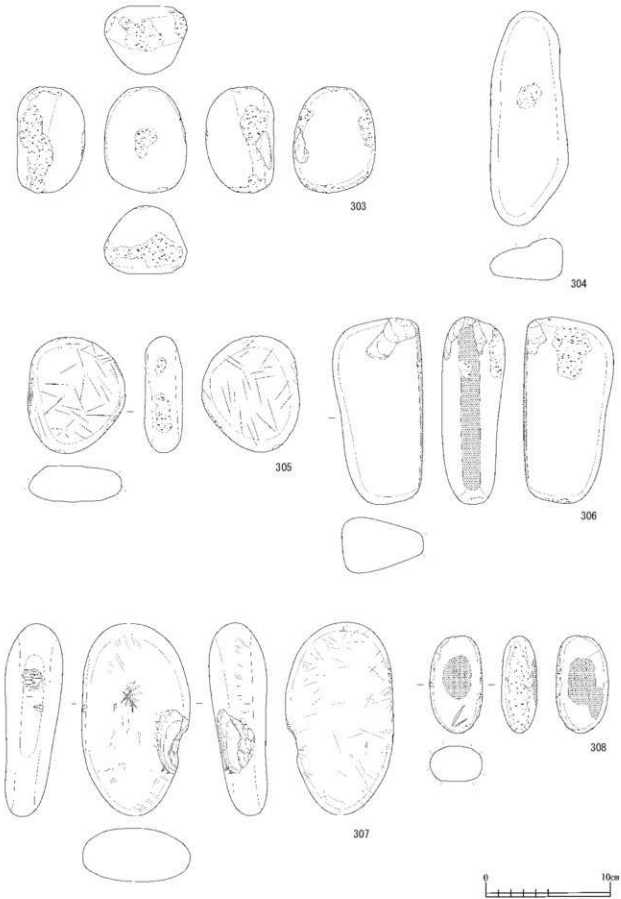
第96図 新田(2)遺跡出土石器(40)



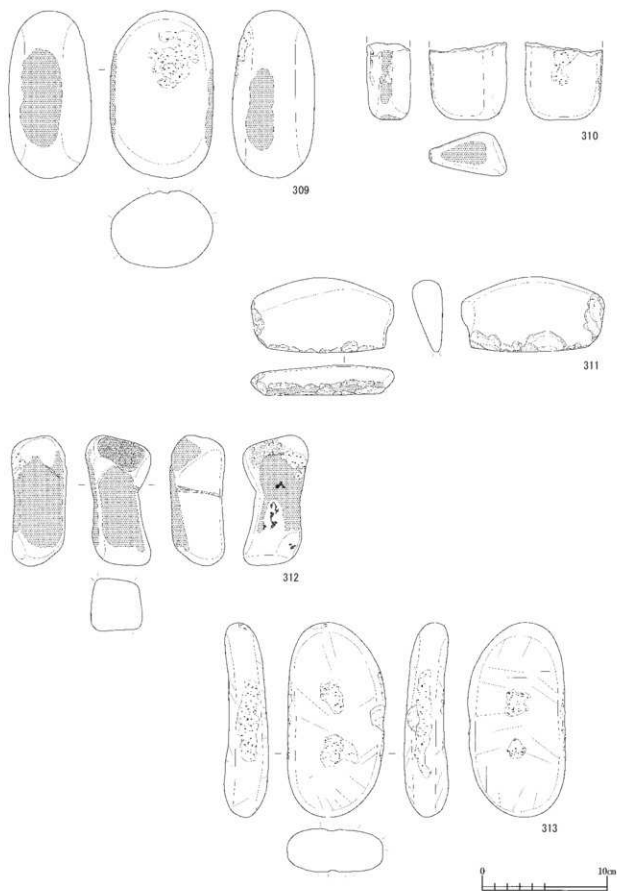
第97図 新田(2)遺跡出土石器(41)



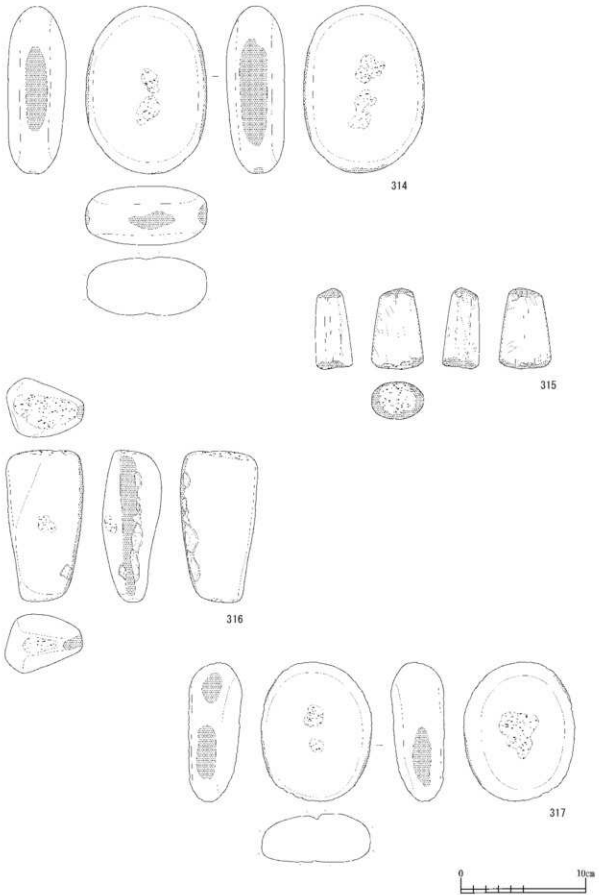
第98図 新田(2) 遺跡出土石器(42)



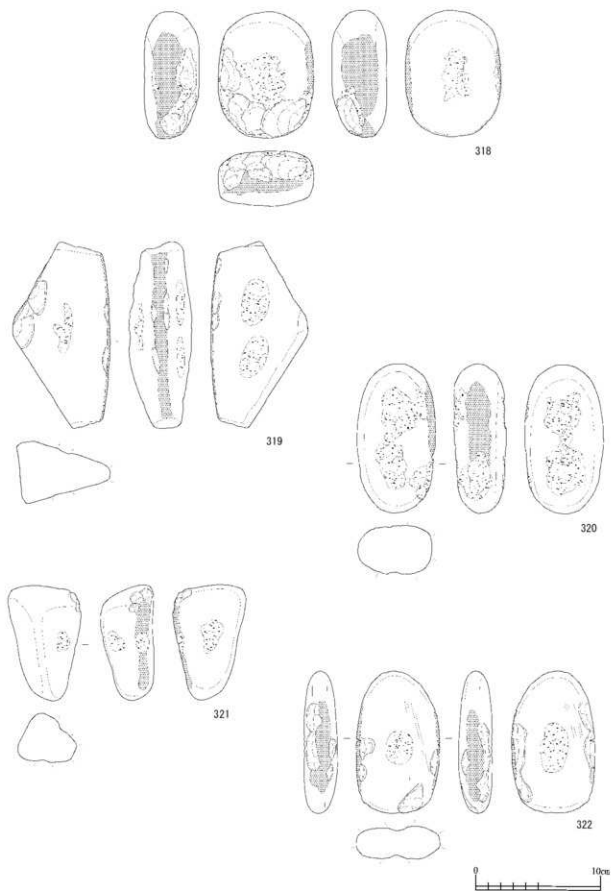
第99図 新田(2)遺跡出土石器(43)



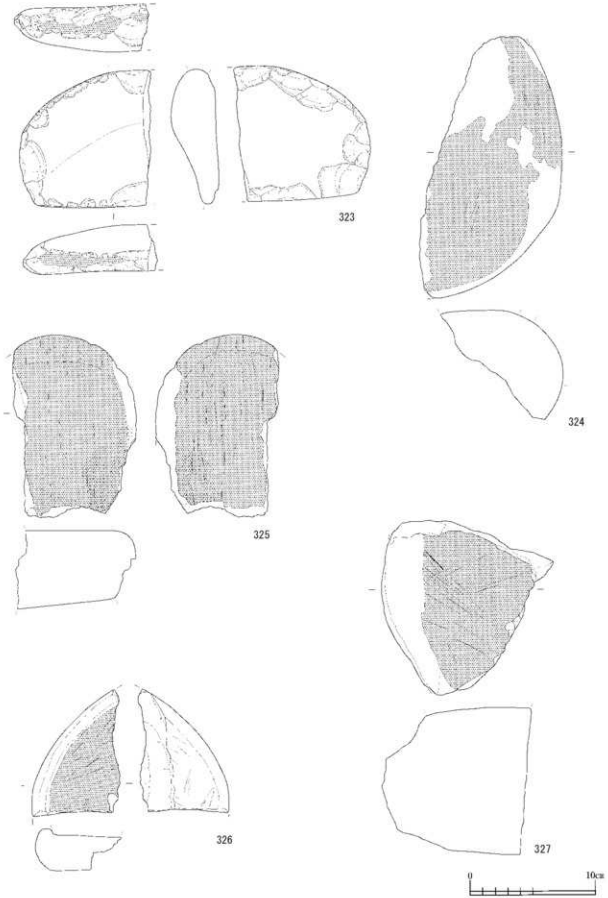
第100図 新田(2)遺跡出土石器(44)



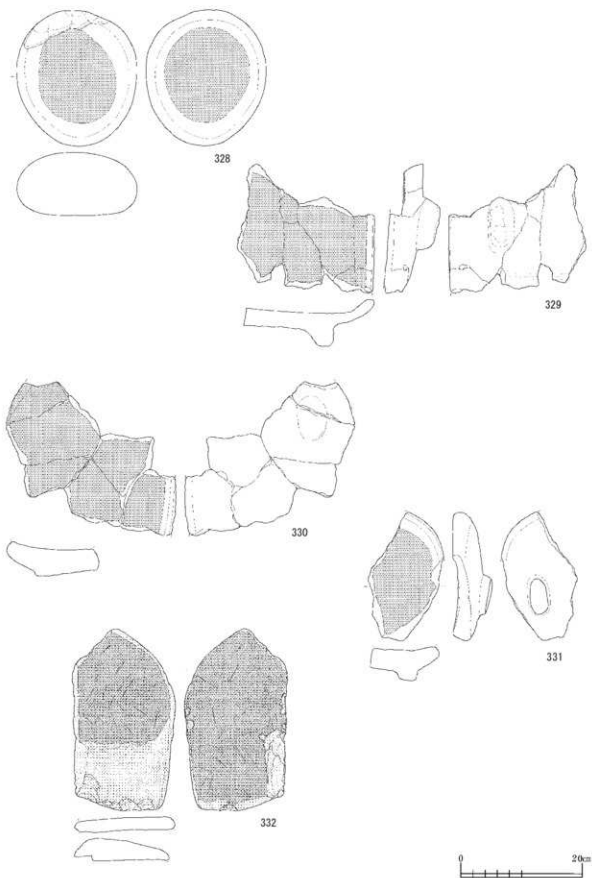
第101図 新田(2)遺跡出土石器(45)



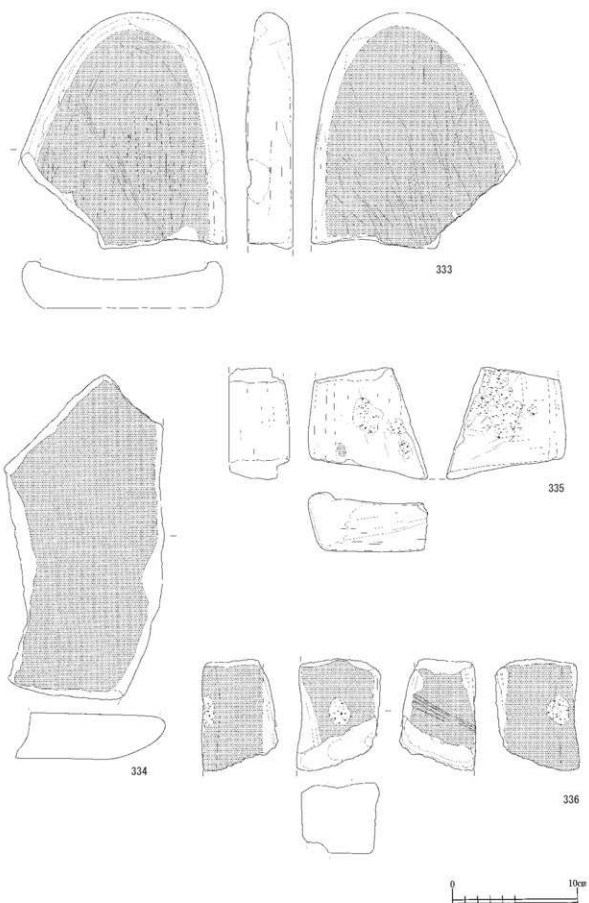
第102図 新田(2)遺跡出土石器(46)



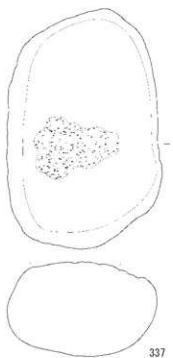
第103図 新田(2)遺跡出土石器(47)



第104図 新田(2)遺跡出土石器(48)



第105図 新田(2)遺跡出土石器(49)



第106図 新田(2)遺跡出土石器(50)

第3節 土製品

○新田(1)遺跡出土土製品(第107図)

新田(1)遺跡から土製品は、土版、土器片利用土製品、ミニチュア土器、土鍾が出土している。

・土版(第107図1)

1点出土している。

おおむね三角形形状を呈すると思われる。

・土器片利用土製品(第107図2～5)

4点出土している。

形状が円形、楕円形を基調とすると思われるもの(第107図2～4)と不整形のもの(第107図5)が見られる。

・ミニチュア土器(第107図6, 7)

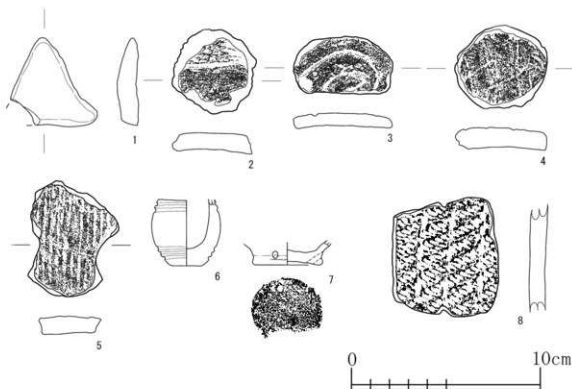
2点出土している。

器面に沈線による施文が見られるもの(第107図6)、底部に貫通孔が施されているもの(第107図7)が見られる。

・土鍾(第107図8)

1点出土している。

対する縁辺の2個所に抉りが見られる。



第107図 新田(1)遺跡出土土製品

○新田(2)遺跡出土土製品(第108図～114図)

新田(2)遺跡から土製品は、土偶、耳栓、鐸形土製品、足形付土製品、土器片利用土製品、ミニチュア土器が出土している。

・土偶(第108図1～4)

4点出土している。

胸部(第108図1, 3)、左腕部(第108図2)、右腕部から右胸部(第108図4)が見られる。

・耳栓(第108図5)

1点出土している。

欠損品である。中央部に貫通孔を有する。椎骨状の形状を呈していたものと思われる。

・鐸形土製品(第108図6～9、第109図10～14)

9点出土している。

無文のものと施文が施されるものがあり、施文が施されるものには、沈線と刺突が施されるもの(第108図7, 9、第109図12)、沈線が施されるもの(第108図8)が見られる。

頂部には貫通孔が施されるものが多く、突起の単軸方向に貫通孔が施されるもの(第108図9、第109図10)、突起の長軸方向に貫通孔が施されるもの(第108図6、第109図11, 12)や、二又突起の両端に斜位方向に貫通孔が施されるもの(第108図7)、ほぼ円形の突起に貫通孔が施されるもの(第109図14)などが見られる。

・足形付土製品(第109図15～18)

4点出土している。

ほぼ完形のもの(第109図17)は1点であり、他は、つま先部分のもの(第109図15)、かかと部分のもの(第109図16, 18)が見られる。

・土器片利用土製品(第110図19～第113図107)

89点出土している。

形状は、円形を基調とするものが多数であるが、一部には三角形を基調とするもの(第113図96, 97)や不整形のもの(第112図83, 85)も見られる。

加工状況には、打ち欠きのみのもので、打ち欠き後一部に研磨が施されるもの、全周に研磨が施されるものがあり、打ち欠きのみものが45点と多数を占める。

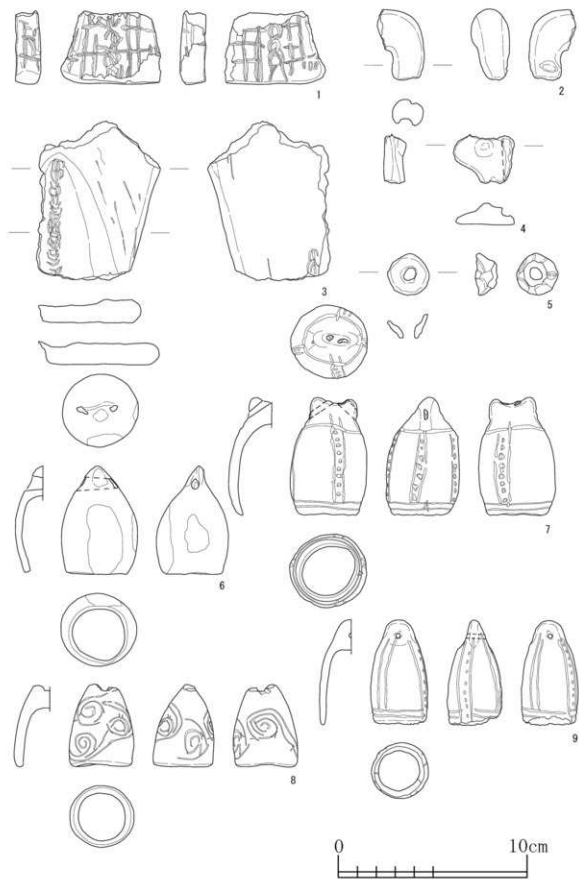
・ミニチュア土器(第114図108～114)

7点出土している。

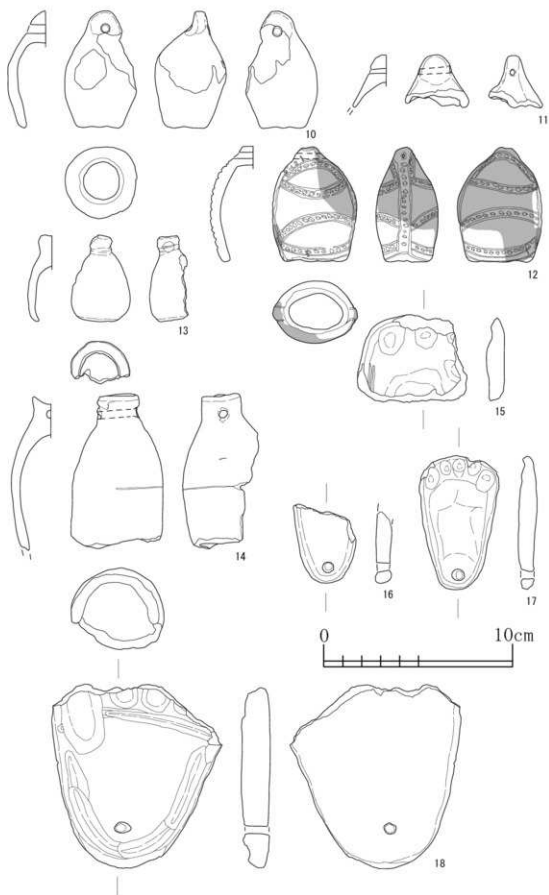
鉢形を呈するもの(第114図108～110)、壺形

を呈するもの(第114図111, 112)が見られる。

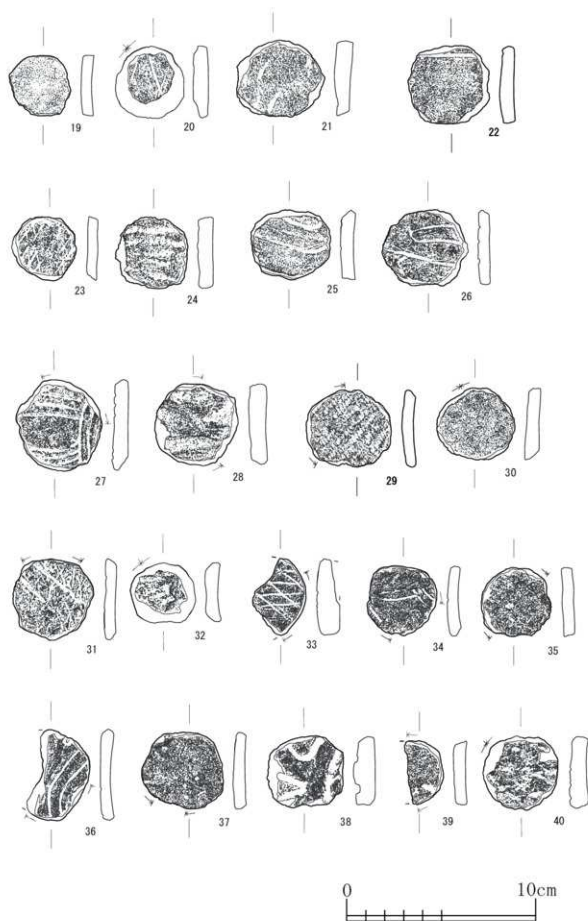
無文のものが多数であるが、縄文が施されるもの(第114図111)も見られる。



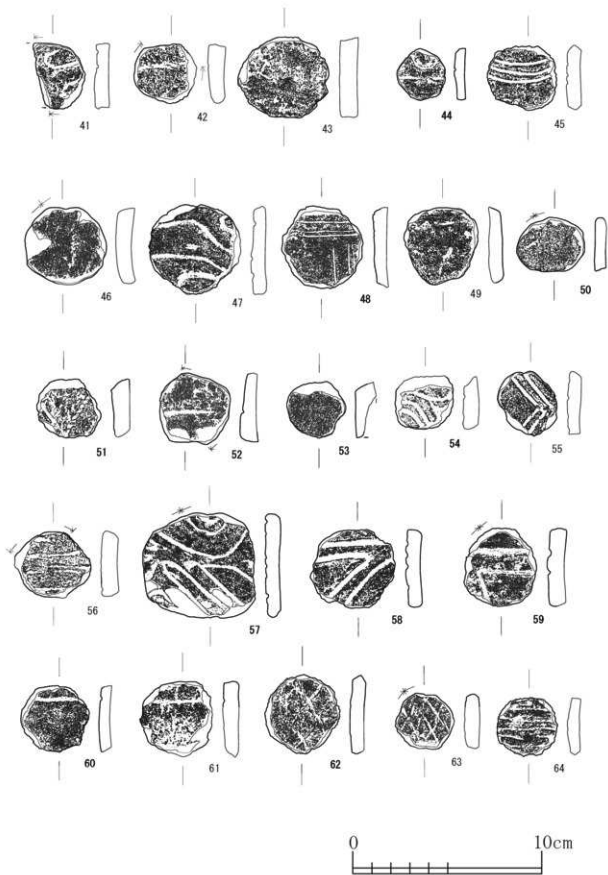
第108図 新田(2)遺跡出土土製品(1)



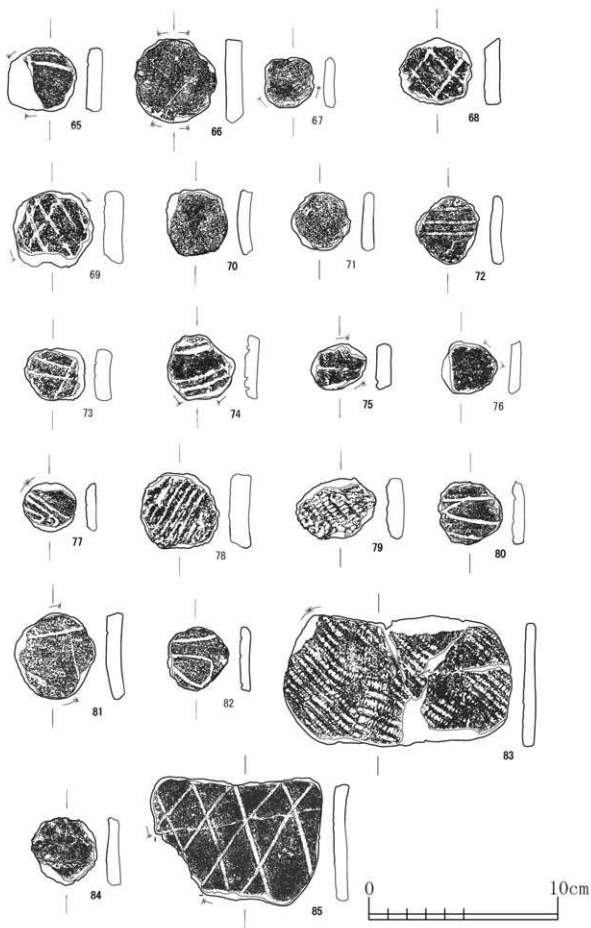
第109図 新田(2)遺跡出土土製品(2)



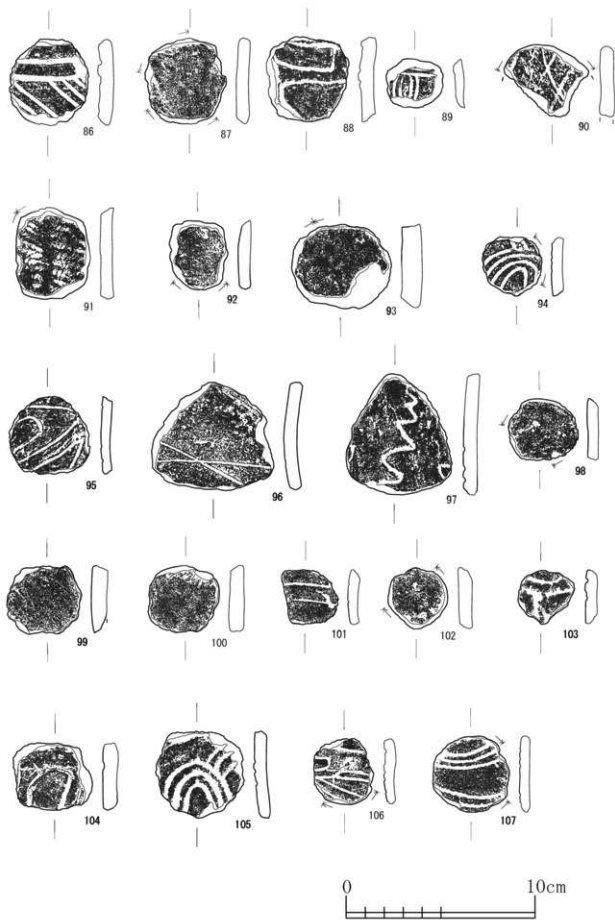
第110図 新田(2)遺跡出土土製品(3)



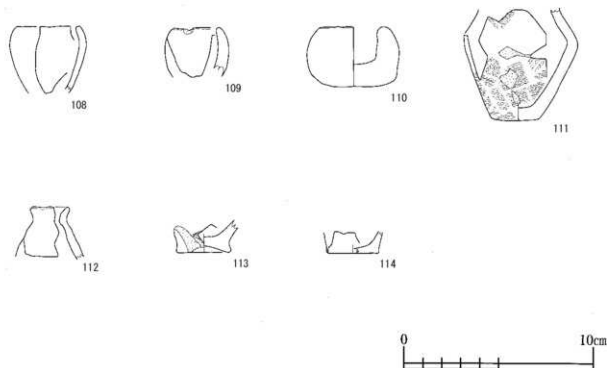
第 111 図 新田(2) 遺跡出土土製品(4)



第112図 新田(2)遺跡出土土製品(5)



第113図 新田(2)遺跡出土土製品(6)



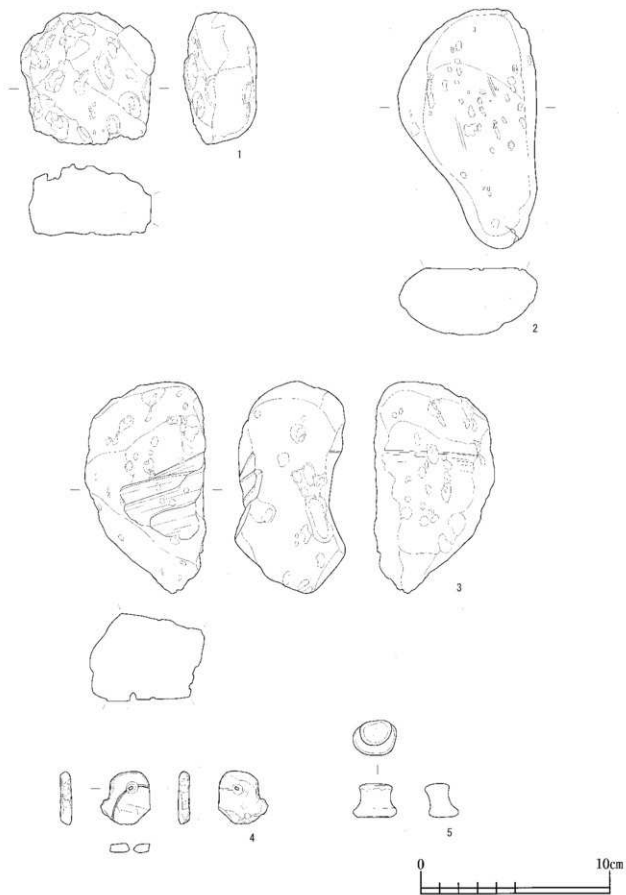
第114図 新田(2)遺跡出土土製品(7)

第4節 石製品

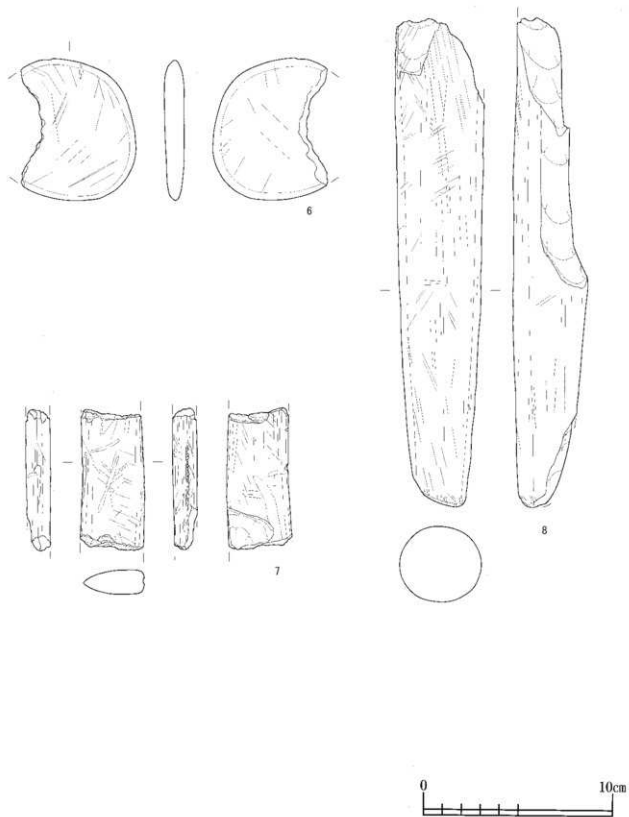
○新田(1)遺跡出土石製品(第115、116図)

新田(1)遺跡から石製品は、軽石石製品、有孔石製品、採集石製品、その他の岩版、石刀、石棒が出土している。

- ・軽石石製品(第115図1～3)
6点出土している。うち3点を図示した。
石質は全て軽石である。
いずれも一部に滑らかな平坦面が見られる。
- ・有孔石製品(第115図4)
1点出土している。
石質は凝灰岩である。
表裏面から穿孔された貫通孔を有する。また、表裏面は平滑に研磨されている。
- ・採集石製品(第115図5)
1点出土している。
石質はメノウである。
加工痕は認められないが、瓢箪のように中央部がくびれる特異な形状を呈することから本稿で取り上げることとした。
- ・その他の岩版(第116図6)
1点出土している。
石質は凝灰岩である。
表裏面が研磨されている。
- ・石刀(第116図7)
1点出土している。
石質は黒色片岩である。
- ・石棒(第116図8)
1点出土している。
石質は泥岩である。



第 115 図 新田(1)遺跡出土石製品(1)



第 116 図 新田(1)遺跡出土石製品(2)

○新田(2)遺跡出土石製品(第117図, 118図)

新田(2)遺跡から石製品は、軽石石製品、三角形岩版、その他の岩版、石刀、不明石製品が出土している。

・軽石石製品(第117図1)

1点出土している。

石質は軽石である。

表裏面に滑らかな平坦面が見られる。

・三角形岩版(第117図2～第118図6)

5点出土している。

石質は全て凝灰岩である。

形状には、楕円形に近い形状のもの(第117図2, 4)、台形に近い形状を呈するもの(第117図3)、二等辺三角形を呈するもの(第117図5)、正三角形を呈するもの(第118図6)が見られる。

表面は球状に研磨されており、その表面に施文の見られるもの(第117図2, 3)と無文のもの(第117図4, 5, 第118図6)とが見られる。

・その他の岩版(第118図7, 8)

3点出土している。うち2点を図示した。

石質は全て凝灰岩である。

表面が球状に研磨されているが形状の不明なもの(第118図7)と形状が不整な楕円形を呈するもの(第118図8)が見られる。

・石刀(第118図9～11)

4点出土している。うち3点を図示した。

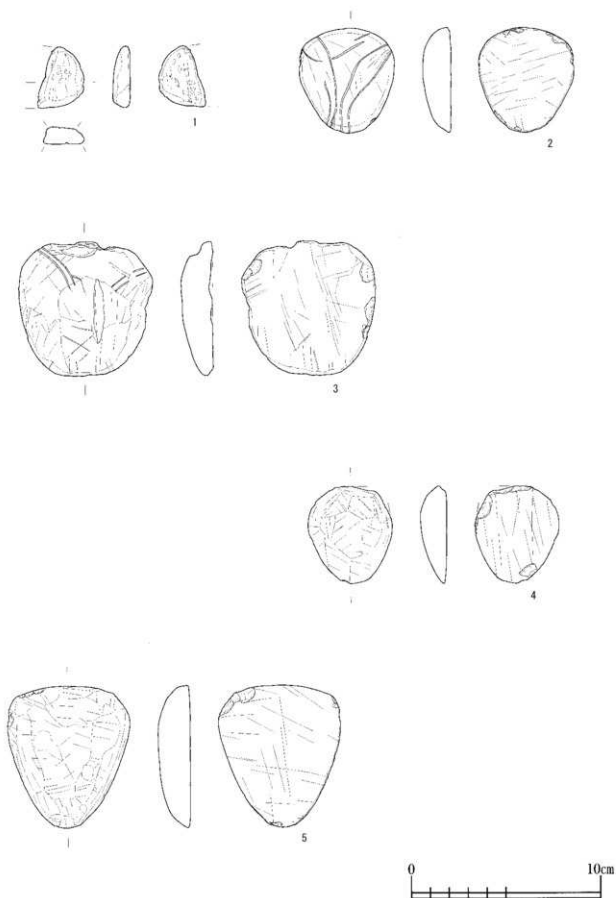
石質は黒色片岩が2点、片岩が1点、片磨岩が1点である。

・不明石製品(第118図12)

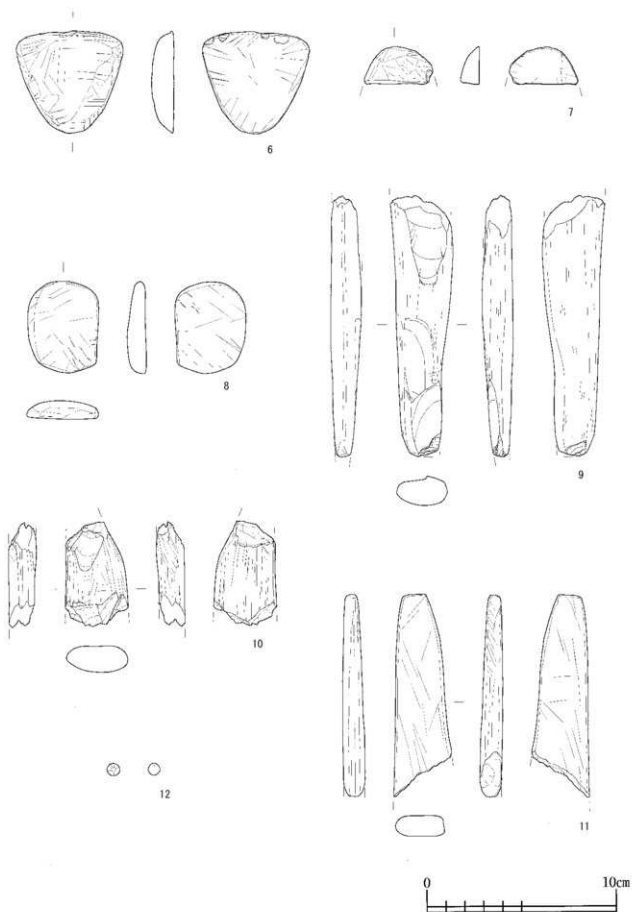
1点出土している。

石質はカルセドニーである。

小さい球状の形状を呈する。



第117図 新田(2)遺跡出土石製品(1)



第 118 図 新田(2)遺跡出土石製品(2)

第4表 新田(1) 遺跡出土石器計測表(2)

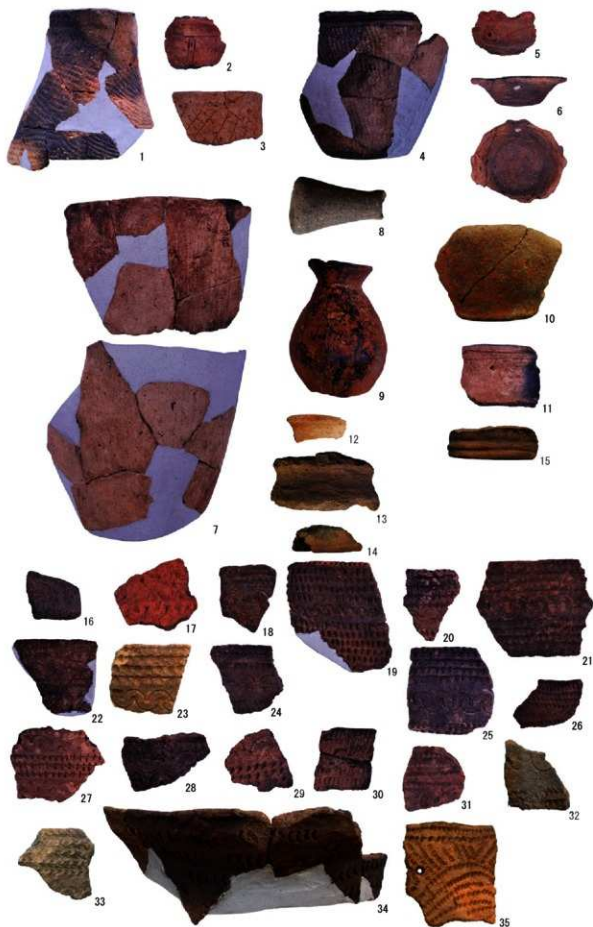
図版	No.	整理番号	大分類	中分類	小分類	最大径(単位:mm)			石質	出土地区	遺物名	層位	番号	月日	土器番号	備考
						長さ	幅	厚さ								
第40図	079	25-1	石器	鏃	磨製石斧	(45.0)	43.0	28.0	88.5	花崗岩	C	SD-01a	上層	S-X	030627	み-62
第40図	080	355	石器	鏃	磨製石斧	(49.0)	55.0	31.0	98.1	花崗岩	A	SD-01	礫道山	—	030616	み-63
第40図	081	389	石器	鏃	磨製石斧	106.0	36.0	26.0	145.0	花崗岩	A	T-4埋没	耕作土下	—	030616	み-64
第40図	082	446-2	石器	鏃	磨製石斧	181.0	47.0	28.0	159.7	緑色片岩	A	—	耕作土下	S-X	030601	み-65
第40図	083	447-2	石器	鏃	磨製石斧	195.0	60.0	37.0	340.5	砂岩	A	—	耕作土下	S-X	030618	み-66
第40図	084	494-3	石器	鏃	磨製石斧	(42.3)	36.0	29.5	61.0	花崗岩	C	—	耕作土下	S-X	031031	み-67
第40図	085	543	石器	鏃	磨製石斧	82.0	44.0	30.0	169.0	花崗岩	C	—	耕作土下	S-X	031111	み-68
第40図	086	991-1	石器	鏃	磨製石斧	102.0	35.5	17.0	99.5	緑色片岩	B-3	SE-01	6層	S-1	040625	F-183
第40図	087	997-1	石器	鏃	磨製石斧	706.20	31.2	21.0	26.7	緑色片岩	B-3	SD-50	上層	S-2	040910	F-184
第40図	088	1010-1	石器	鏃	磨製石斧	(32.3)	29.3	12.5	31.7	緑色片岩	B-2	—	耕作土	S-X	040714	F-189
第40図	089	B-388-1	石器	鏃	磨製石斧	(74.0)	(54.5)	(14.5)	14.5	緑色片岩	B-4-1B	SDa-9b	中層	S-10	051031	F-186
第40図	090	25-1	石器	鏃	磨製石斧	(59.0)	45.0	25.0	92.3	片岩	B-4-0	SD-79	フク土上層	S-3	060602	F-187
第40図	091	59-1	石器	鏃	磨製石斧	888.50	56.0	27.0	208.2	緑色片岩	B-4-56	トレンチ16b	下層	S-1	060607	F-188
第40図	092	494-4	石器	鏃	石鏃	80.0	(57.0)	(23.5)	107.6	凝灰岩	C	—	耕作土下	S-X	031031	み-71
第40図	093	68-2	石器	鏃	磨製石斧(平刀)	(60.0)	(59.0)	(22.0)	66.2	デイスait	C	SD-03	上層	S-X	030622	み-63
第40図	094	449-5	石器	鏃	磨製石斧(平刀)	112.0	62.0	37.0	446.8	花崗閃緑岩	A	—	耕作土下	S-X	030606	み-162
第40図	095	166-1, 166-2	石器	鏃	磨製石斧(平刀)	110.0	58.5	45.0	145.5, 27.6	凝灰岩	C	SD-05	フク土	S-X	030601	み-53
第40図	096	1005-1	石器	鏃	磨製石斧(平刀)	94.0	46.0	32.0	241.8	花崗岩	B-3	SD-64	下層	S-2	041007	F-185
第40図	097	799-1	石器	鏃	磨製石斧(平刀)	(74.0)	(69.0)	(53.0)	152.6	流紋岩	新件遺B-1区画 47	SD-111	中層	F-118	041202	み-26
第40図	098	68-1	石器	鏃	磨製石斧(平刀)	81.0	71.0	47.0	356.0	流紋岩	B-5-16	SD-05	表面	S-30	060718	み-115
第40図	099	348-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(65.0)	46.0	29.0	109.3	デイスait	A	SD-01	上層	S-X	030714	み-148
第40図	100	32	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	104.0	87.5	88.0	1,300	デイスait	C	SD-01b	上層	S-1	030602	み-60
第40図	101	130	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(91.0)	89.0	72.0	650.0	花崗閃緑岩	C	SD-04	下層	S-33	030526	み-56
第40図	102	222	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(118.0)	94.0	60.0	1,000	デイスait	A	SD-08	下層	S-71	031031	み-146
第40図	103	286	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	73.0	61.0	60.0	338.9	凝灰岩	C	SD-14	下層	S-2	030926	み-147
第40図	104	451-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(65.3)	84.0	(31.5)	156.2	凝灰岩	A	—	耕作土下	S-X	030819	F-125
第40図	105	472-2	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	82.0	55.0	44.0	238.5	凝灰岩	C	—	耕作土下	S-X	030604	み-149
第40図	106	140-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	128.0	63.0	50.5	416.0	角閃凝灰岩	新件遺B-1区画	SK-112	中層	S-1	041104	み-1
第40図	107	901-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	88.0	30.0	29.0	81.6	凝灰岩	B-2	SD-52	フク土上層	S-111	041007	F-126
第40図	108	904-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(57.0)	(75.0)	38.0	338.1	凝灰岩	B-2	SD-52b	中層	S-44	041020	み-150
第47図	109	905-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	71.0	66.0	54.0	284.0	凝灰岩	B-2	SD-52c	中層	S-74	041020	F-127
第47図	110	914-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(133.0)	44.0	35.0	300.0	凝灰岩	B-2	SD-52(埋)	上層	S-60	041112	F-182
第47図	111	915-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	128.0	61.0	27.5	288.1	花崗閃緑岩	B-2	SD-52(埋)	中層	S-62	041115	F-128
第47図	112	917-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	134.0	71.0	43.0	608.0	凝灰岩	B-2	SD-63(西)	フク土中層	S-18	040916	み-151
第47図	113	942-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	137.0	46.0	36.0	230.7	緑色凝灰岩	B-2	SD-57	中層	S-395	041111	み-154
第47図	114	936-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	109.0	51.0	20.0	88.8	凝灰岩	B-2	SD-57	表面	S-294	041109	み-153
第48図	115	1004-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	91.5	63.0	44.5	301.5	凝灰岩	B-3	SD-60	中層	S-1	040916	F-129
第48図	116	884-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	135.5	54.0	34.0	382.2	緑色凝灰岩	B-2	SN-02	27層	S-9	040717	F-21
第48図	117	959-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	115.0	90.0	80.0	1,144	デイスait	B-2	SP-2497	1層	S-X	041110	み-152
第48図	118	B-222-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(58.0)	39.0	42.5	211.0	流紋岩	B-4-8	SD-84	中層	S-63	051101	み-122
第48図	119	B-941-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(64.5)	52.0	(51.0)	165.1	流紋岩	B-4-18	SD-86	下層	S-30	051110	み-123
第48図	120	B-65-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(104.0)	37.0	43.0	420.0	デイスait	B-4-2	SD-07	上層	S-1	051020	み-155
第49図	121	3-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	156.0	53.5	44.5	567.7	デイスait	B-4-13	SK-31	3層	S-1	060419	F-130
第49図	122	6-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(183.0)	53.0	33.0	440.0	流紋岩	B-4区画 新	SE-111	中層	S-15	060630	み-156
第49図	123	21-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	79.0	58.0	46.5	237.9	凝灰岩	B-4-28	SD-78	上層	S-9	060519	F-131
第49図	124	27-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(66.0)	59.0	47.0	251.8	凝灰岩	B-4-36	SD-79	表面	S-23	060613	み-136
第49図	125	37-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	(65.0)	60.5	24.0	93.4	凝灰岩	B-4-16	トレンチ-1	下層	S-X	060629	F-138
第49図	126	2-1	石器	鏃	磨製石斧(たたまき)	91.5	83.5	42.5	500.7	デイスait	B-7-10	SE-003	フク土上層	S-X	070911	み-152
第50図	127	965-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	127.5	(89.0)	65.0	530.0	凝灰岩	B-2	SP-03	2層(遺凸)	S-X	040827	F-36
第50図	128	14-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	79.5	50.5	26.5	167.9	凝灰岩	B-4-41	SE-102	フク土下層	S-28	060615	み-135
第50図	129	31-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	137.0	67.0	62.0	746.0	デイスait	B-4-47	SD-84	中層	S-120	060529	F-152
第50図	130	44-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	81.0	40.0	43.0	182.3	流紋岩	A	—	耕作土下	S-X	031016	み-161
第50図	131	52-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	130.0	60.0	64.0	1,064	凝灰岩	B-4-45	SN-110	フク土	S-1	060622	み-134
第50図	132	963-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	146.0	72.0	62.5	960.0	デイスait	B-2	SP-03	フク土	S-X	040824	F-34
第50図	133	44-1	石器	鏃	磨製石斧(汗じりたたまき)	162.5	81.0	47.5	1,100	デイスait	C	SD-01b	上層	S-X	030924	み-38

第10表 新田(1) 遺跡出土石製品計測表

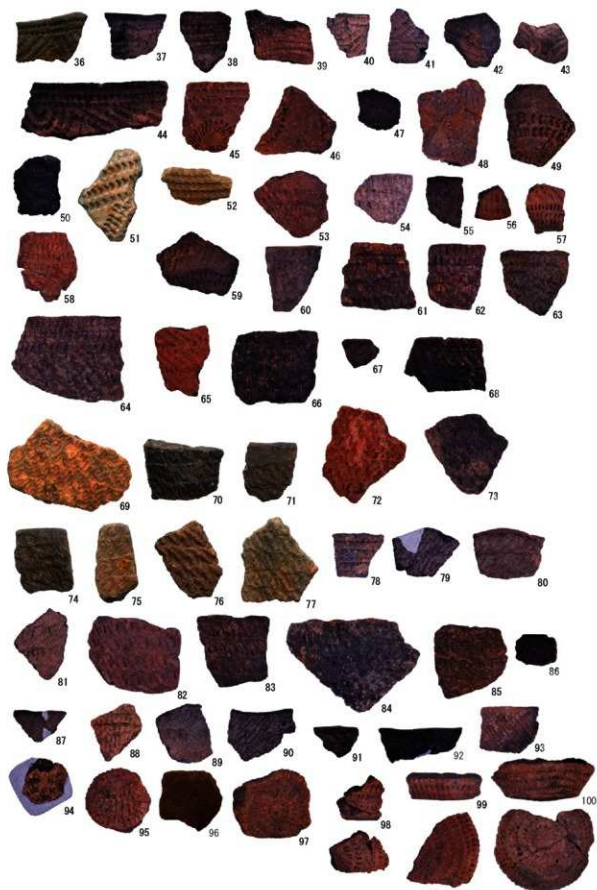
図版	No.	整理番号	大分類	中分類	小分類	最大計測値(mm, g)				石質	出土地区	遺構名	層位	番号	月日	支那番号	備考
						長さ	幅	厚さ	重量								
第115図	1	365	石製品	石製品	榊石石製品	70.0	71.0	39.0	79.7	榊石	A	SD-01	下層	S-X	030714	F-230	
第115図	2	B-339-1	石製品	石製品	榊石石製品	127.0	74.0	37.0	96.7	榊石	B-4-18	SD-86	下層	S-33	051110	F-232	
第115図	3	26-1	石製品	石製品	榊石石製品	112.0	64.0	38.5	144.2	榊石	B-4-40	SD-79	フク土中層	S-12	060607	F-232	
第115図	4	343-1	石製品	石製品	有孔石製品	28.0	26.5	6.0	4.6	凝灰岩	A	SD-01上	確認面	—	030618	ホ-171	T-8周辺
第115図	5	532	石製品	石製品	段差石製品	18.0	23.0	17.5	8.3	オノウ	B	T-2	耕作上下	S-X	031031	ホ-172	
第116図	6	1019-1	石製品	石製品	全心地石製品	75.9	66.0	15.5	98.5	凝灰岩	C	—	耕作上下	S-X	041222	F-44	
第116図	7	344-1	石製品	石製品	石刀	(72.5)	34.0	13.0	56.4	黑色片岩	A	—	耕作上下	S-X	030807	ホ-161	
第116図	8	561-1	石製品	石製品	石棒	(259.0)	(47.0)	40.0	58.3	凝灰岩	A	T-8周辺	耕作上下	S-X	030823	F-208	

第11表 新田(2) 遺跡出土石製品計測表

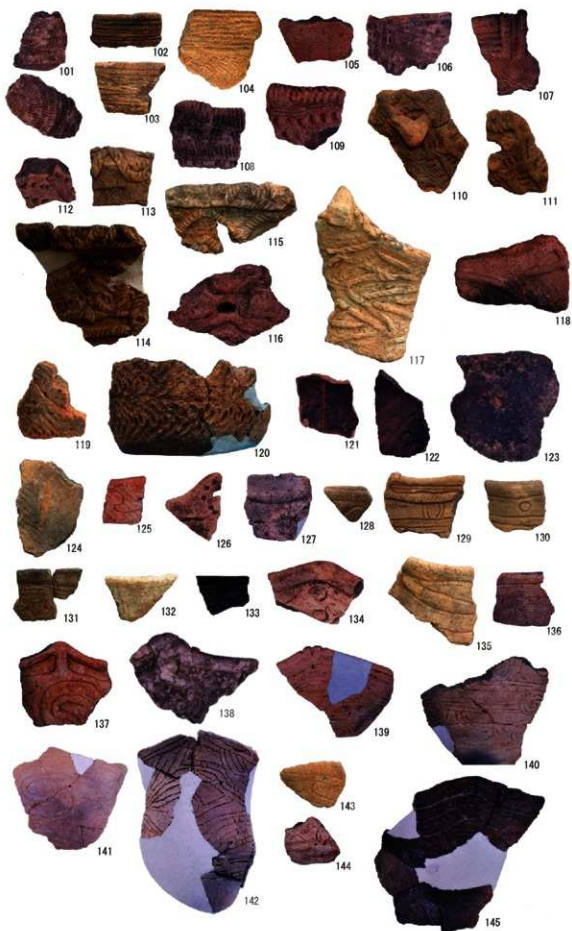
図版	No.	整理番号	大分類	中分類	小分類	最大計測値(mm, g)				石質	出土地区	遺構名	層位	番号	月日	支那番号	備考
						長さ	幅	厚さ	重量								
第117図	1	638-1	石製品	石製品	榊石石製品	32.5	25.0	9.5	1.8	榊石	Y-5	SX-111	フク土	P-285	070601	F-231	
第117図	2	161-1	石製品	石製品	角形石製品	55.5	50.5	15.0	46.0	凝灰岩	S-15	SJ-067	中層	S-6	071030	ホ-172	
第117図	3	282-1	石製品	石製品	二角形石製品	71.0	71.0	(17.0)	57.8	凝灰岩	X-6	SD-007	下層	S-177	070619	ホ-173	
第117図	4	313-1	石製品	石製品	二角形石製品	(51.5)	44.5	14.0	20.4	凝灰岩	X-7	SD-007	下層	S-X	070615	F-235	
第117図	5	374-1	石製品	石製品	二角形石製品	75.0	65.0	17.0	96.5	凝灰岩	Ac-13	SD-019	上層	S-X	070723	F-237	
第118図	6	448-1	石製品	石製品	二角形石製品	54.0	56.5	12.0	36.8	凝灰岩	V-11	トレンチ1	フク土	S-X	071017	ホ-174	
第118図	7	346-1	石製品	石製品	その他石製品	(20.0)	(35.0)	10.0	2.8	凝灰岩	V-8	SJ-045	フク土上層	P-84	071113	ホ-175	
第118図	8	336-2	石製品	石製品	その他石製品	48.5	38.0	10.0	20.1	凝灰岩	V-17	SD-007	上層	S-X	070923	F-236	
第118図	9	492-1	石製品	石製品	石刀	(138.0)	(31.0)	16.0	98.4	黑色片岩	Z-9	SD-007	中層	S-136	070615	—	
第118図	10	391-1	石製品	石製品	石刀	(55.5)	33.5	1.5	38.8	黑色片岩	Z-5	SD-026	フク土上層	S-38	070802	F-207	
第118図	11	426-1	石製品	石製品	石刀	110.7	30.0	11.5	53.7	片岩	Z-12	SX-030	中層	S-6	070828	ホ-160	
第118図	12	502-1	石製品	石製品	不明石製品	6.3	6.8	6.4	0.4	カズセドニー	Y-9	SD-018 カマド	フク土	S-1	070614	—	



写真図版1 新田(1)遺跡出土土器(1)



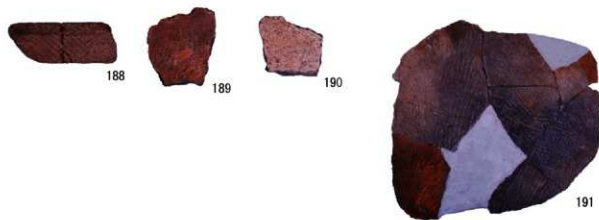
写真図版 2 新田 (1) 遺跡出土土器 (2)



写真図版3 新田(1)遺跡出土土器(3)



写真図版 4 新田 (1) 遺跡出土土器 (4)



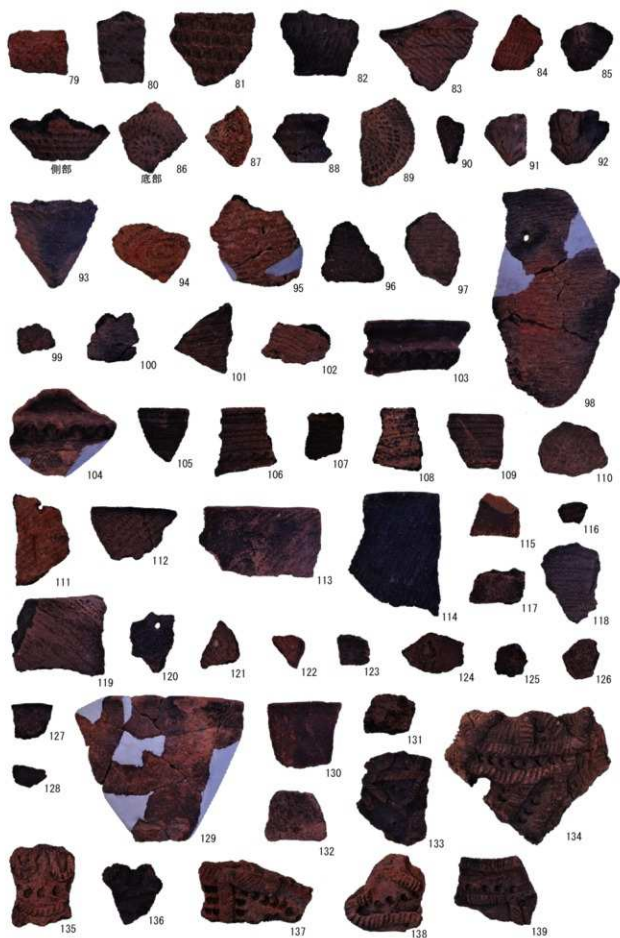
写真図版 5 新田(1)遺跡出土土器(5)



写真図版 6 新田 (2) 遺跡出土土器 (1)



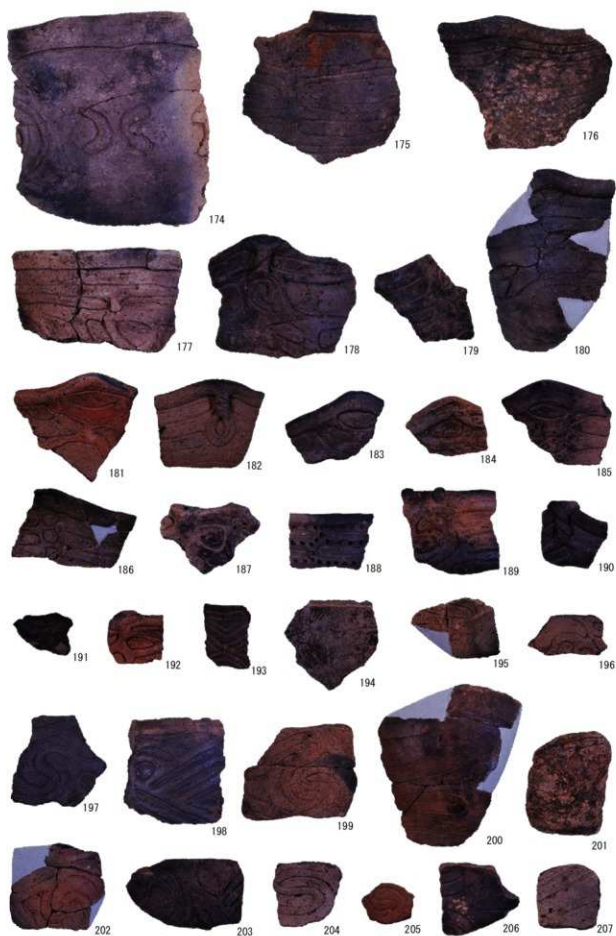
写真図版7 新田(2)遺跡出土土器(2)



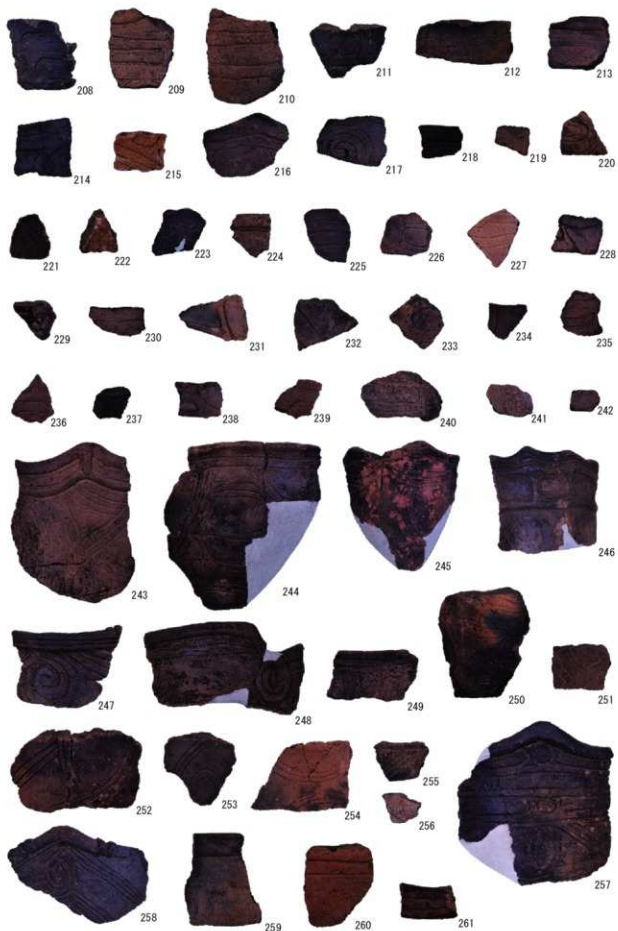
写真図版 8 新田 (2) 遺跡出土土器 (3)



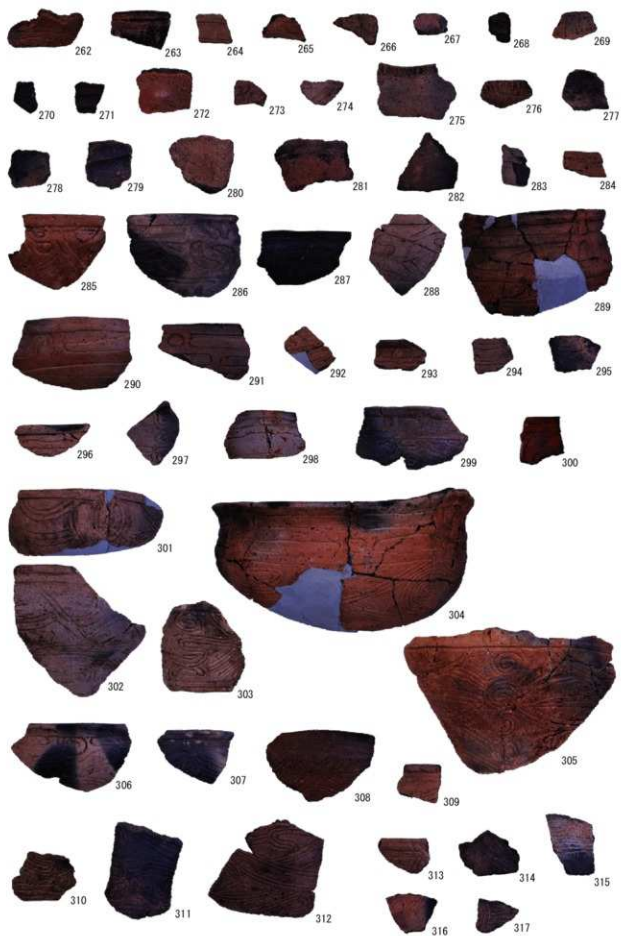
写真図版9 新田(2)遺跡出土土器(4)



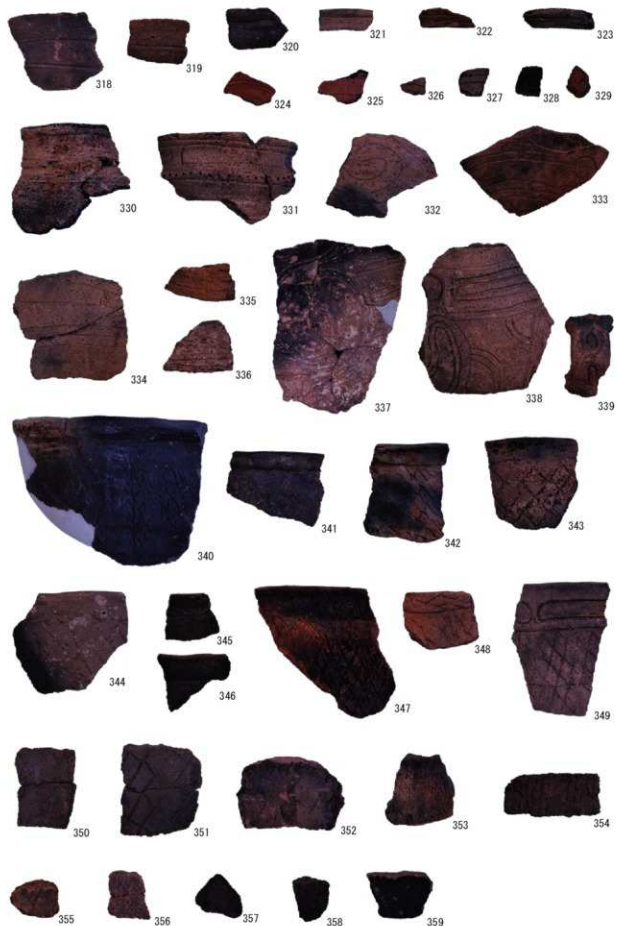
写真図版 10 新田 (2) 遺跡出土土器 (5)



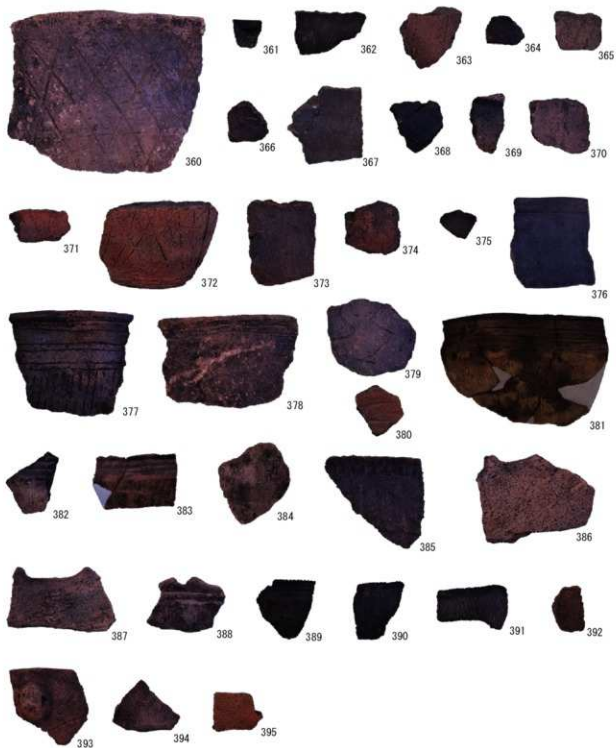
写真図版 11 新田(2)遺跡出土土器(6)



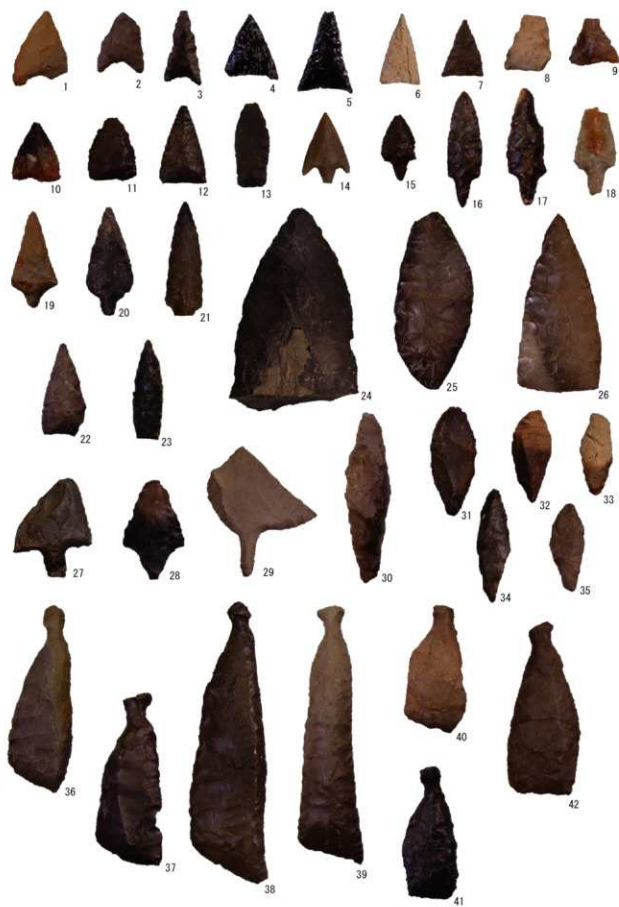
写真図版 12 新田(2)遺跡出土土器(7)



写真図版 13 新田(2)遺跡出土土器(8)



写真図版 14 新田(2)遺跡出土土器(9)



写真図版 15 新田(1)遺跡出土石器(1)



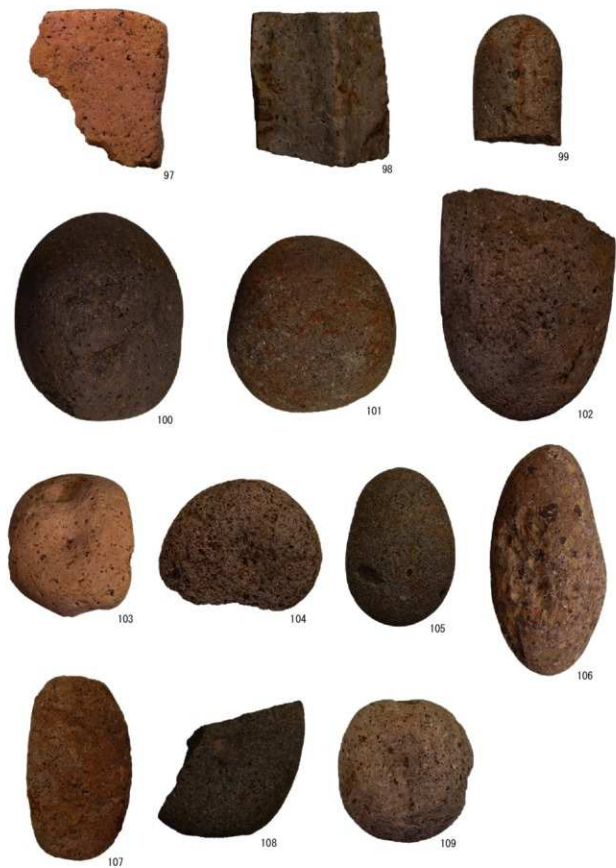
写真図版 16 新田 (1) 遺跡出土石器 (2)



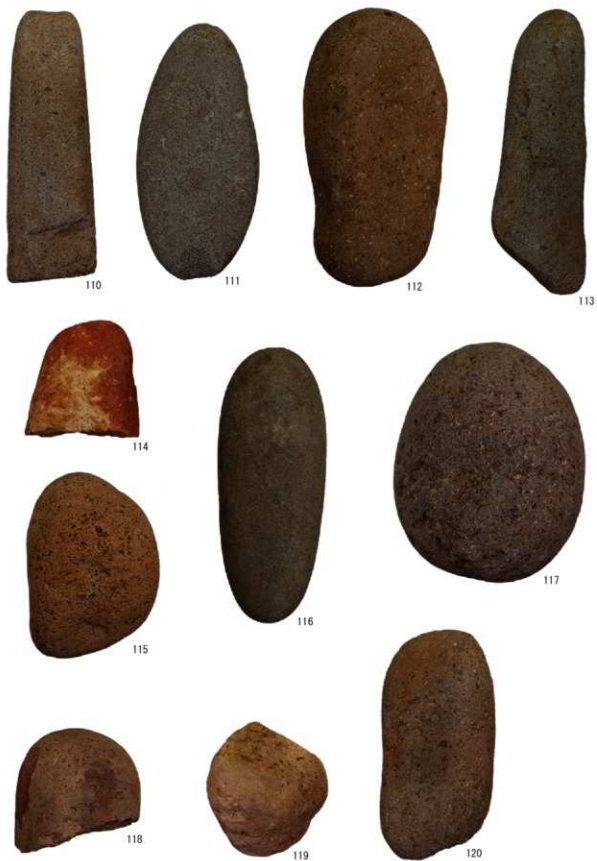
写真図版 17 新田(1)遺跡出土石器(3)



写真図版 18 新田 (1) 遺跡出土石器 (4)



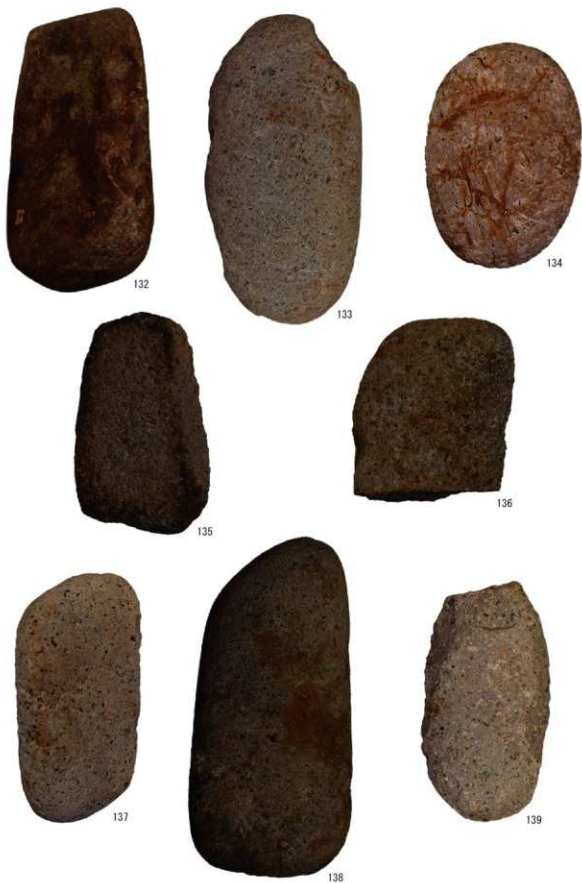
写真図版 19 新田(1)遺跡出土石器(5)



写真図版 20 新田 (1) 遺跡出土石器 (6)



写真図版 21 新田(1)遺跡出土石器(7)



写真図版 22 新田 (1) 遺跡出土石器 (8)



写真図版 23 新田(1)遺跡出土石器(9)



151



152



154



153



155



156



157

写真図版 24 新田 (1) 遺跡出土石器 (10)



写真図版 25 新田(2)遺跡出土石器(1)



写真図版 26 新田 (2) 遺跡出土石器 (2)



写真図版 27 新田(2)遺跡出土石器(3)



写真図版 28 新田 (2) 遺跡出土石器 (4)



写真図版 29 新田(2)遺跡出土石器(5)



写真図版 30 新田 (2) 遺跡出土石器 (6)



写真図版 31 新田(2)遺跡出土石器(7)



写真図版 32 新田 (2) 遺跡出土石器 (8)



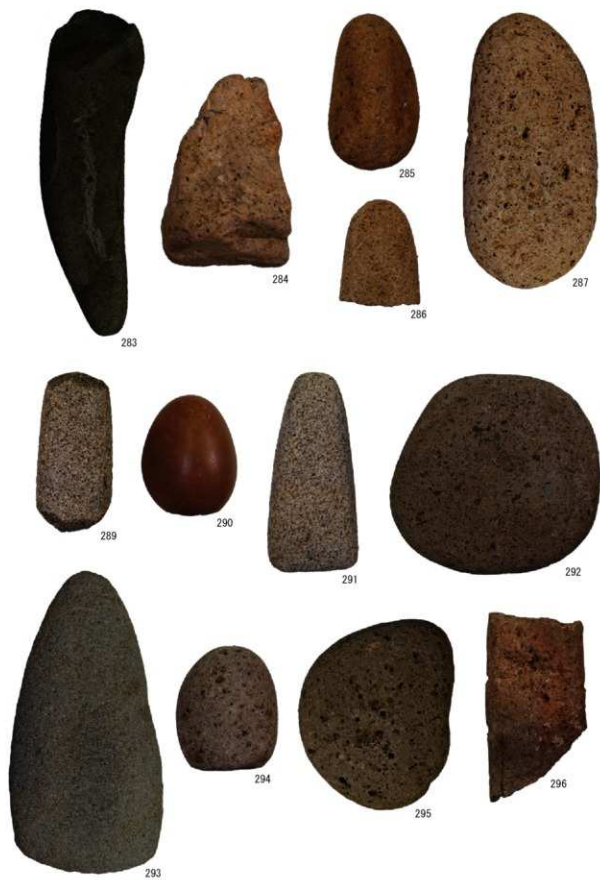
写真図版 33 新田(2)遺跡出土石器(9)



写真図版 34 新田 (2) 遺跡出土石器 (10)



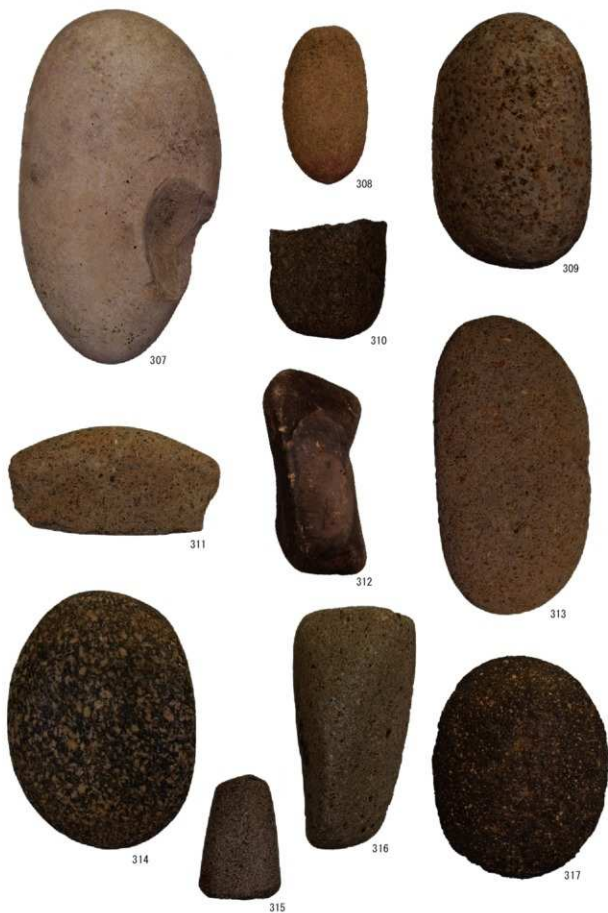
写真図版 35 新田(2) 遺跡出土石器(11)



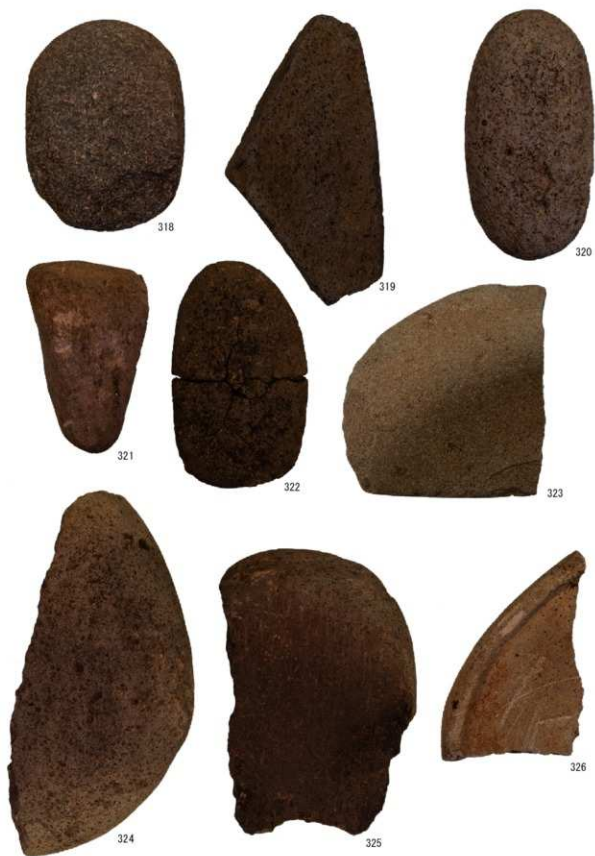
写真図版 36 新田 (2) 遺跡出土石器 (12)



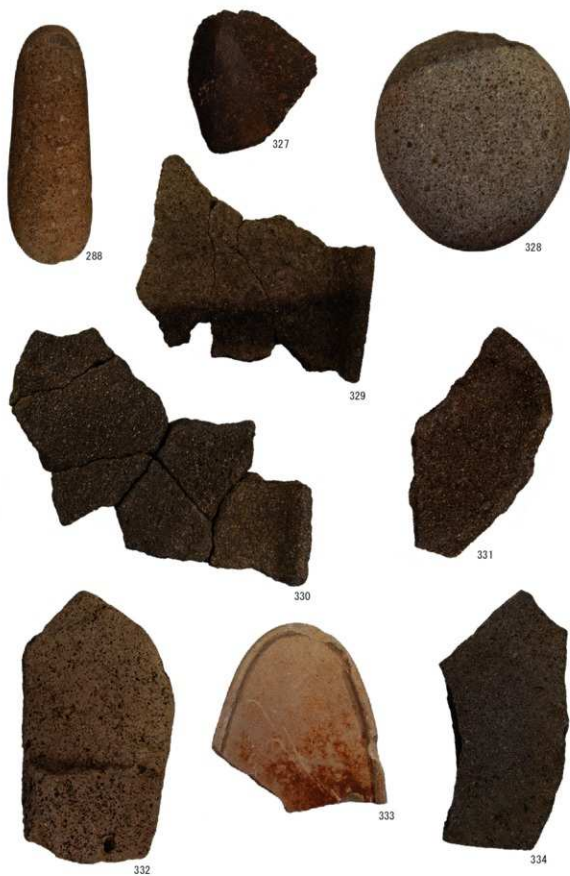
写真図版 37 新田(2)遺跡出土石器(13)



写真図版 38 新田 (2) 遺跡出土石器 (14)



写真図版 39 新田(2)遺跡出土石器(15)



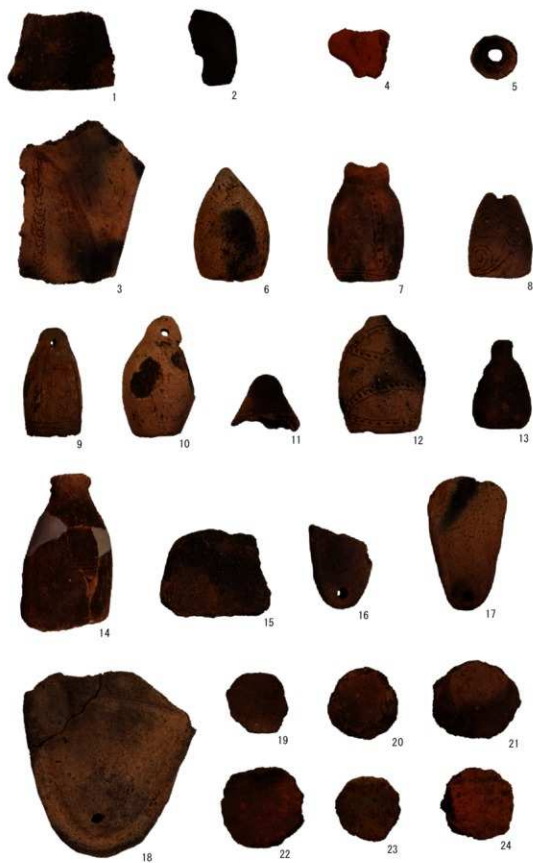
写真図版 40 新田 (2) 遺跡出土石器 (16)



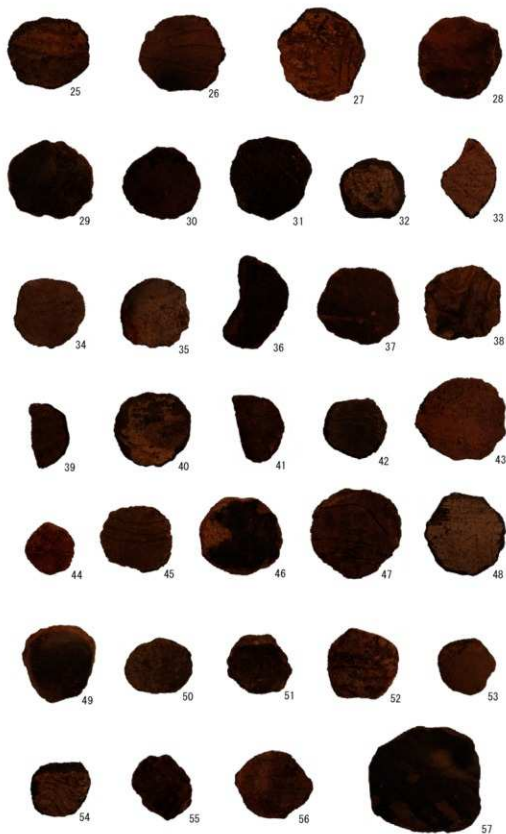
写真図版 41 新田(2)遺跡出土石器(17)



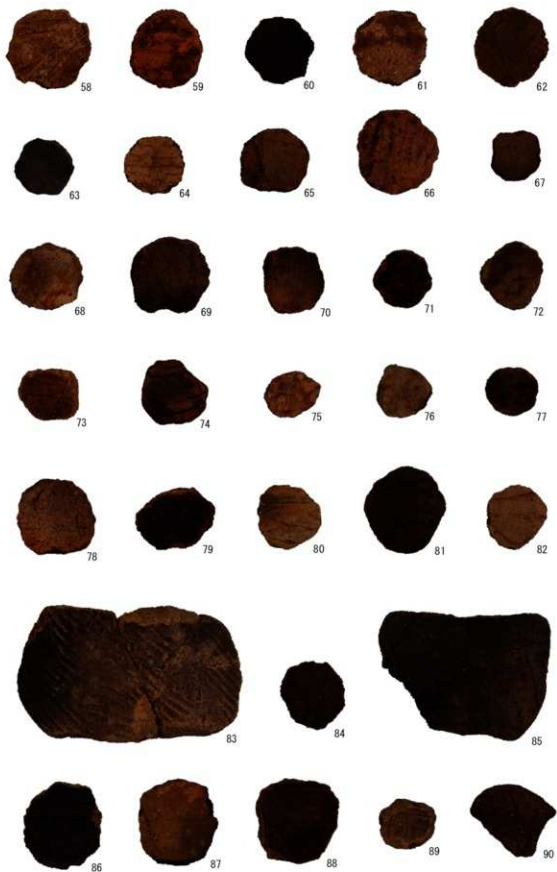
写真図版 42 新田(1)遺跡出土土製品



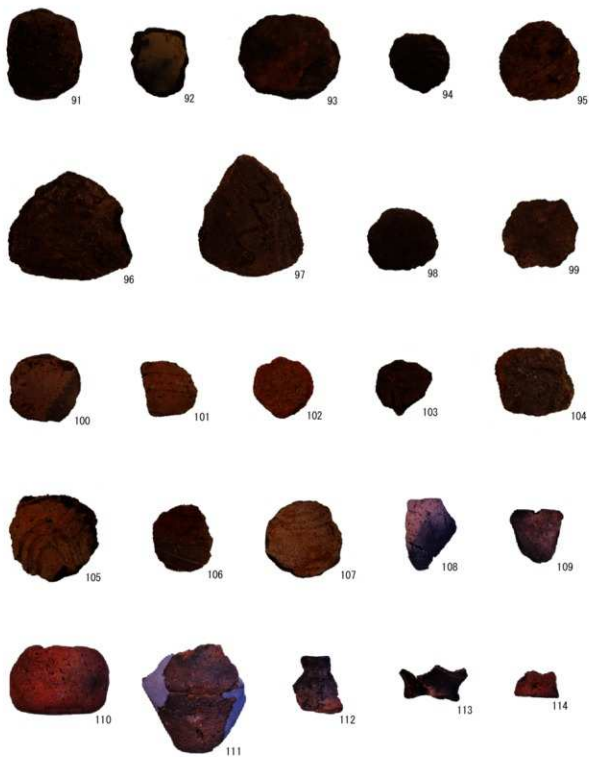
写真図版 43 新田(2)遺跡出土土製品(1)



写真図版 44 新田(2)遺跡出土土製品(2)



写真図版 45 新田(2)遺跡出土土製品(3)



写真図版 46 新田(2) 遺跡出土土製品(4)



写真図版 47 新田（1）遺跡出土石製品（1）



写真図版 48 新田(2) 遺跡出土石製品(1)

報告書抄録

ふりがな	いしえいせきぐんはつくつちょうさほうこくしょん につかつこいち・かつこにいせきじょうもんじだいにぶつへん
書名	石江遺跡群発掘調査報告書Ⅳ 新田(1)・(2)遺跡縄文時代遺物編
副書名	石江土地区画整理事業に伴う発掘調査
巻次	
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第108集-1
編著者名	小野貴之、木村淳一
編集機関	青森市教育委員会
所在地	〒038-8505 青森県青森市棚川二丁目1番1号 TEL017-761-4796
発行年月日	西暦2011年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGD2000)		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
にったまのこいち いせき 新田(1) 遺跡	あおもりけんあおもりし 棚川2丁 につかつ 青森県青森市大字新田 あしひらぶ いしえいせき 遺跡は 字忍42-3・石江字高間 56-31ほか	00201	01078	40° 49' 59"	140° 41' 34"	平成15年度 ～ 平成19年度	7,935	土地区画 整理事業
にったまのこいち いせき 新田(2) 遺跡	あおもりけんあおもりし 棚川2丁 につかつ 青森県青森市大字新田 あしひらぶ 字忍39-1	00201	01080	40° 49' 56"	140° 41' 29"	平成19年度	4,970	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
新田(1) 遺跡	集落跡	縄文時代 平安時代 中世 近世		竪穴住居跡 35軒 土坑 271基 井戸跡 47基 溝跡 148条 掘立柱建物跡 46棟	縄文土器・石器・ 土製品・石製品 (土師器・須恵器・ 弥文土器・鉄製品・ 木製品・土製品・ 石製品・人骨等)			
新田(2) 遺跡				竪穴住居跡 85軒 土坑 242基 井戸跡 7基 溝跡 50条 掘立柱建物跡 19棟				

要約	青森市西部に所在する石江遺跡群の石江土地区画整理事業に伴う発掘調査に関する新田(1)遺跡、新田(2)遺跡の縄文時代の遺物について所収した。
----	---

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財 1 1962 『石臼遺跡発掘調査報告書』

- ※ 2 1962 『石臼遺跡発掘調査報告書』
- ※ 3 1967 『山形水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 4 1975 『石臼山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 5 1975 『野木水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 6 1975 『山形水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 7 1975 『山形水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 8 1975 『山形水遺跡発掘調査報告書』
- 1979 『家沢遺跡』
- 1980 『鹿門遺跡発掘調査報告書』

青森市の埋蔵文化財 1983 『古川野遺跡』

- 1983 『新島遺跡発掘調査報告書』
- 1986 『山内大野遺跡発掘調査報告書』
- 1987 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- 1989 『三ツPAJD 1 遺跡発掘調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書

- ※ 第 18 集 1991 『PAJD (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 17 集 1991 『埋蔵文化財出土遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 18 集 1993 『三ツPAJD (2) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 19 集 1993 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 20 集 1993 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 21 集 1994 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 22 集 1994 『三ツPAJD (3) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 23 集 1994 『三ツPAJD (4) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 24 集 1994 『野内山遺跡・磯ノ川 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 25 集 1995 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 26 集 1995 『稲葉 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 27 集 1996 『稲葉 (2) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 28 集 1996 『三ツPAJD (5) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 29 集 1996 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 30 集 1996 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 31 集 1997 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 32 集 1997 『稲葉 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 33 集 1997 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 34 集 1997 『高野 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 35 集 1997 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 36 集 1998 『稲葉 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 37 集 1998 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 38 集 1998 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 39 集 1998 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 40 集 1998 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 41 集 1998 『野木水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 42 集 1998 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 43 集 1998 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 44 集 1998 『高野 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 45 集 1998 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 46 集 1998 『野木水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 47 集 1999 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 48 集 1999 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 49 集 1999 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 50 集 1999 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 51 集 1999 『稲葉 (1)・宮内山 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 52 集 1999 『S&T野原 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 53 集 1999 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 54 集 2001 『野内山遺跡発掘調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書

- ※ 第 55 集 2001 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 56 集 2001 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 57 集 2001 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 58 集 2001 『大野野原 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 59 集 2001 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 60 集 2002 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 61 集 2002 『大野野原 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 62 集 2002 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 63 集 2002 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 64 集 2002 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 65 集 2002 『宮内山 (1) - (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 66 集 2002 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 67 集 2002 『野木水遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 68 集 2002 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 69 集 2002 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 70 集 2002 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 71 集 2004 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 72 集 2004 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 73 集 2004 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 74 集 2004 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 75 集 2004 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 76 集 2005 『山内 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 77 集 2005 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 78 集 2005 『三ツPAJD (6) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 79 集 2005 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 80 集 2005 『小野野原 (2) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 81 集 2005 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 82 集 2006 『三ツPAJD (7) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 83 集 2006 『小野野原 (2) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 84 集 2006 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 85 集 2006 『小野野遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 86 集 2006 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 87 集 2006 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 88 集 2006 『高野 (2) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 89 集 2006 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 90 集 2007 『高野 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 91 集 2007 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 92 集 2007 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 93 集 2007 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 94 集 2007 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 95 集 2008 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 96 集 2008 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 97 集 2008 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 98 集 2008 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 99 集 2008 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 100 集 2008 『野内山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 101 集 2008 『大野野原 (2) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 102 集 2008 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 103 集 2010 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 104 集 2010 『稲山遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 105 集 2010 『高野 (1) 遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 106 集 2010 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 107 集 2011 『山内遺跡発掘調査報告書』
- ※ 第 108 集 2011 『山内遺跡発掘調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書第 108 集 - 1

石江遺跡群発掘調査報告書Ⅳ

—石江土地区画整理事業に伴う発掘調査—
(第 1 分冊：新田 (1)・(2) 遺跡縄文時代遺物編)

発行年月日 平成 23 年 3 月 31 日

発行 青森市教育委員会
〒038-8505 青森県青森市柳川 2 丁目1-1
TEL 017-761-4796 (文化財課)

印刷 アクセス二十一出版有限公司
〒030-0802 青森県青森市本町一丁目2-5
TEL 017-722-1373 FAX 017-732-3328